

平成 30 年度
東郷町住民意向調査報告書

平成 3 1 年 3 月
東 郷 町

目 次

I 調査実施の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象及び調査方法	1
3. 調査内容	1
4. 回収結果	1
5. 報告書の見方	2
6. 標本誤差	2
II 調査結果の概要	3
1. 調査回答者の属性	3
1-1 性別	3
1-2 年齢	3
1-3 お住まいの地域	4
1-4 東郷町に住んでいる期間	5
1-5 同居している家族の構成	6
1-6 同居している就学前児童の有無	7
1-7 同居している小中学生の有無	8
1-8 同居している65歳以上の方の有無	9
1-9 職業	10
III 調査結果の分析	11
1. 東郷町の暮らしやすさなどについて	11
1-1 住み心地	11
1-2 今後の居住意向	13
2. 日常生活の意識などについて	18
2-1 日常生活における意識や行動	18
2-2 地域に対する意識	25
3. 東郷町の取り組みについて	29
3-1 満足度	29
3-2 重要度	33
3-3 満足度と重要度の相関分析	37
4. これからのまちづくりについて	39
4-1 町政（まちづくり）への関心について	39
4-2 これからのまちづくりについて	41
4-3 東郷町自治基本条例について	42
4-4 住民参画・協働について	44
4-5 セントラル開発について	49
IV 参考資料	53
1. 自由意見	53
2. 使用調査票	57

I 調査実施の概要

1. 調査の目的

本調査は、町民の生活全般に係る行政施策の評価や満足度及び町政に関する意識・要望を把握し、2021年度を始期とする第6次東郷町総合計画を策定するための基礎資料とすることを目的に実施した。

2. 調査対象及び調査方法

- (1) 調査地域 東郷町全域
- (2) 調査対象 東郷町在住の18歳以上の住民（平成30年10月1日現在）
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収（無記名）
- (6) 調査期間 平成30年11月30日～平成30年12月17日

3. 調査内容

- (1) 東郷町の暮らしやすさなどについて
- (2) 日常生活の意識などについて
- (3) 東郷町の取り組みについて
- (4) これからのまちづくりについて
- (5) 自由意見

4. 回収結果

標本数	回収数	有効回答数	有効回収率
5,000	2,086	2,085	41.7%

5. 報告書の見方

- (1) 集計は小数点第2位を四捨五入している。したがって、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100%にならない場合がある。
- (3) 質問の回答者数は(N=〇〇)のように表記した。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 分析軸に使用した属性項目は、未回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と異なる場合がある。
- (6) 図表中の0値を省略しているため一部の選択肢が表示されない場合がある。
- (7) 本文中の「前回調査」は、平成27年度に実施した住民意向調査をいう。

6. 標本誤差

標本を無作為に抽出した統計数値には誤差があり、次式により算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 N = 母集団数 (東郷町18歳以上人口)
n = 比率算出の基数 (回答者数) P = 回答比率 (%)

今回の調査結果の標本誤差は、次のようになる。

回答比率	標本誤差
10%または90%	±1.3
20%または80%	±1.7
30%または70%	±1.9
40%または60%	±2.1
50%	±2.1

例えば、回答者数が2,085人の設問で、ある選択肢を選んだ人が20%であった場合、その回答に対する誤差範囲は±1.7%以内となる。

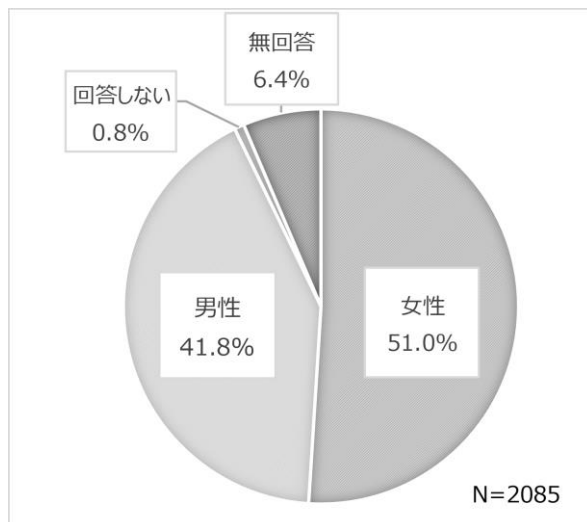
Ⅱ 調査結果の概要

1. 調査回答者の属性

1-1 性別

■「女性」が 51.0%、「男性」が 41.8%

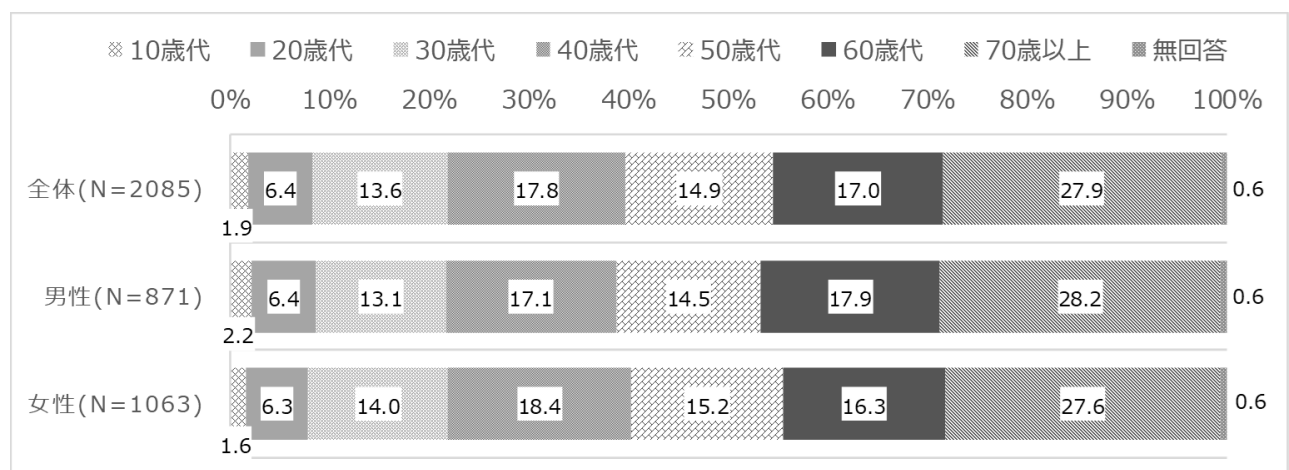
回答者の性別は、「女性」が 51.0%、「男性」が 41.8%となっている。



1-2 年齢

■「70歳以上」が 27.9%、「40歳代」が 17.8%、「60歳代」が 17.0%など

回答者の年代は、「70歳以上」の割合が最も高く（27.9%）、「40歳代」（17.8%）、「60歳代」（17.0%）の順となっている。性別でも、男女ともに「70歳以上」（男性 28.2%、女性 27.6%）の割合が最も高く、男性は「60歳代」（17.9%）、「40歳代」（17.1%）の順、女性は「40歳代」（18.4%）、「60歳代」（16.3%）の順となっている。

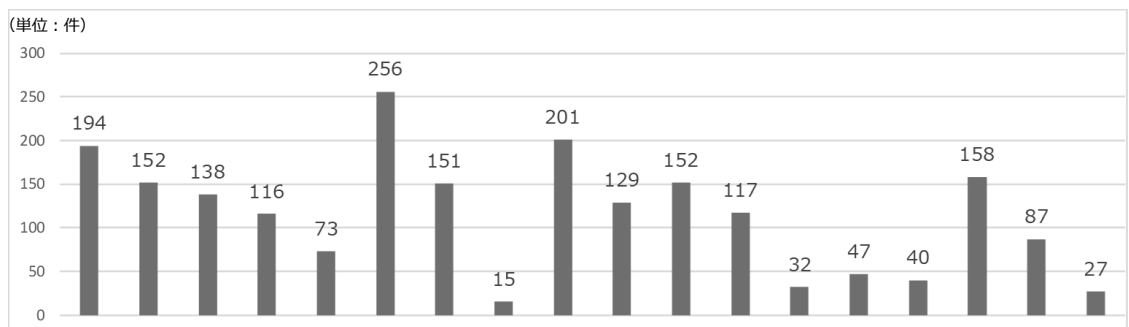


1-3 お住まいの地域

■「白土」が12.3%、「白鳥」が9.6%、「諸輪」が9.3%など

回答者の住まいの地域は、「白土」の割合が12.3%で最も高く、「白鳥」(9.6%)、「諸輪」(9.3%)の順となっている。性別で見ると、男女ともに「白土」(男性13.5%、女性11.2%)が最も高く、次いで、男性は「白鳥」(9.9%)、「諸輪」(8.6%)、女性は「諸輪」(9.6%)、「白鳥」(9.1%)の順となっている。

年齢別では、多くの年代(20歳代、30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上)で「白土」が、10歳代と40歳代では「部田山」の割合が高くなっている。



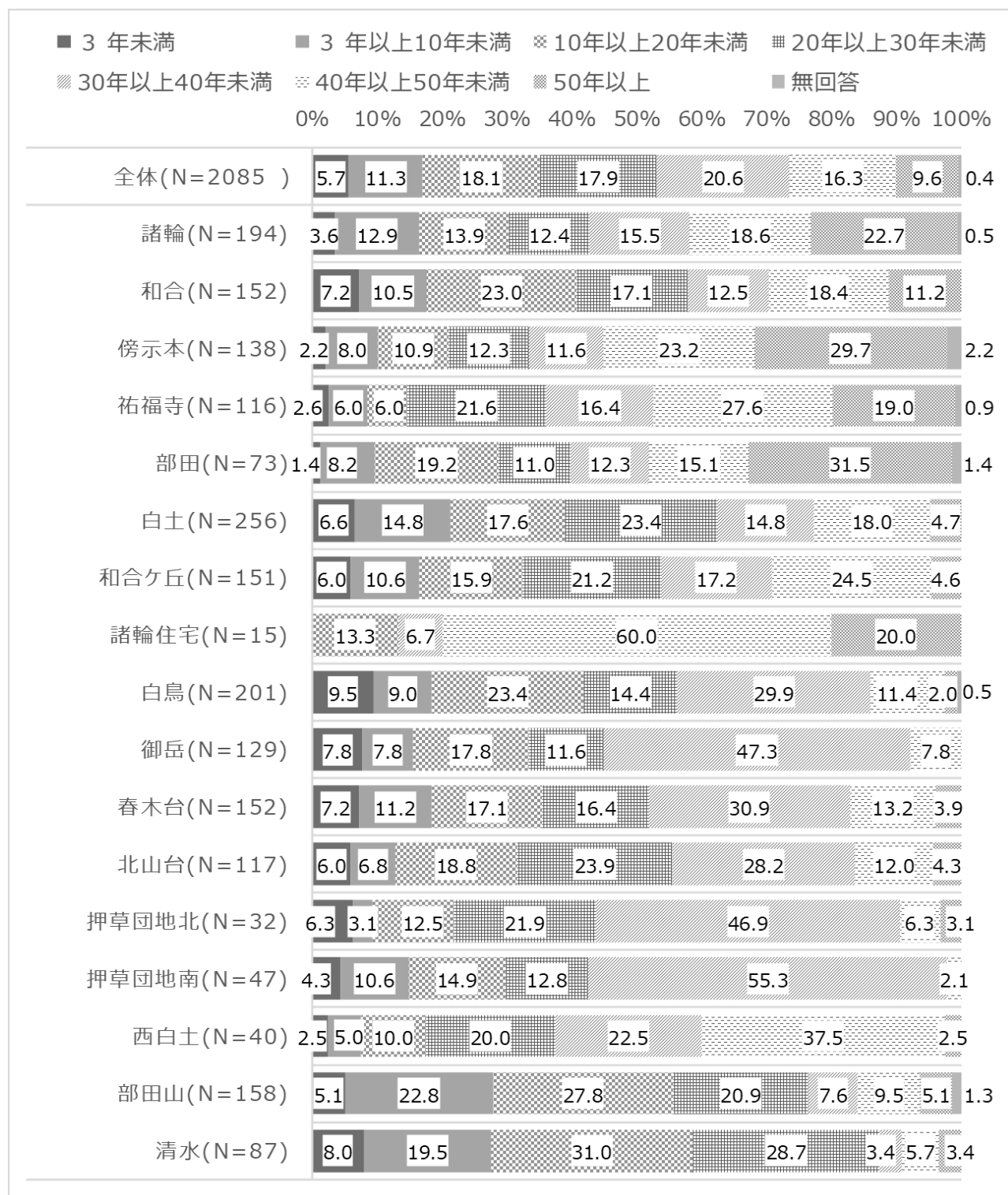
	諸輪	和合	傍示本	祐福寺	部田	白土	和合ヶ丘	諸輪住宅	白鳥	御岳	春木台	北山台	押草団地北	押草団地南	西白土	部田山	清水	無回答
全体(N=2085)	9.3	7.3	6.6	5.6	3.5	12.3	7.2	0.7	9.6	6.2	7.3	5.6	1.5	2.3	1.9	7.6	4.2	1.3
男性(N=871)	8.6	7.2	6.8	4.6	3.6	13.5	7.2	0.6	9.9	6.5	6.8	5.9	2.1	2.3	1.4	7.2	4.7	1.1
女性(N=1063)	9.6	7.7	6.3	6.2	3.5	11.2	7.7	0.7	9.1	6.0	8.0	5.3	1.2	2.0	2.3	8.3	4.1	0.8
10歳代(N=36)	5.6	8.3	5.6	2.8	0.0	5.6	11.1	0.0	13.9	0.0	8.3	5.6	2.8	0.0	0.0	16.7	13.9	0.0
20歳代(N=127)	7.1	10.2	8.7	7.1	0.8	12.6	3.1	0.0	11.0	4.7	8.7	8.7	2.4	1.6	0.0	5.5	5.5	2.4
30歳代(N=273)	8.4	8.8	4.0	4.0	2.9	17.6	8.1	0.0	10.3	5.9	6.6	3.7	0.4	0.4	0.7	10.3	7.3	0.7
40歳代(N=371)	9.4	8.6	6.2	3.8	3.8	11.3	4.6	0.3	6.7	5.1	7.0	7.3	0.8	1.3	1.9	13.2	6.2	2.4
50歳代(N=296)	9.1	5.4	5.4	6.1	1.7	12.8	8.8	1.0	9.8	4.7	8.1	5.4	0.7	0.7	2.0	10.8	6.1	1.4
60歳代(N=352)	8.8	5.4	8.0	7.1	5.4	12.8	5.1	0.6	11.4	7.4	7.7	6.3	1.7	5.1	1.1	3.7	2.0	0.6
70歳以上(N=609)	10.5	7.2	7.4	6.2	4.1	10.7	9.9	1.5	9.4	7.7	6.9	4.6	2.5	3.1	3.4	3.8	1.0	0.2

(単位: %)

1 - 4 東郷町に住んでいる期間

■ 30年以上お住まいの方が多く、「部田山」、「清水」では10年未満の方も

回答者の居住年数は、「30年以上40年未満」の割合が一番高く（20.6%）、次いで「10年以上20年未満」（18.1%）、「20年以上30年未満」（17.9%）の順となっている。多くの地域で10年以上が多い中、「部田山」と「清水」では「10年未満」の割合が他の地域に比べ高くなっている。



1 - 5 同居している家族の構成

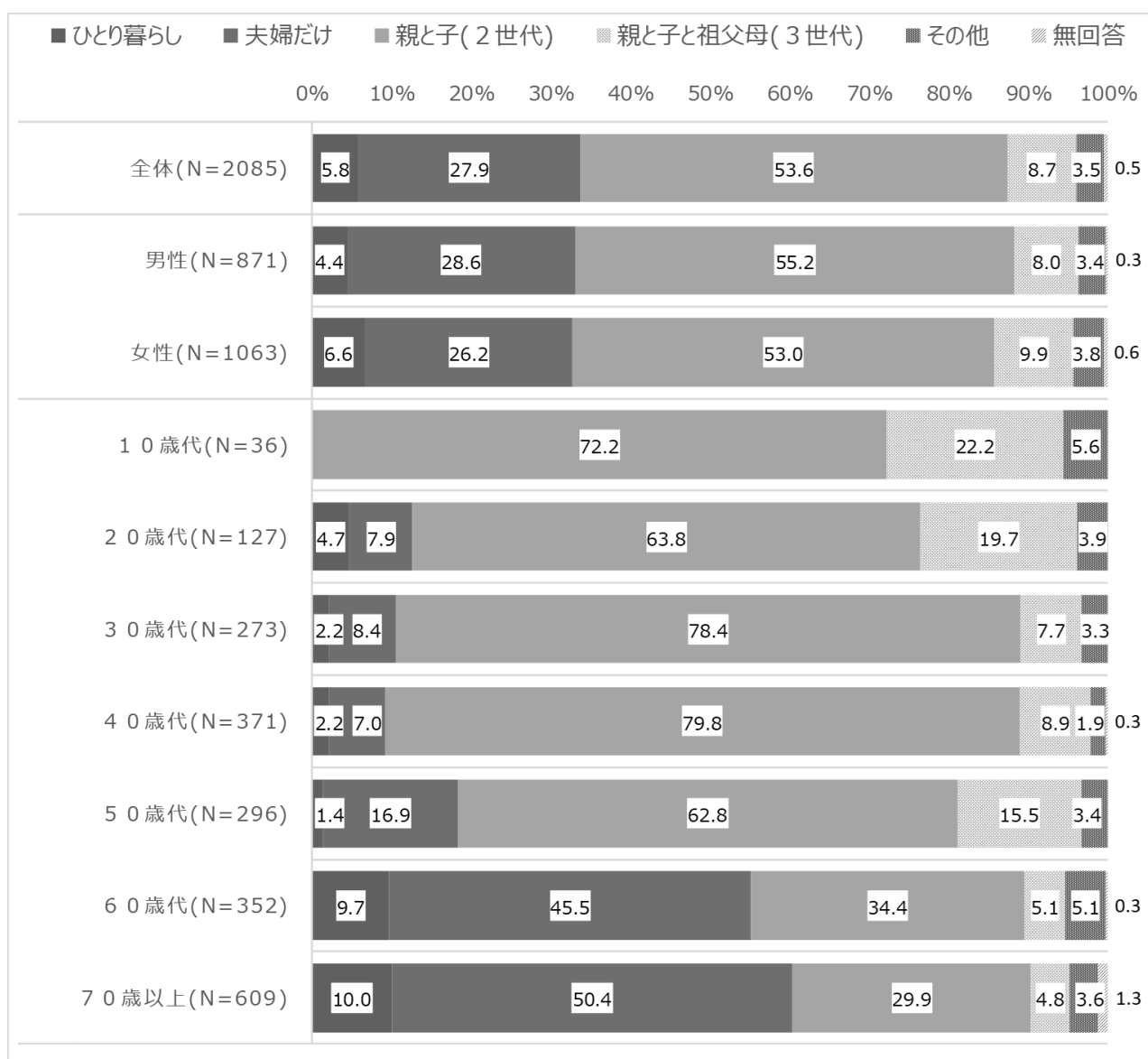
■「親と子（2世代）」が53.6%、「夫婦だけ」が27.9%

回答者の家族構成は、「親と子（2世代）」の割合が53.6%で最も高く、「夫婦だけ」（27.9%）、「親と子と祖父母（3世代）」（8.7%）の順となっている。

性別でみると、男女ともに「親と子（2世代）」（男性55.2%、女性53.0%）の割合が最も高く、「夫婦だけ」（男性28.6%、女性26.2%）、「親と子と祖父母（3世代）」（男性8.0%、女性9.9%）の順となっている。

年齢別でみると、「親と子（2世代）」が10歳代では72.2%、その後年齢が高くなるにつれても高い傾向を示し、40歳代で79.8%と最も高くなっている。

また、50歳代から「親と子（2世代）」は減少傾向を示し、70歳以上では29.9%となる一方で、「夫婦だけ」の割合が50.4%となっている。

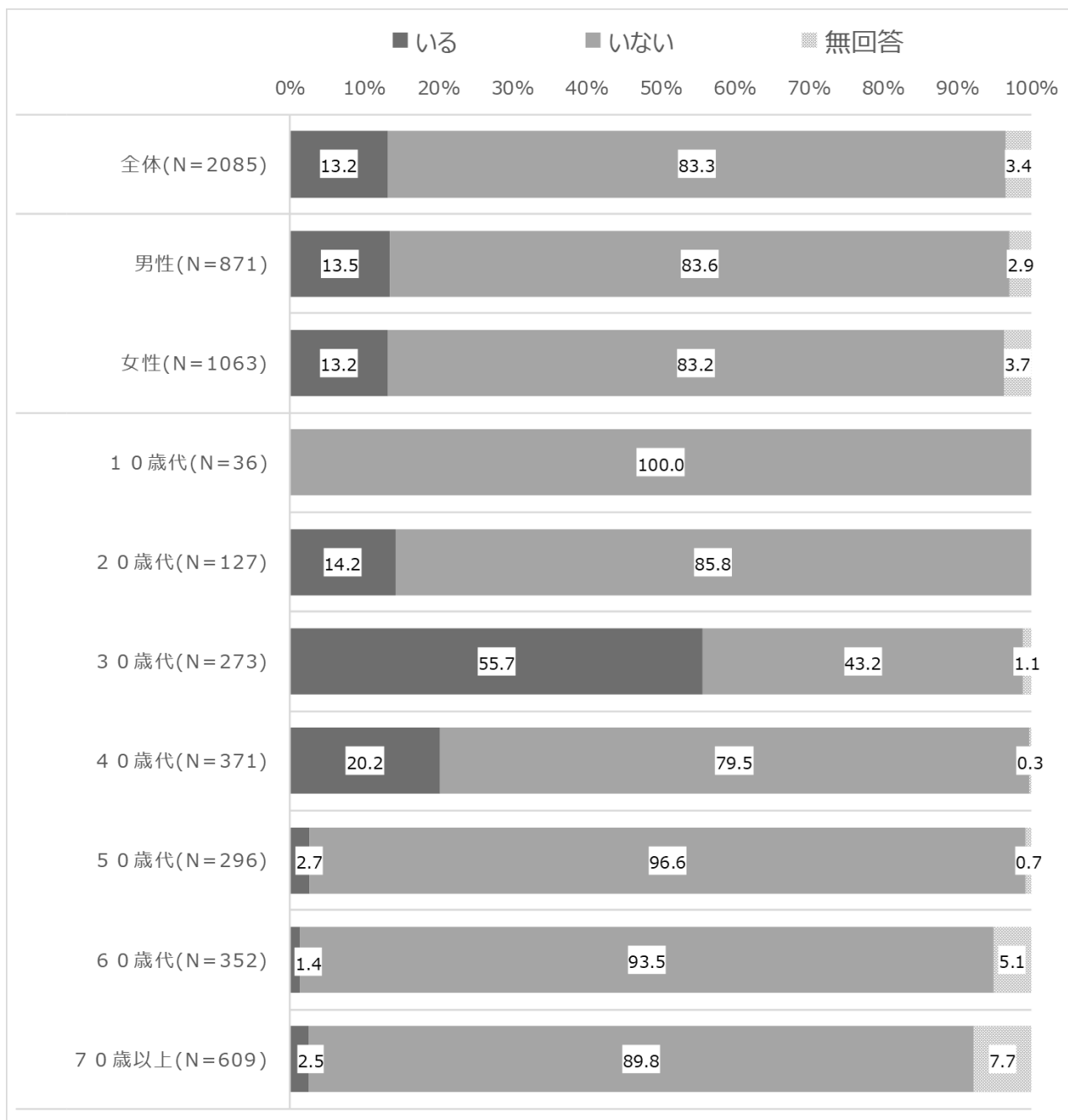


1-6 同居している就学前児童の有無

■ 就学前児童と同居して「いる」が 13.2%、同居して「いない」が 83.3%

回答者の就学前児童との同居の有無は、同居して「いる」が 13.2%、同居して「いない」が 83.3% となっている。性別による大きな差はみられない。

年齢別で同居している世帯をみると、30 歳代で最も高く (55.7%)、40 歳代 (20.2%)、20 歳代 (14.2%) の順となっている。



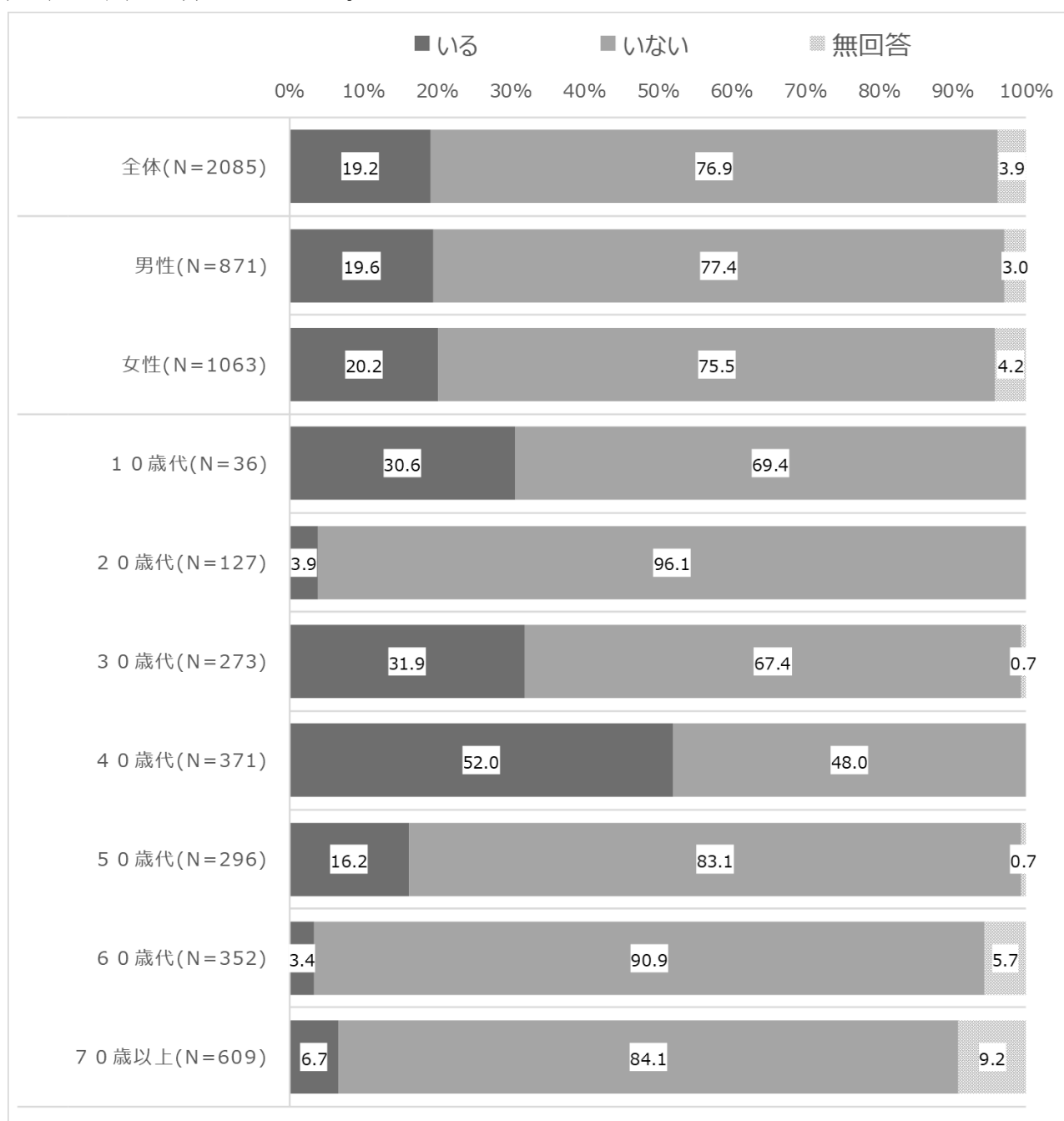
1-7 同居している小中学生の有無

■小中学生が同居して「いる」が19.2%、同居して「いない」が76.9%

回答者の小中学生との同居の有無は、同居して「いる」が19.2%、同居して「いない」が76.9%となっている。

性別で同居している世帯をみると、男性で19.6%、女性は20.2%となっている。

年齢別で同居している世帯をみると、40歳代が52.0%で最も高く、30歳代(31.9%)、10歳代(30.6%)の順となっている。

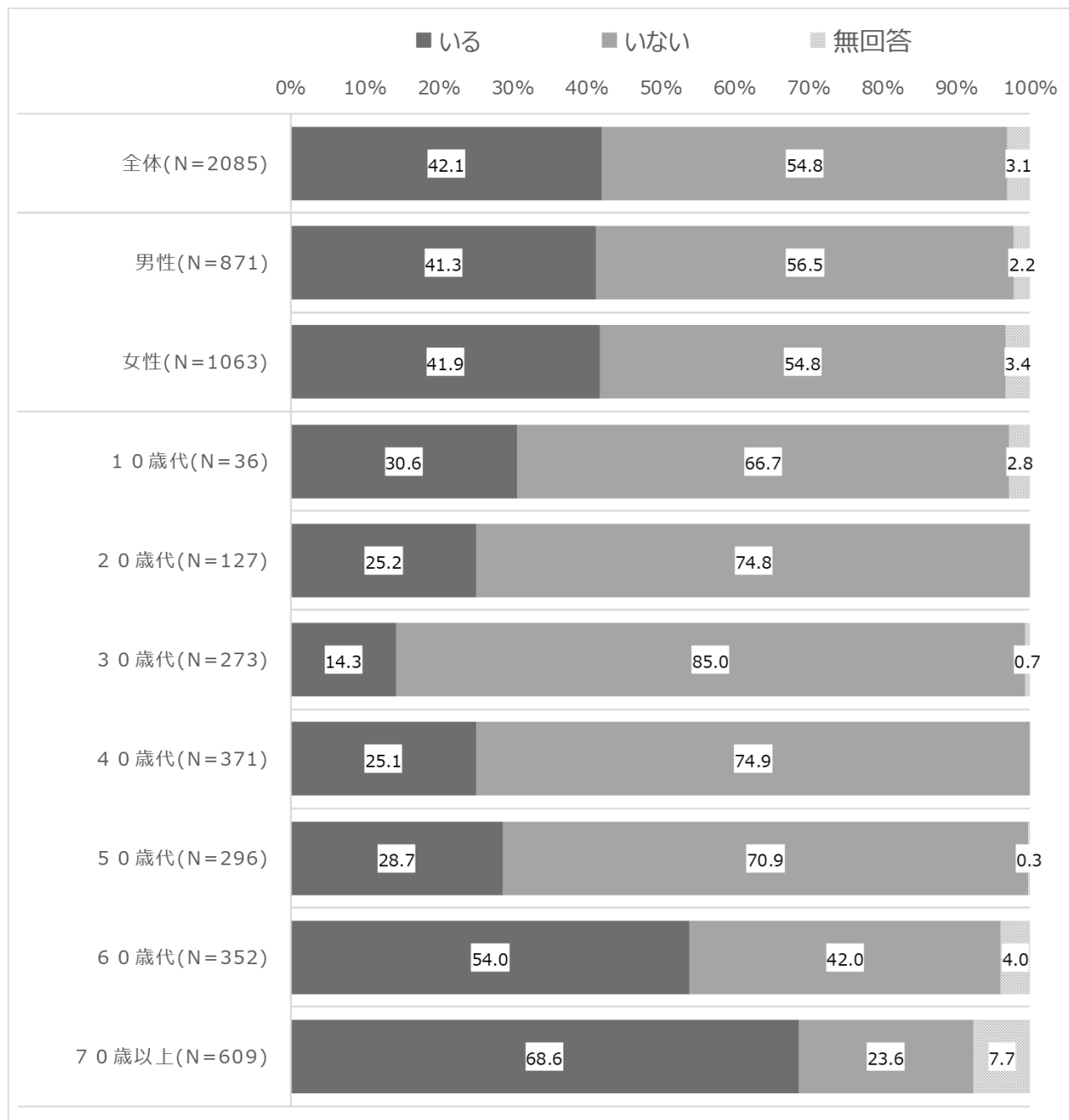


1-8 同居している65歳以上の方の有無

■ 65歳以上の方が同居して「いる」が42.1%、同居して「いない」が54.8%

回答者の65歳以上の方との同居の有無は、同居して「いる」が42.1%、同居して「いない」が54.8%となっている。性別による大きな差はみられない。

年齢別で同居している世帯をみると、70歳以上が68.6%で最も高く、60歳代(54.0%)が続いている。また、50歳代以下では10歳代(30.6%)と50歳代(28.7%)が3割前後となっている。



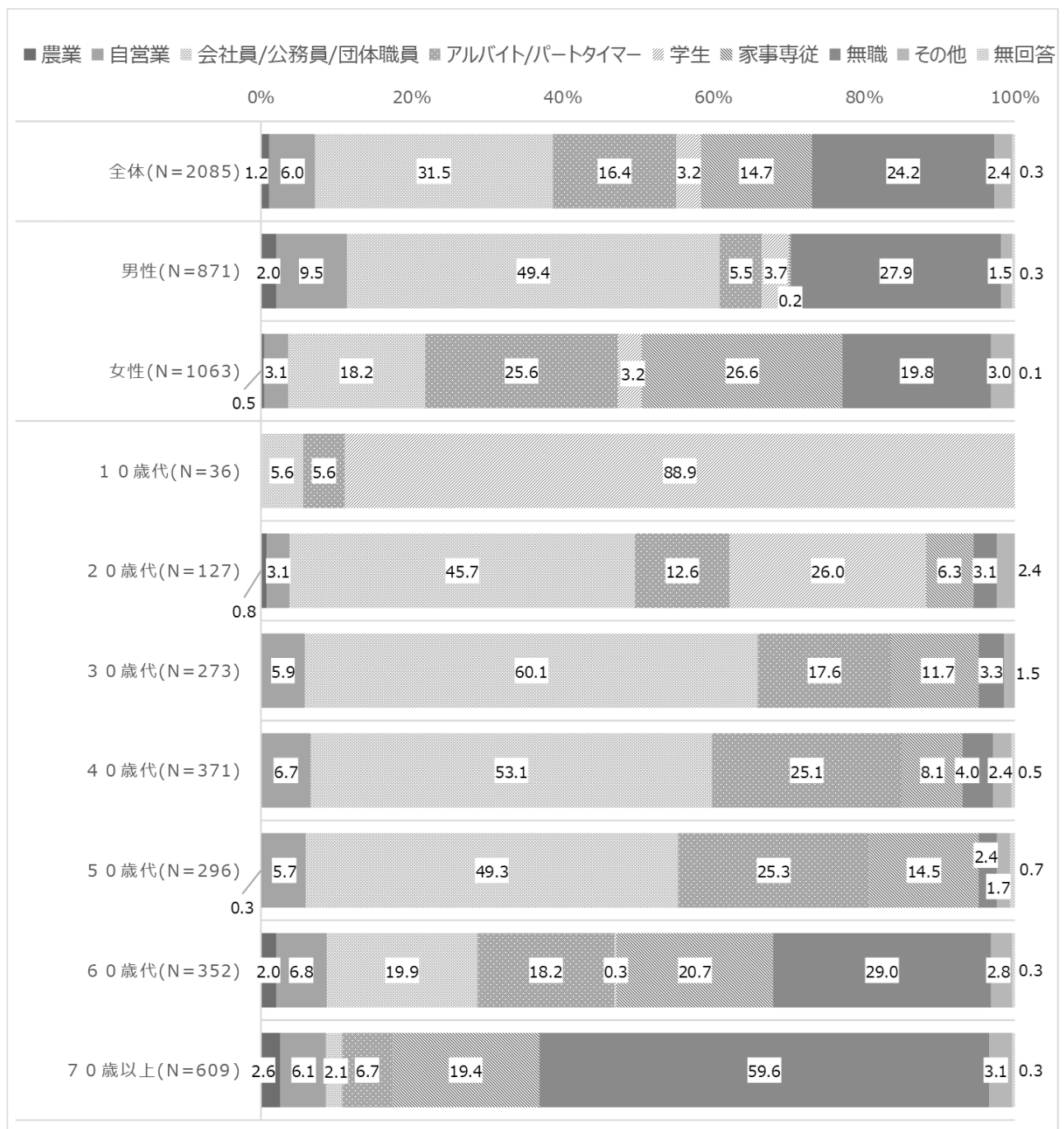
1-9 職業

■「会社員、公務員、団体職員」が 31.5%、「無職」が 24.2%など

回答者の職業は、「会社員、公務員、団体職員」の割合が 31.5%で最も高く、「無職」(24.2%)、「アルバイト、パートタイマー」(16.4%)の順となっている。

性別で見ると、男性は「会社員、公務員、団体職員」(49.4%)の割合が最も高く、「無職」が 27.9%と続き、女性は「家事専従」(26.6%)の割合が最も高く、「アルバイト、パートタイマー」(25.6%)、「無職」(19.8%)が続いている。

年齢別で見ると、20歳代～50歳代は「会社員、公務員、団体職員」が半数程度を占めている一方で、10歳代では「学生」(88.9%)が、70歳以上は「無職」(59.6%)の割合が高くなっている。



Ⅲ 調査結果の分析

1. 東郷町の暮らしやすさなどについて

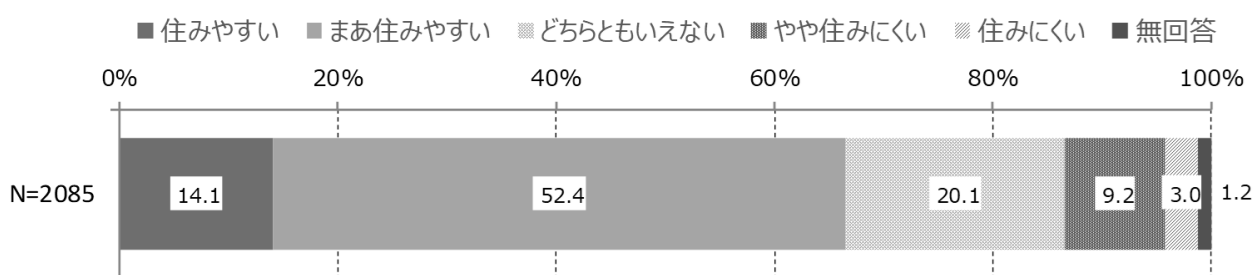
1-1 住み心地

問10 東郷町の住み心地をどう感じておられますか？

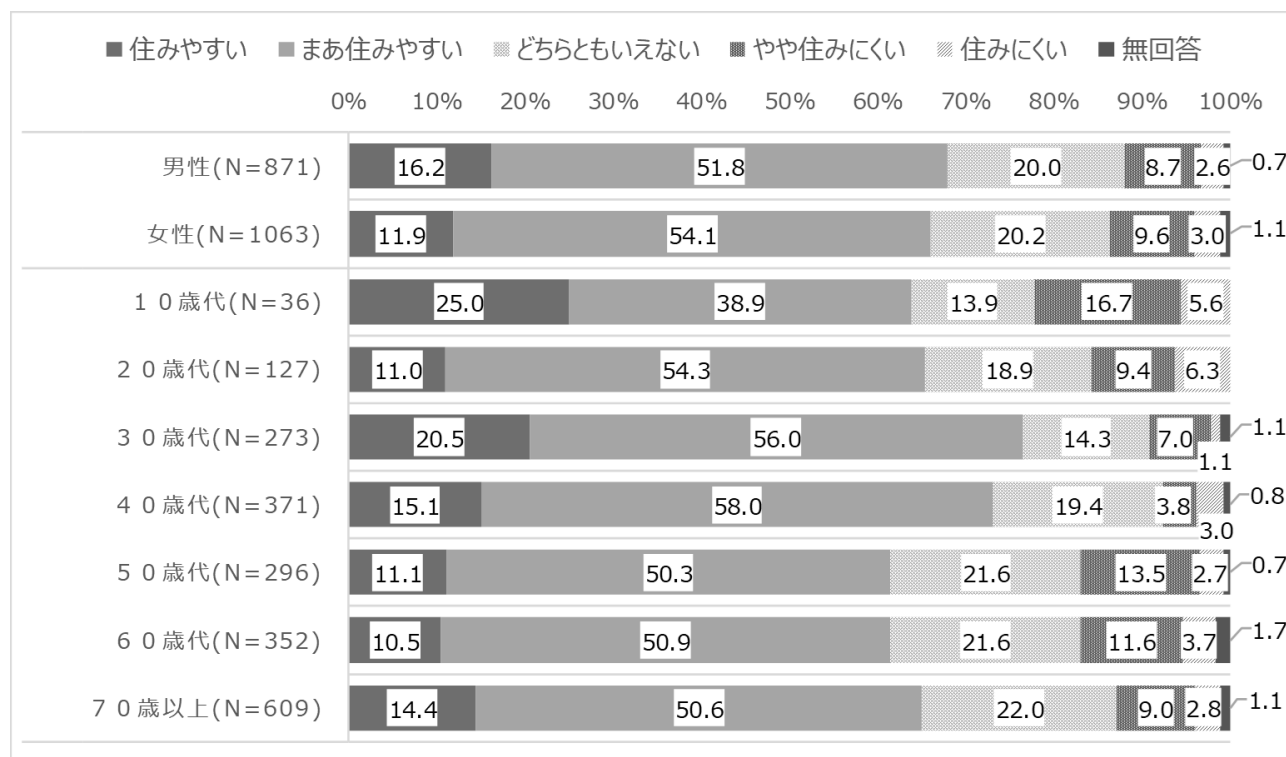
■ 66.5%の方が住みやすいと感じている

現在の東郷町の住み心地は、「住みやすい」と「まあ住みやすい」をあわせた“住みやすい”が66.5%となっており、「どちらともいえない」をあわせると約9割（86.6%）が東郷町の住み心地について大きな不満を持っていない。一方、「やや住みにくい」と「住みにくい」をあわせた“住みにくい”は12.2%となっている。性別による大きな傾向の差はみられないが、年齢別でみると、30歳代で“住みやすい”の割合が最も高く（76.5%）、次いで40歳代（73.1%）の順となっている。

【住み心地（全体）】

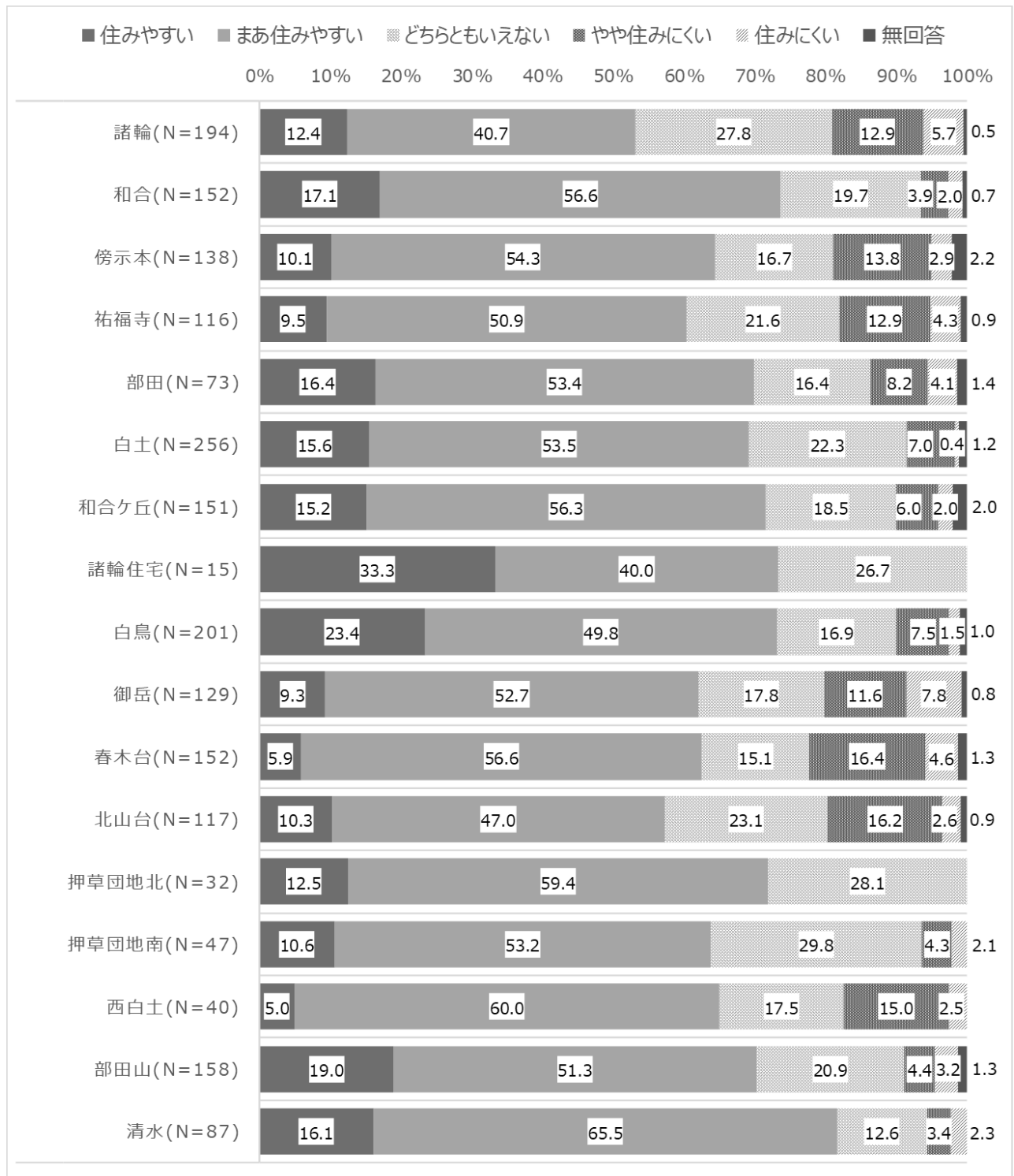


【住み心地（性・年齢別）】



地域別で“住みやすい”についてみると、清水が81.6%で最も高く、和合（73.7%）、諸輪住宅（73.3%）、白鳥（73.2%）、押草団地北（71.9%）が続く。今回調査では、部田も69.8%（前回調査47.0%）となり、5割を下回る地域はなかった。

【住み心地（地域別）】



1 - 2 今後の居留意向

問 1 1 これからも東郷町に住み続けたいとお考えですか？

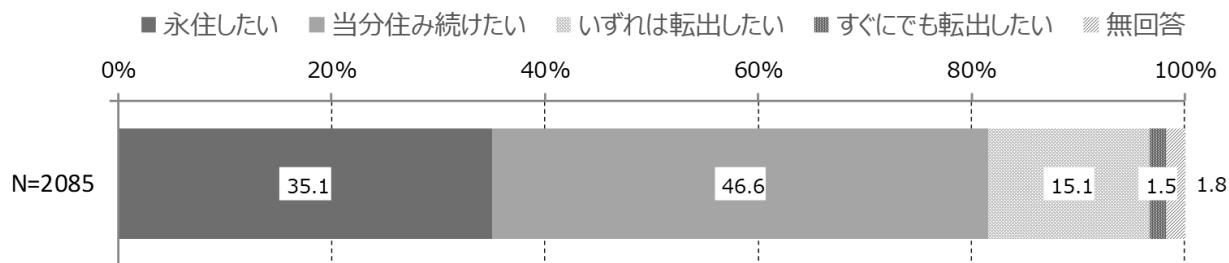
■ 81.7%の方が“住み続けたい”と感じている

定住意向は、「永住したい」(35.1%)と「当分住み続けたい」(46.6%)をあわせると81.7%となっており、定住意向は8割を超えている。

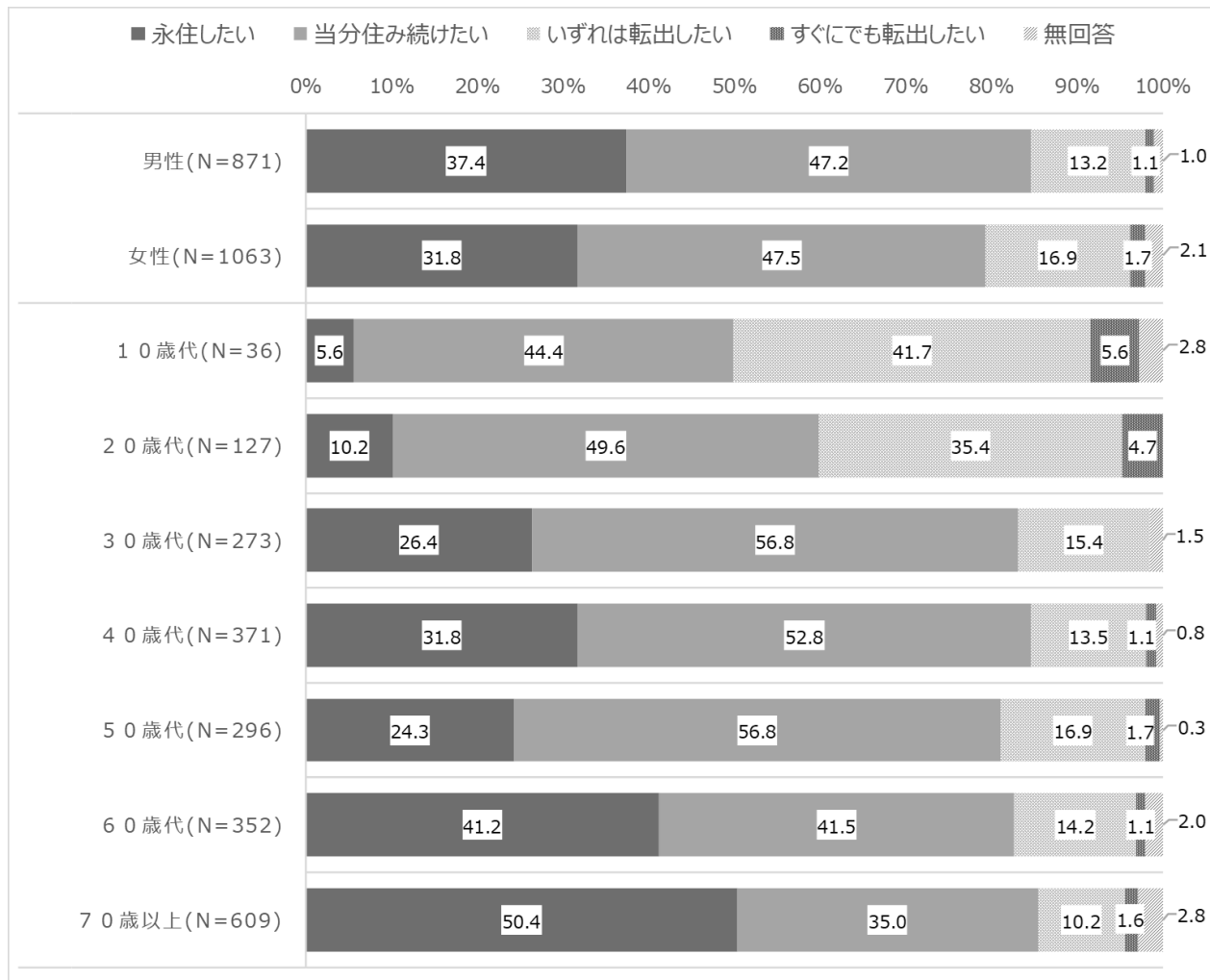
前回調査では、「永住したい」と「当分住み続けたい」の合計は78.1%であり、定住意向は若干高まっている。

また、「いずれは転出したい」と「すぐにでも転出したい」をあわせると16.6%となり、前回調査(17.2%)より0.6ポイント低くなっている。

【定住意向 (全体)】

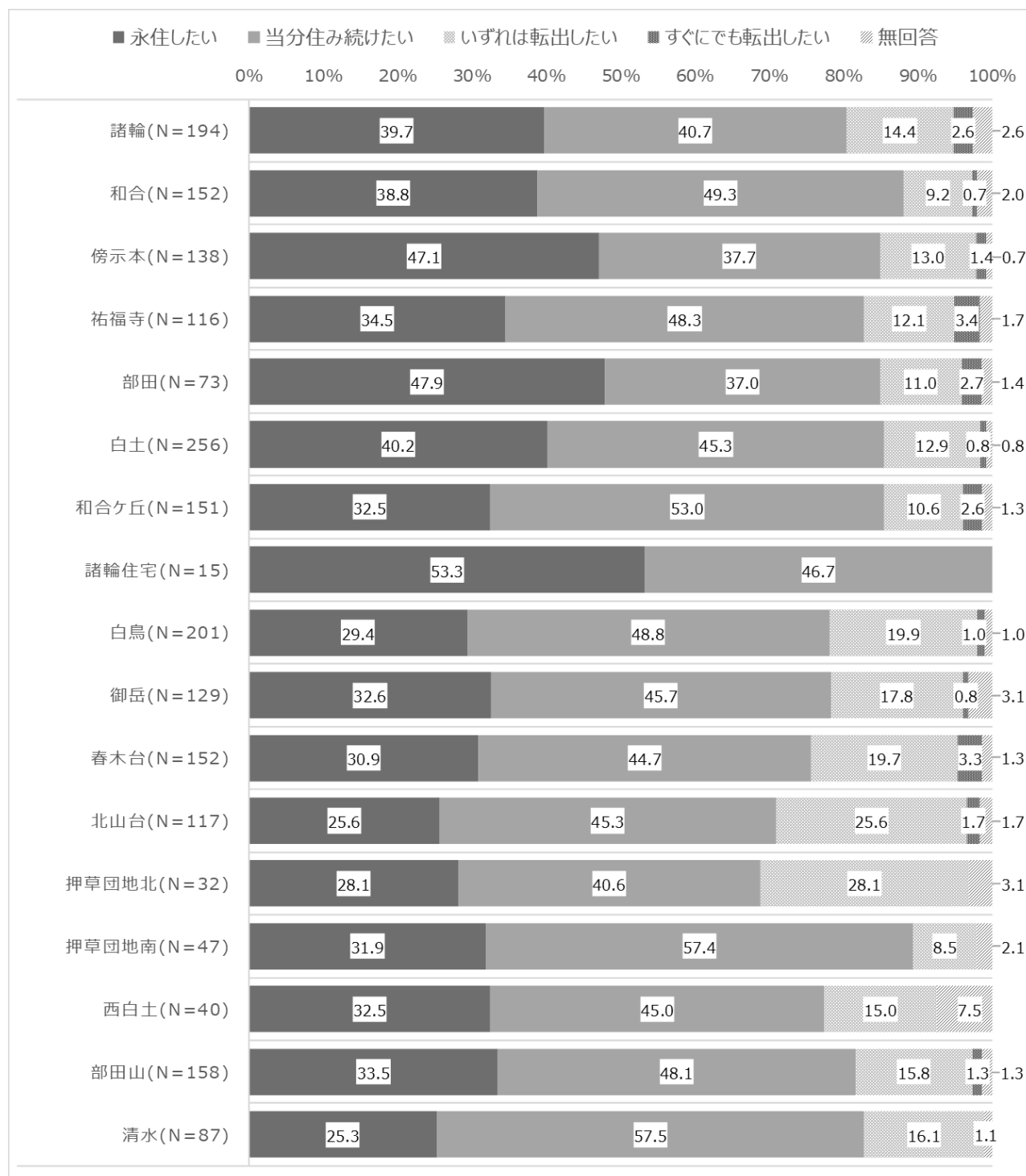


【定住意向 (性別/年代別)】



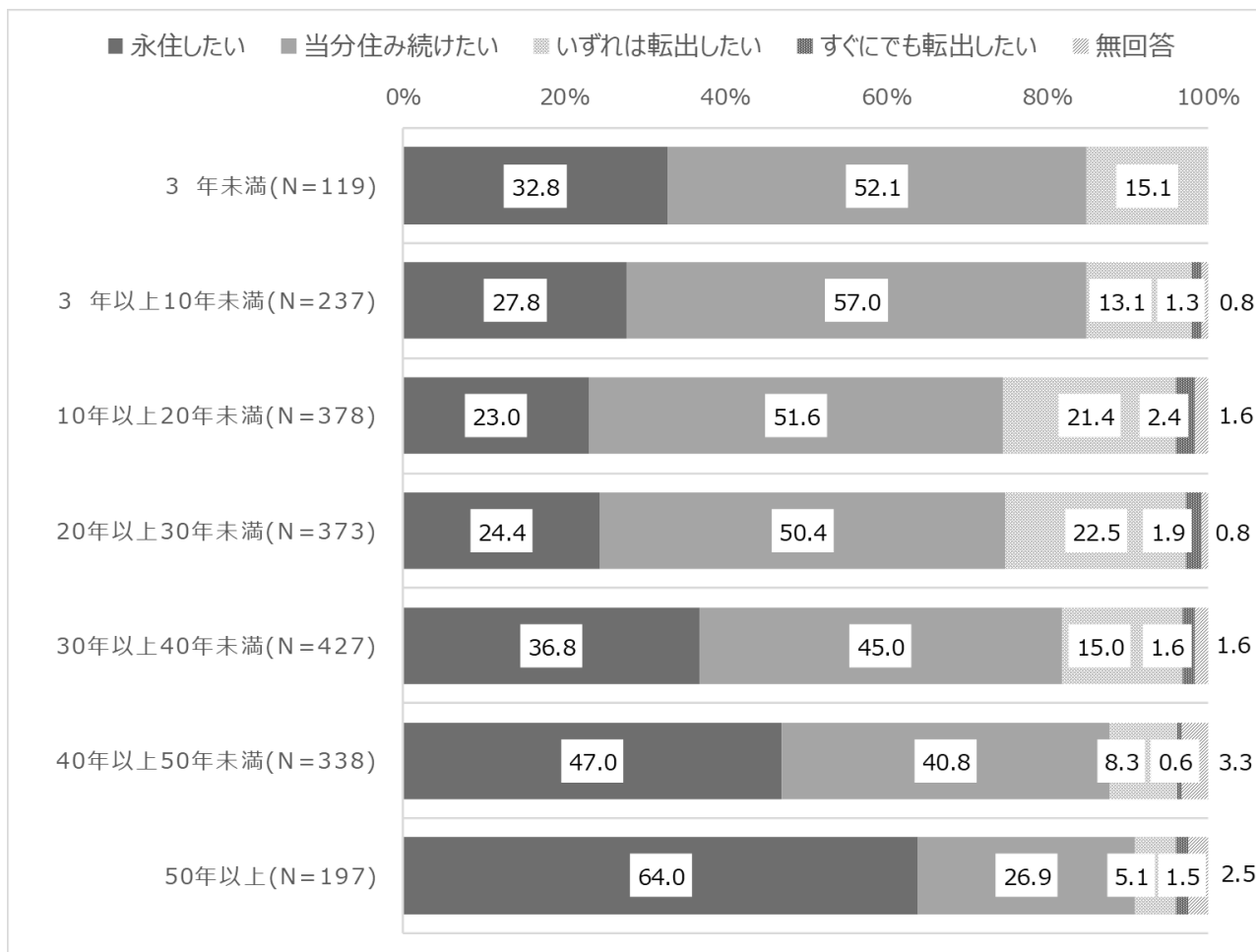
地域別でみると、「永住したい」と「当分住み続けたい」をあわせた“住み続けたい”は、最も低い「押草団地北」(68.7%)でも7割弱が“住み続けたい”と回答しており、全般に定住意向は高くなっている。

【定住意向（地域別）】



居住年数別でみると、「永住したい」と「当分住み続けたい」をあわせた“住み続けたい”は、「50年以上」（90.9％）で最も高く、「40年以上50年未満」（87.8％）、「3年未満」（84.9％）が続き、最も低い「10年以上20年未満」（74.6％）でも7割を超えている。

【定住意向（居住年数別）】



問 1 1 - 1 今後も住み続けたいと思われる理由を次の中から 3 つ以内で選んでください。

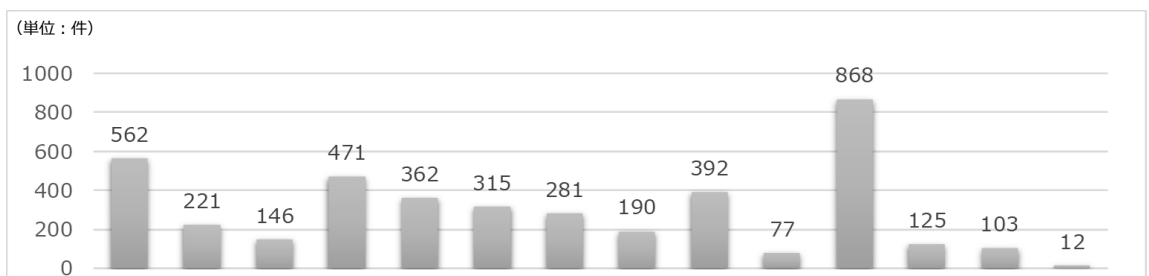
※問 11 で「1. 永住したい」、「2. 当分住み続けたい」と回答した方のみ

■「住みなれていて愛着があるから」が 50.7%、「自然環境が良いから」が 33.1%など

「永住したい」「当分住み続けたい」と思う理由では、「住みなれていて愛着があるから」が最も高く 50.7%、次に「自然環境が良いから」(33.1%)、「周辺の住環境が良いから」(28.0%)の順となっている。

また、20 歳代～30 歳代では「子育ての環境が良いから」の割合が高くなっている。

【今後も住み続けたい理由（全体／性別／年代／居住地域別）】



		自然環境が良いから	子育ての環境が良いから	交通の便が良いから	周辺の住環境が良いから	から災害や犯罪などが少ない	買い物に便利だから	から地域での人間関係が良い	と感じるから	老後も安心して暮らせる	があるから	学校や仕事、家庭の都合	まちに将来性があるから	る住み慣れていて愛着がある	住宅事情が良いから	その他	無回答
	全体(N=1703)	33.1	13.4	8.7	28.0	21.1	18.5	16.2	10.4	23.4	4.6	50.7	7.6	6.2	0.5		
性別	男性(N=737)	33.9	12.1	10.9	30.7	21.6	18.5	14.1	10.7	23.1	4.1	52.6	6.1	5.0	0.8		
	女性(N=843)	32.4	14.4	7.0	25.6	20.8	18.4	18.3	10.0	23.6	5.1	49.2	8.9	7.4	0.2		
年代	10 歳代(N=18)	27.8	5.6	22.2	27.8	16.7	11.1	11.1	5.6	27.8	5.6	72.2	5.6	0.0	0.0		
	20 歳代(N=76)	15.8	27.6	9.2	17.1	10.5	17.1	7.9	1.3	35.5	6.6	50.0	5.3	10.5	0.0		
	30 歳代(N=227)	20.7	43.2	9.7	32.2	13.7	20.7	11.9	3.1	41.4	10.6	26.4	5.7	7.0	0.0		
	40 歳代(N=314)	24.2	24.2	10.2	29.3	15.9	13.1	16.9	4.1	40.8	6.7	40.1	6.7	6.1	0.0		
	50 歳代(N=240)	34.6	5.8	8.8	29.6	19.6	18.8	12.5	5.0	31.3	1.7	46.7	6.3	6.3	0.0		
	60 歳代(N=291)	35.7	1.0	7.6	27.1	21.6	19.6	19.2	15.5	11.3	2.4	65.3	7.9	6.2	0.7		
	70 歳以上(N=520)	44.8	1.3	7.3	26.2	30.2	20.8	20.2	21.3	5.0	2.7	62.3	9.0	5.0	1.3		
居住地域	諸輪(N=156)	44.2	10.9	2.6	21.8	24.4	5.8	18.6	8.3	25.0	5.1	56.4	7.1	7.7	0.6		
	和合(N=134)	28.4	12.7	15.7	26.1	17.9	16.4	17.9	13.4	24.6	8.2	52.2	6.0	4.5	0.0		
	傍示本(N=117)	35.9	12.0	4.3	13.7	16.2	6.8	16.2	11.1	15.4	8.5	66.7	4.3	9.4	0.9		
	祐福寺(N=96)	31.3	7.3	3.1	15.6	17.7	15.6	17.7	15.6	24.0	2.1	64.6	8.3	5.2	1.0		
	部田(N=62)	40.3	9.7	3.2	25.8	29.0	3.2	33.9	14.5	19.4	4.8	59.7	4.8	3.2	0.0		
	白土(N=219)	23.7	10.5	13.2	29.2	25.6	26.5	16.0	12.8	23.3	5.9	46.6	8.2	6.4	0.0		
	和合ヶ丘(N=129)	32.6	10.9	15.5	31.8	20.9	14.7	20.2	10.9	19.4	3.9	43.4	13.2	4.7	0.0		
	諸輪住宅(N=15)	46.7	0.0	20.0	20.0	26.7	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	53.3	0.0	0.0	6.7		
	白鳥(N=157)	31.2	10.2	12.1	42.7	21.7	43.3	10.8	10.8	16.6	3.8	42.0	9.6	3.2	0.6		
	御岳(N=101)	38.6	6.9	5.0	37.6	19.8	23.8	15.8	7.9	17.8	2.0	46.5	9.9	8.9	3.0		
	春木台(N=115)	39.1	17.4	4.3	25.2	25.2	5.2	12.2	14.8	31.3	7.0	60.0	9.6	2.6	0.0		
	北山台(N=83)	31.3	13.3	6.0	24.1	20.5	15.7	19.3	8.4	26.5	4.8	60.2	3.6	7.2	1.2		
	押草団地北(N=22)	50.0	0.0	9.1	31.8	36.4	50.0	9.1	9.1	13.6	0.0	36.4	0.0	13.6	0.0		
	押草団地南(N=42)	38.1	4.8	14.3	19.0	19.0	52.4	4.8	11.9	9.5	0.0	45.2	4.8	11.9	0.0		
	西白土(N=31)	16.1	9.7	12.9	12.9	16.1	35.5	25.8	3.2	19.4	3.2	51.6	3.2	12.9	3.2		
部田山(N=129)	27.9	26.4	7.8	37.2	17.8	10.1	17.1	9.3	26.4	3.1	44.2	7.8	7.0	0.0			
清水(N=72)	36.1	34.7	4.2	31.9	13.9	11.1	12.5	4.2	41.7	0.0	41.7	4.2	2.8	0.0			

(単位: %)

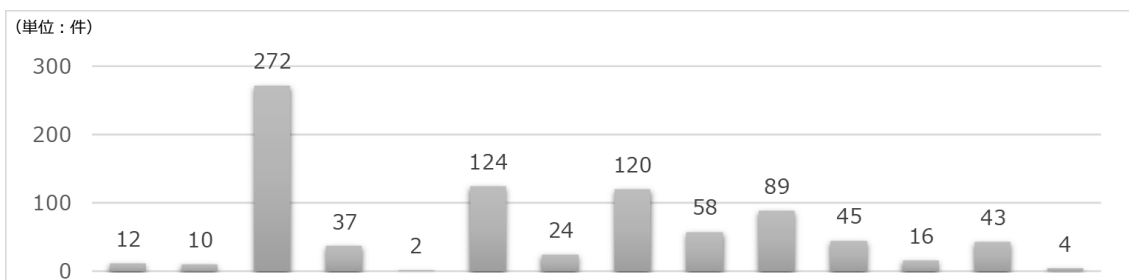
問 1 1 - 2 転出したいと思われている理由を次の中から 3 つ以内で選んでください。

※問 11 で「3. いずれは転出したい」、「4. すぐにでも転出したい」と回答した方のみ

■ 交通の便の悪さや買い物の不便さ、将来への不安

転出したい理由では、「交通の便が良くないから」の割合が 79.1%で最も高く、「買い物に不便だから」(36.2%)、「老後も安心して暮らせると思えないから」(34.8%) の順となっている。

【転出したい理由（全体／性別／年代／居住地域別）】



	自然環境が良くないから	子育ての環境が良くないから	交通の便が良くないから	周辺の住環境が良くないから	災害や犯罪などが多いから	買い物に不便だから	地域での人間関係が良くないから	老後も安心して暮らせると思えないから	学校や仕事、家庭の都合があるから	まちに将来性がないから	まちに愛着がもてないから	住宅事情が良くないから	その他	無回答
全体(N=345)	3.5	3.2	79.1	10.1	0.6	36.2	6.7	34.8	16.8	26.1	12.5	4.6	12.8	1.2
性別														
男性(N=125)	3.2	3.2	75.2	12.0	0.8	28.0	8.0	35.2	16.8	30.4	10.4	1.6	18.4	0.8
女性(N=198)	4.0	3.0	81.3	9.1	0.5	41.4	6.6	35.9	17.7	22.7	14.1	6.1	8.6	1.5
年代														
10歳代(N=17)	0.0	0.0	82.4	0.0	0.0	29.4	0.0	17.6	47.1	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0
20歳代(N=51)	2.0	5.9	76.5	5.9	0.0	29.4	5.9	15.7	31.4	19.6	7.8	5.9	11.8	2.0
30歳代(N=42)	7.1	7.1	73.8	7.1	0.0	19.0	4.8	19.0	33.3	26.2	16.7	7.1	7.1	0.0
40歳代(N=54)	3.7	3.7	81.5	11.1	1.9	33.3	7.4	33.3	13.0	27.8	18.5	3.7	11.1	0.0
50歳代(N=55)	5.5	1.8	85.5	20.0	1.8	40.0	5.5	40.0	9.1	25.5	12.7	3.6	10.9	1.8
60歳代(N=54)	3.7	0.0	75.9	7.4	0.0	42.6	5.6	53.7	7.4	33.3	16.7	5.6	14.8	3.7
70歳以上(N=72)	1.4	2.8	79.2	11.1	0.0	47.2	11.1	44.4	5.6	29.2	8.3	4.2	19.4	0.0
居住地域														
諸輪(N=33)	6.1	3.0	87.9	18.2	0.0	57.6	15.2	27.3	12.1	30.3	15.2	0.0	3.0	0.0
和合(N=15)	0.0	0.0	73.3	20.0	6.7	26.7	20.0	26.7	33.3	20.0	6.7	0.0	26.7	0.0
傍示本(N=20)	10.0	5.0	75.0	20.0	0.0	45.0	10.0	40.0	5.0	15.0	10.0	15.0	25.0	0.0
祐福寺(N=18)	5.6	0.0	94.4	16.7	0.0	27.8	5.6	38.9	16.7	38.9	27.8	5.6	5.6	0.0
部田(N=10)	10.0	0.0	80.0	30.0	0.0	30.0	20.0	30.0	20.0	40.0	30.0	10.0	0.0	10.0
白土(N=35)	2.9	11.4	77.1	8.6	2.9	17.1	0.0	31.4	22.9	31.4	22.9	5.7	17.1	0.0
和合ヶ丘(N=20)	0.0	5.0	75.0	5.0	0.0	40.0	20.0	30.0	20.0	30.0	5.0	5.0	20.0	5.0
諸輪住宅(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
白鳥(N=42)	2.4	0.0	71.4	16.7	0.0	11.9	2.4	35.7	14.3	23.8	11.9	7.1	9.5	0.0
御岳(N=24)	4.2	12.5	83.3	0.0	0.0	25.0	4.2	54.2	16.7	25.0	16.7	4.2	12.5	0.0
春木台(N=35)	2.9	0.0	82.9	8.6	0.0	54.3	8.6	42.9	8.6	31.4	0.0	2.9	8.6	0.0
北山台(N=32)	0.0	3.1	78.1	3.1	0.0	56.3	3.1	34.4	12.5	21.9	9.4	0.0	18.8	0.0
押草団地北(N=9)	11.1	0.0	66.7	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	33.3	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0
押草団地南(N=4)	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0
西白土(N=6)	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	50.0	0.0	50.0	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
部田山(N=27)	0.0	0.0	85.2	3.7	0.0	40.7	0.0	33.3	25.9	18.5	11.1	0.0	7.4	3.7
清水(N=14)	0.0	0.0	71.4	0.0	0.0	42.9	0.0	21.4	21.4	14.3	7.1	7.1	14.3	7.1

(単位: %)

2. 日常生活の意識などについて

2-1 日常生活における意識や行動

問12 日常生活における意識や行動について、最もあてはまる番号を1つずつ選んでください。

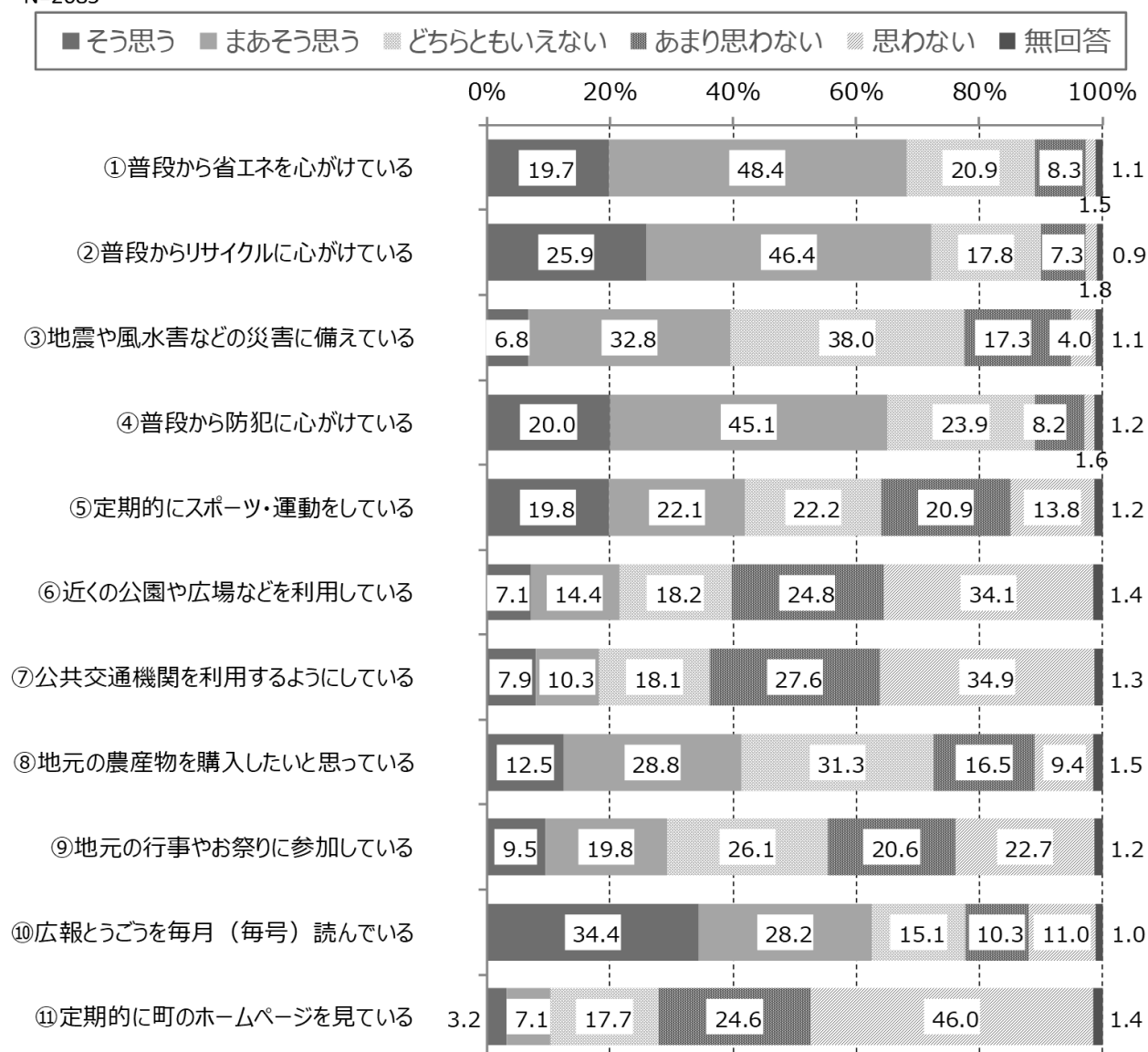
■リサイクルや省エネ、防犯への意識や行動が目立つ、HPよりも広報とうごうに注目

日常生活の意識や行動について、「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた“思う”の割合をみると、「普段からリサイクルに心がけている」が72.3%で最も高く、「普段から省エネを心がけている」(68.1%)、「普段から防犯に心がけている」(65.1%)、「広報とうごうを毎月(毎号)読んでいる」(62.6%)が続く。

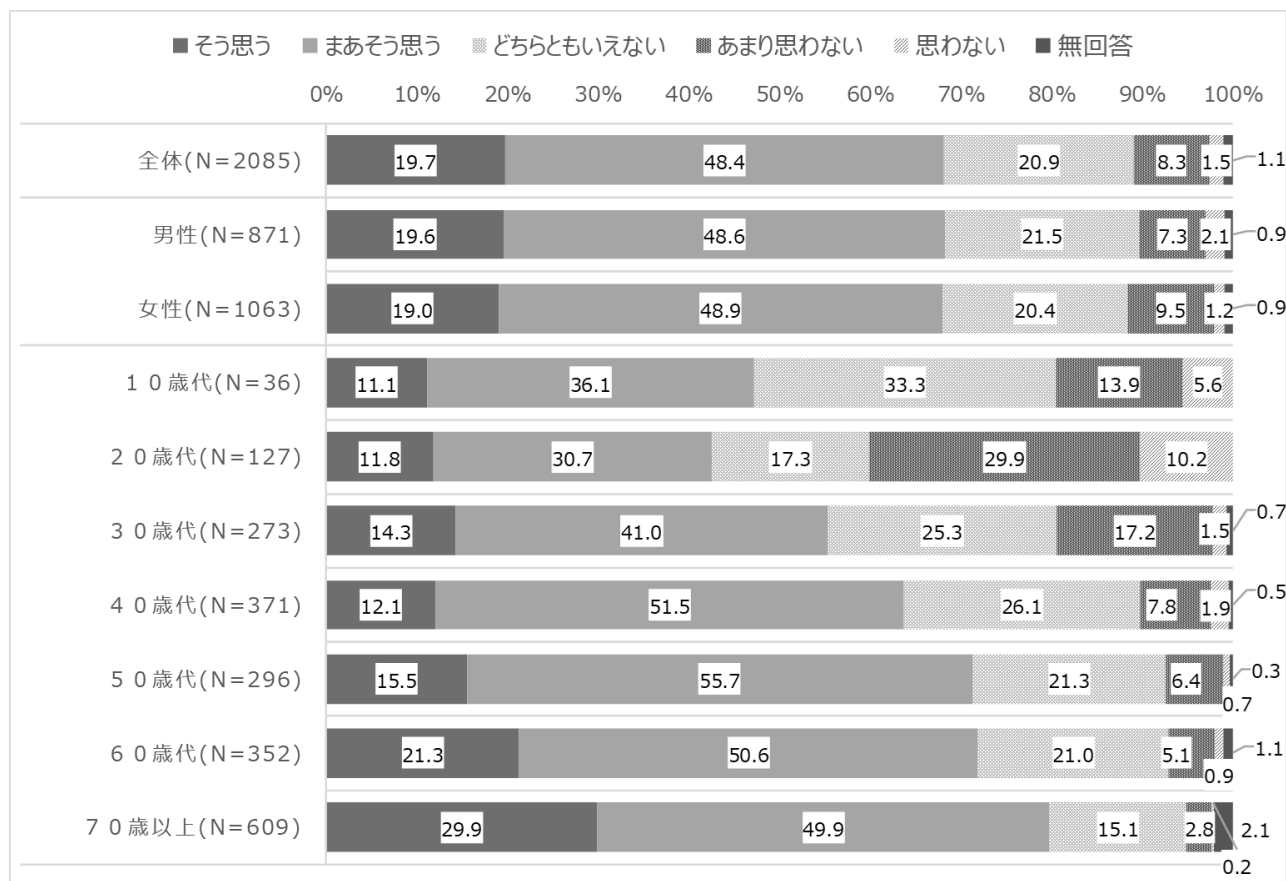
一方、「思わない」と「あまり思わない」をあわせた“思わない”の割合は、「定期的に町のホームページを見ている」(70.6%)、「公共交通機関を利用するようにしている」(62.5%)、「近くの公園や広場などを利用している」(58.9%)で高くなっている。

【日常生活の意識や行動(全体)】

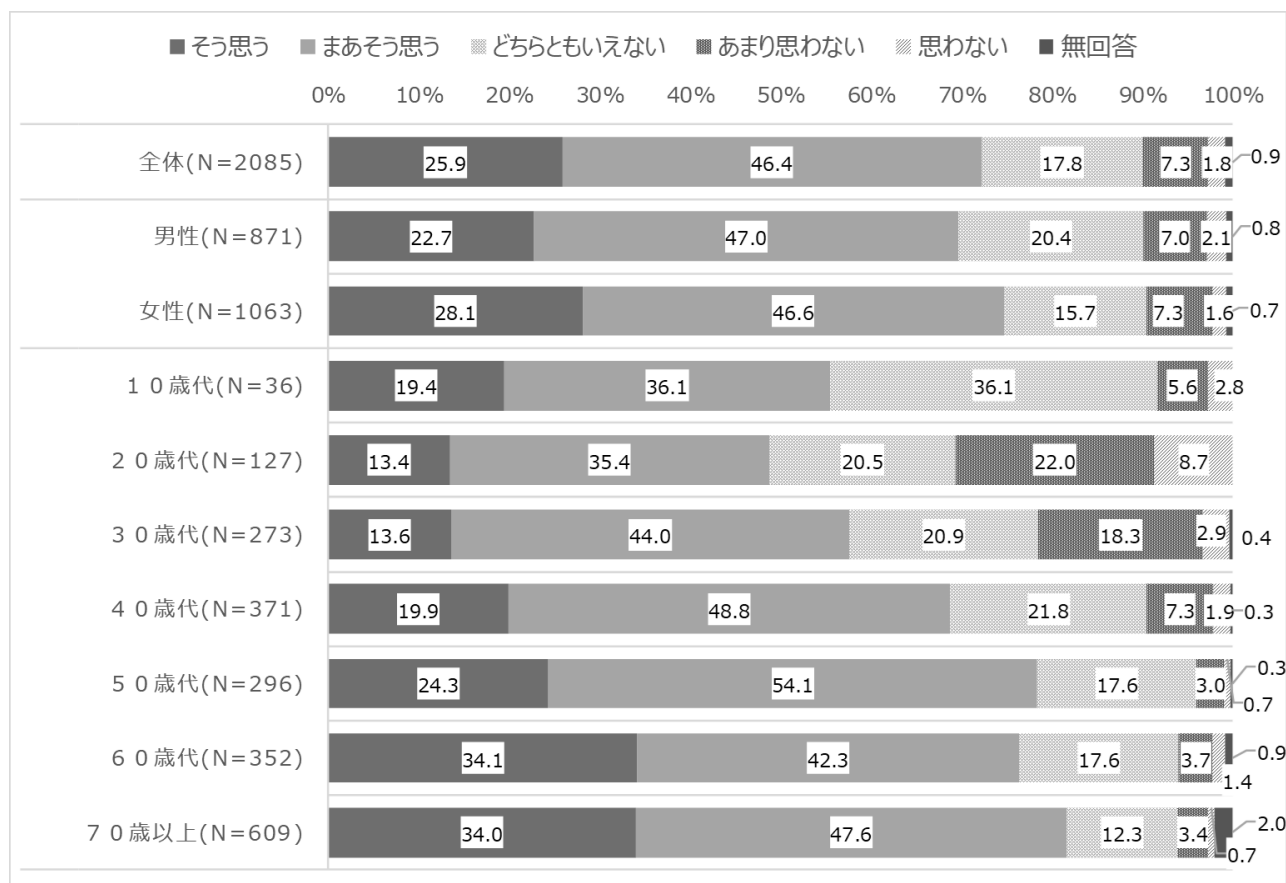
N=2085



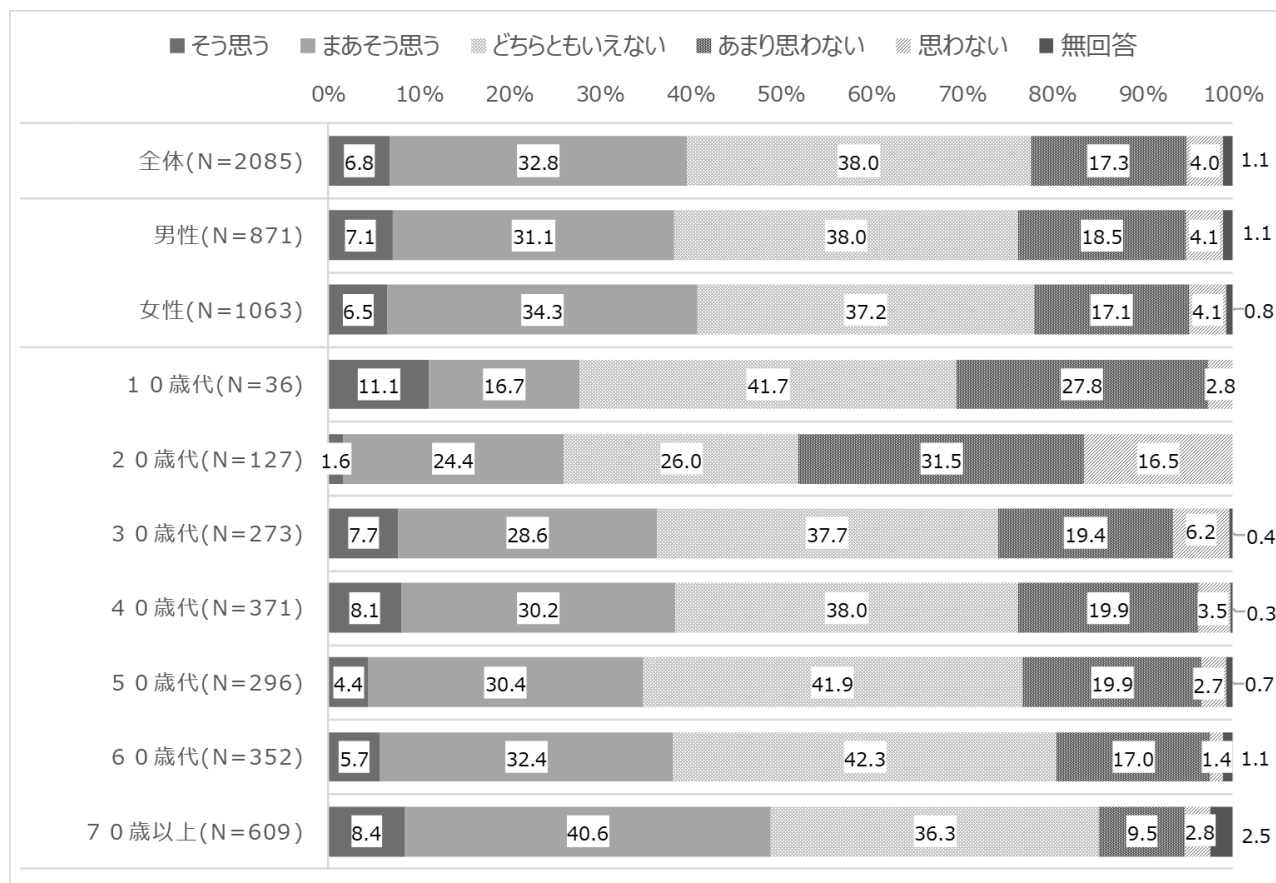
(1) 普段から省エネを心がけている (全体/性別/年代別)



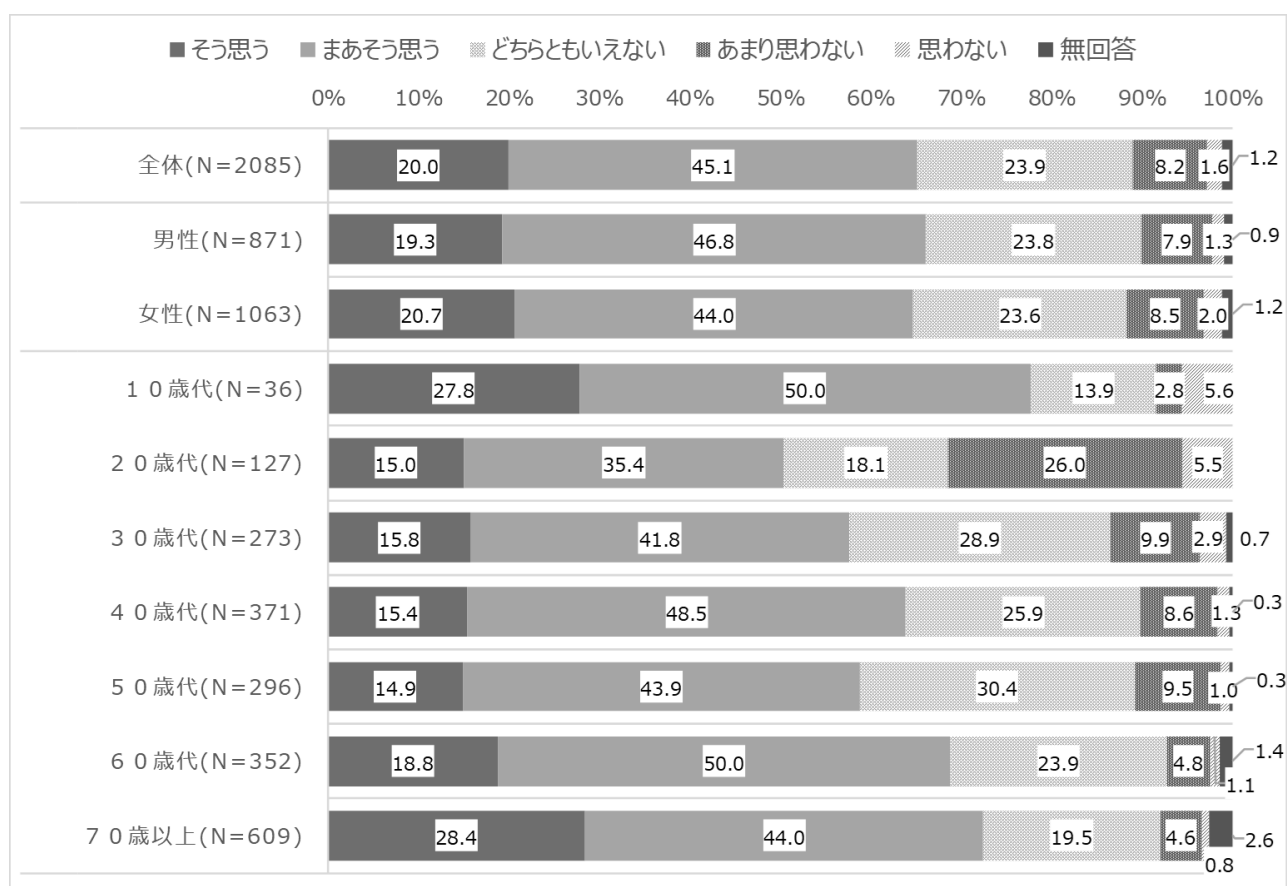
(2) 普段からリサイクルに心がけている (全体/性別/年代別)



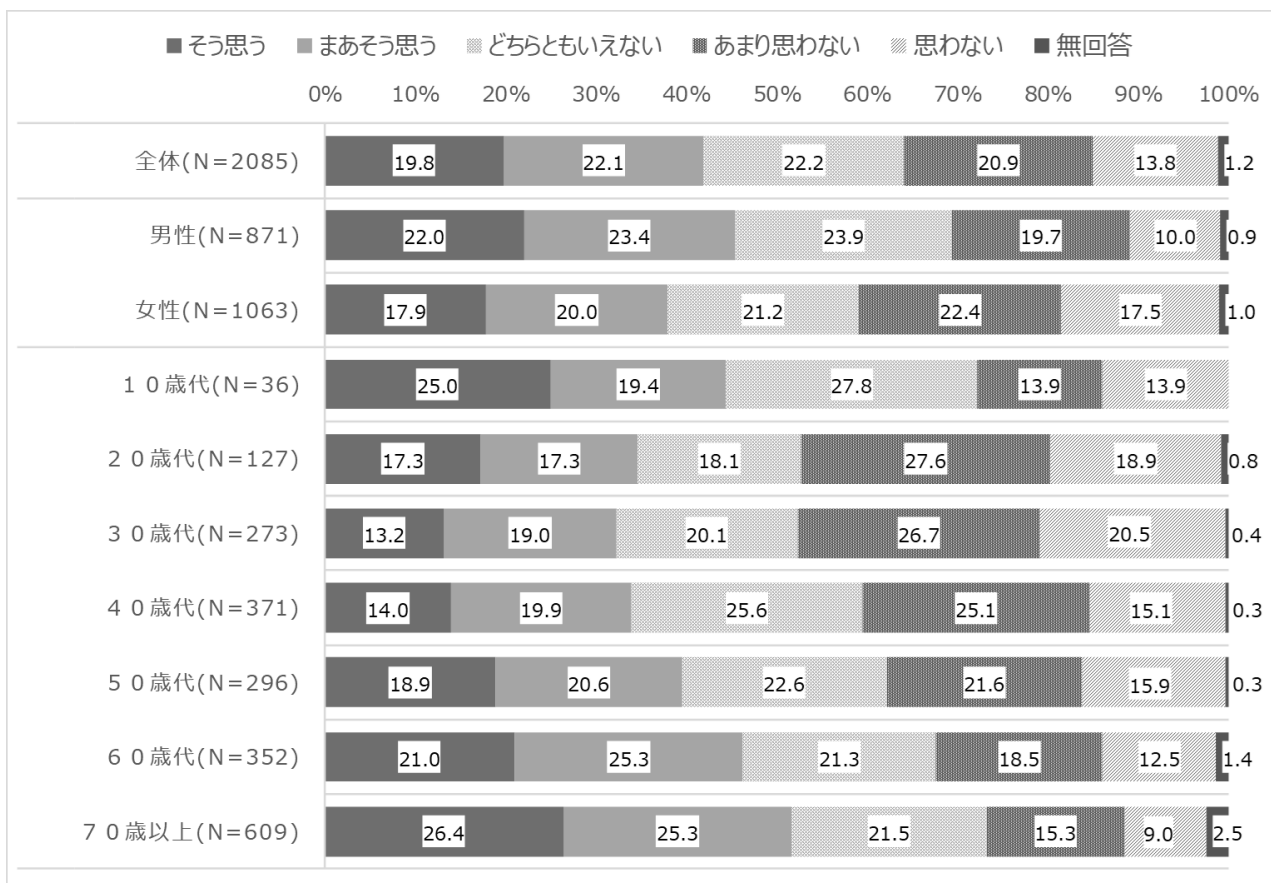
(3) 地震や風水害などの災害に備えている (全体/性別/年代別)



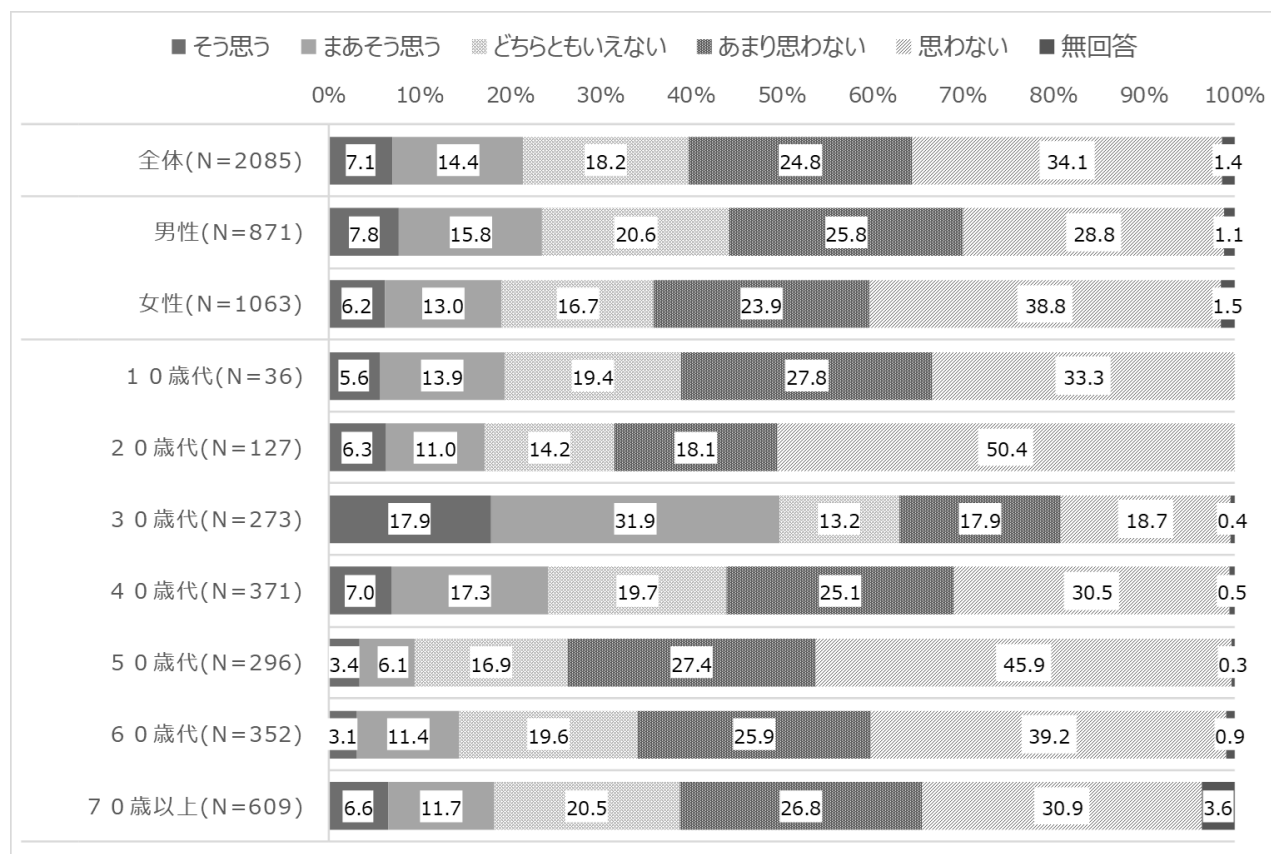
(4) 普段から防犯に心がけている (全体/性別/年代別)



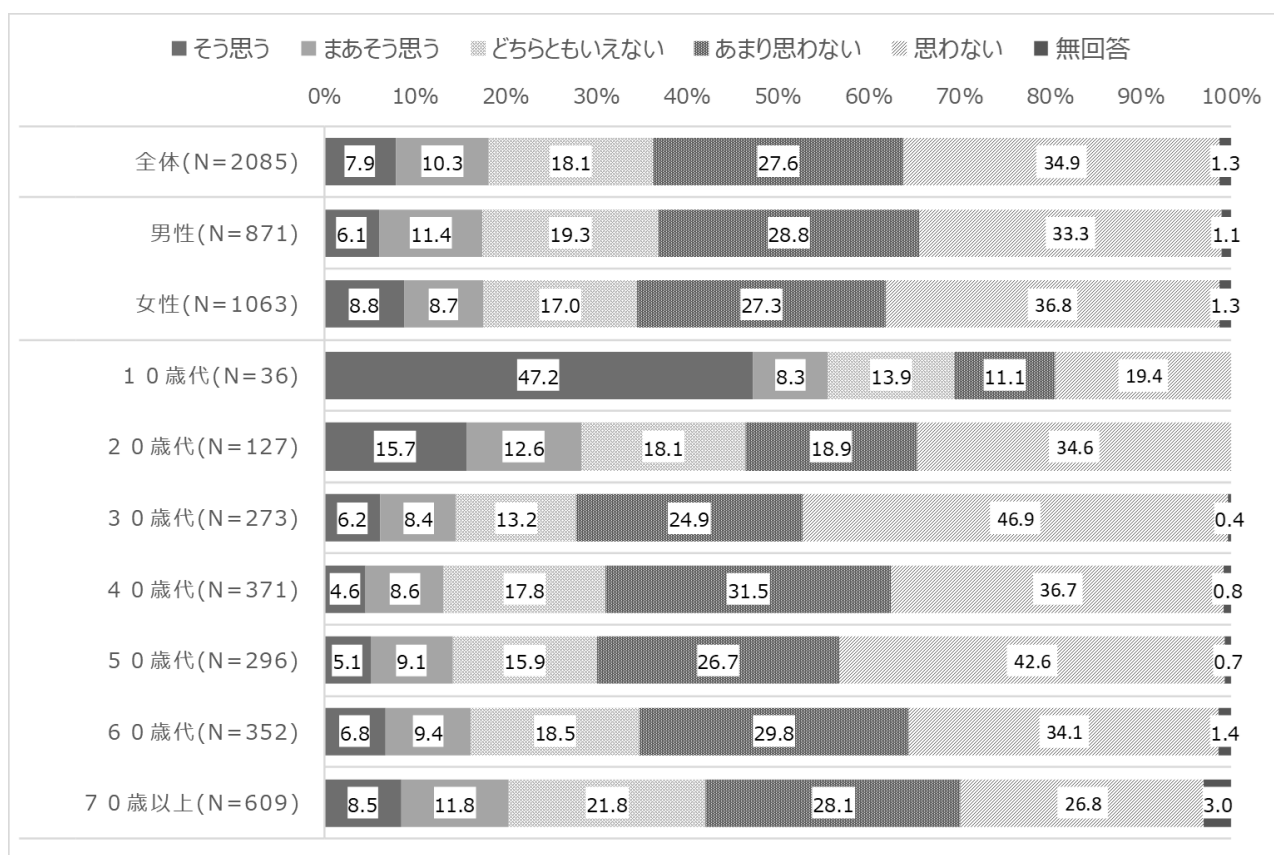
(5) 定期的にスポーツ・運動をしている（全体／性別／年代別）



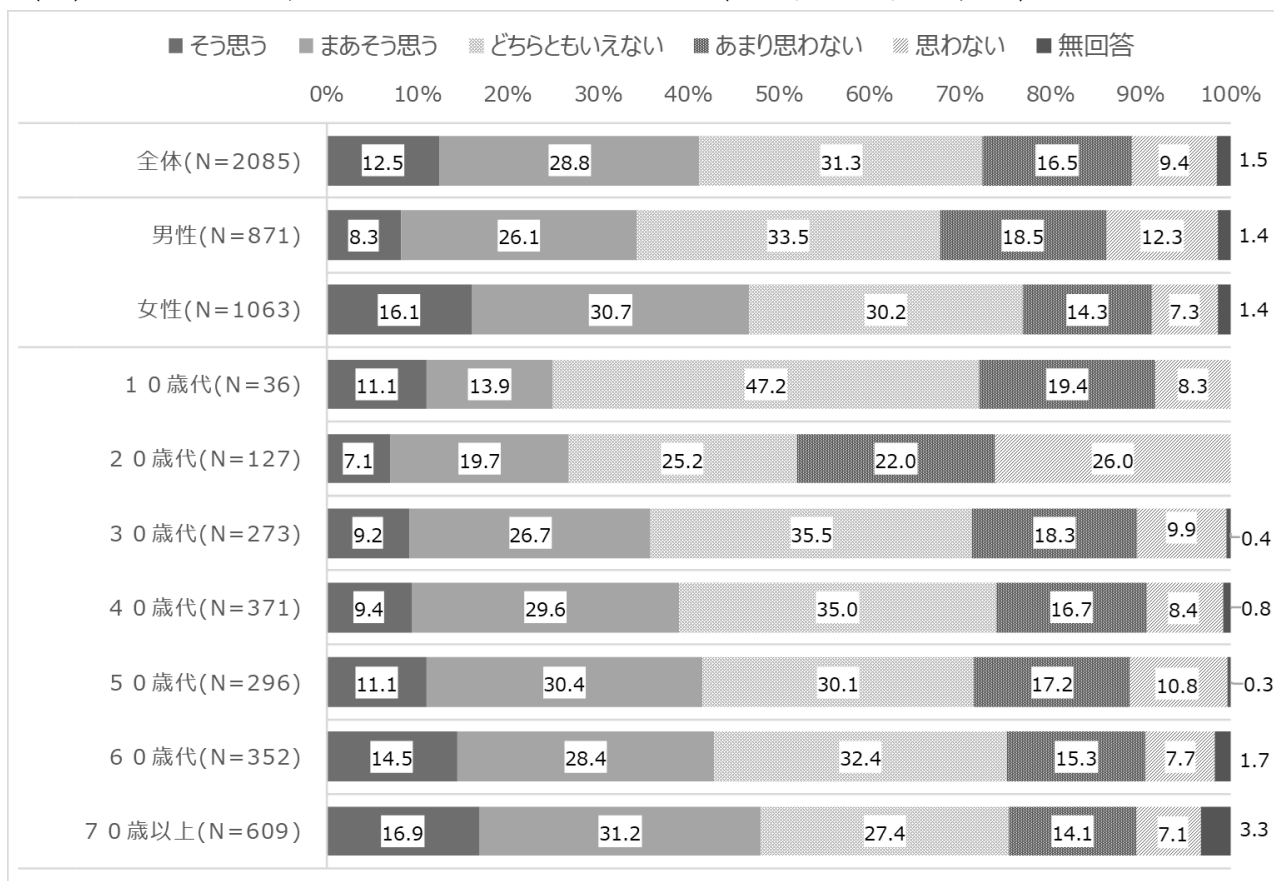
(6) 近くの公園や広場などを利用している（全体／性別／年代別）



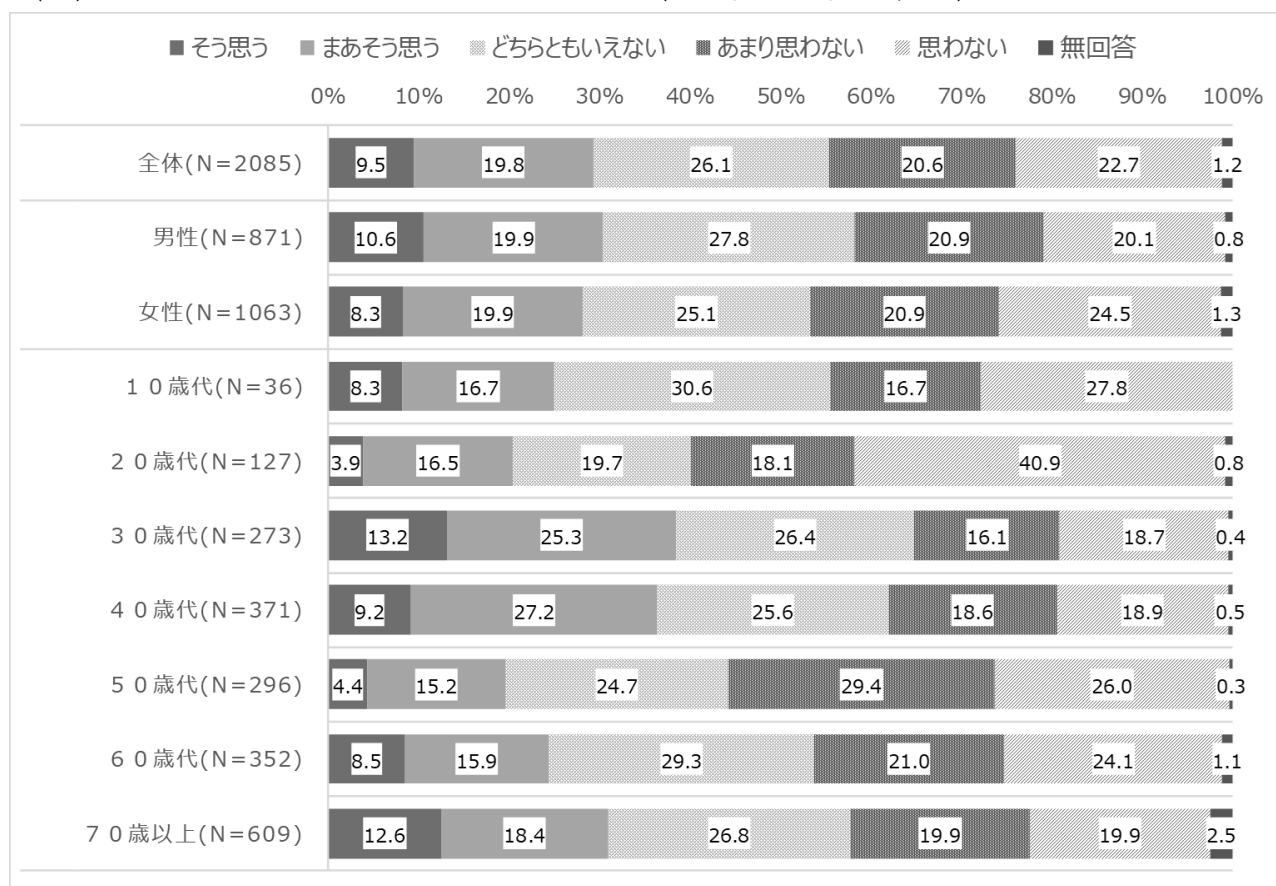
(7) 公共交通機関を利用するようにしている（全体／性別／年代別）



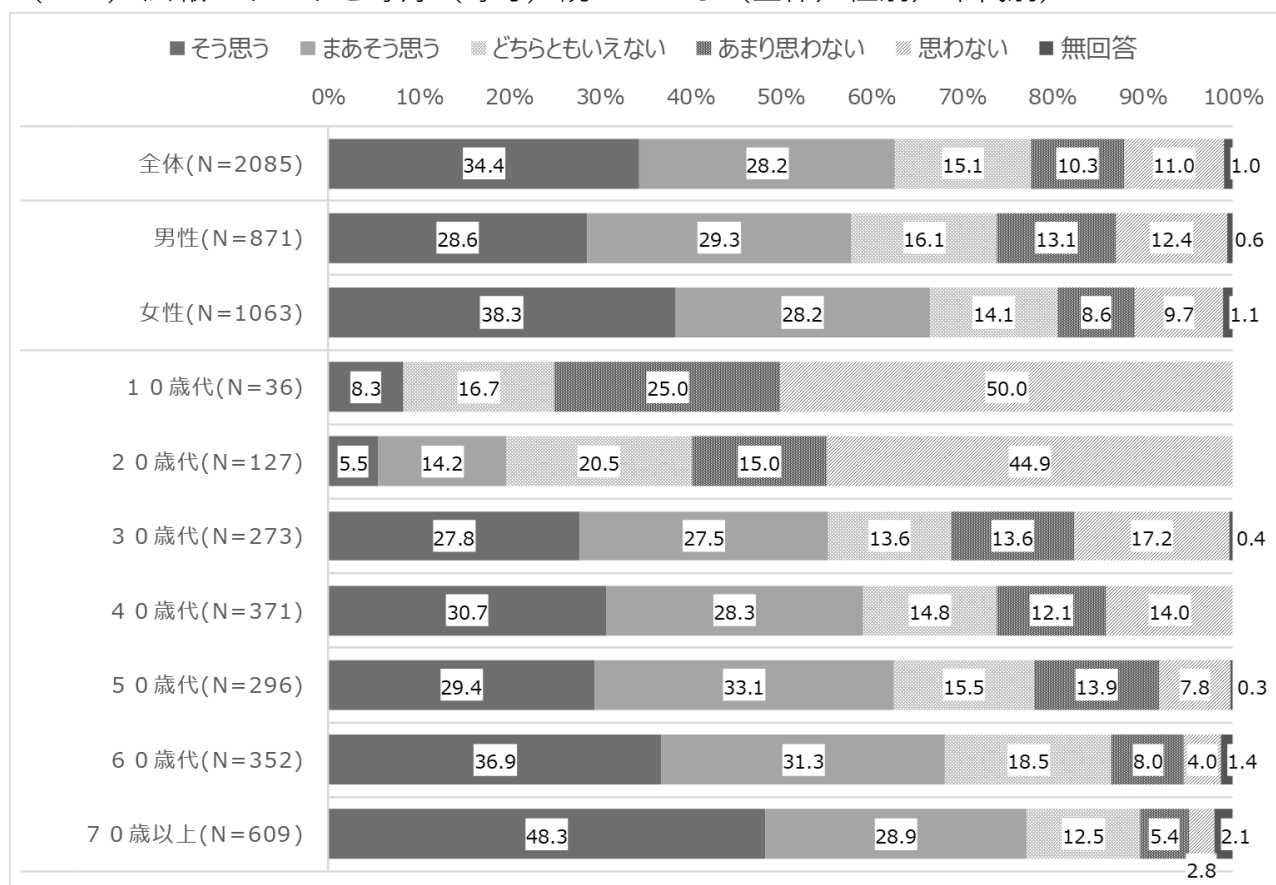
(8) 地元の農産物を購入したいと思っている（全体／性別／年代別）



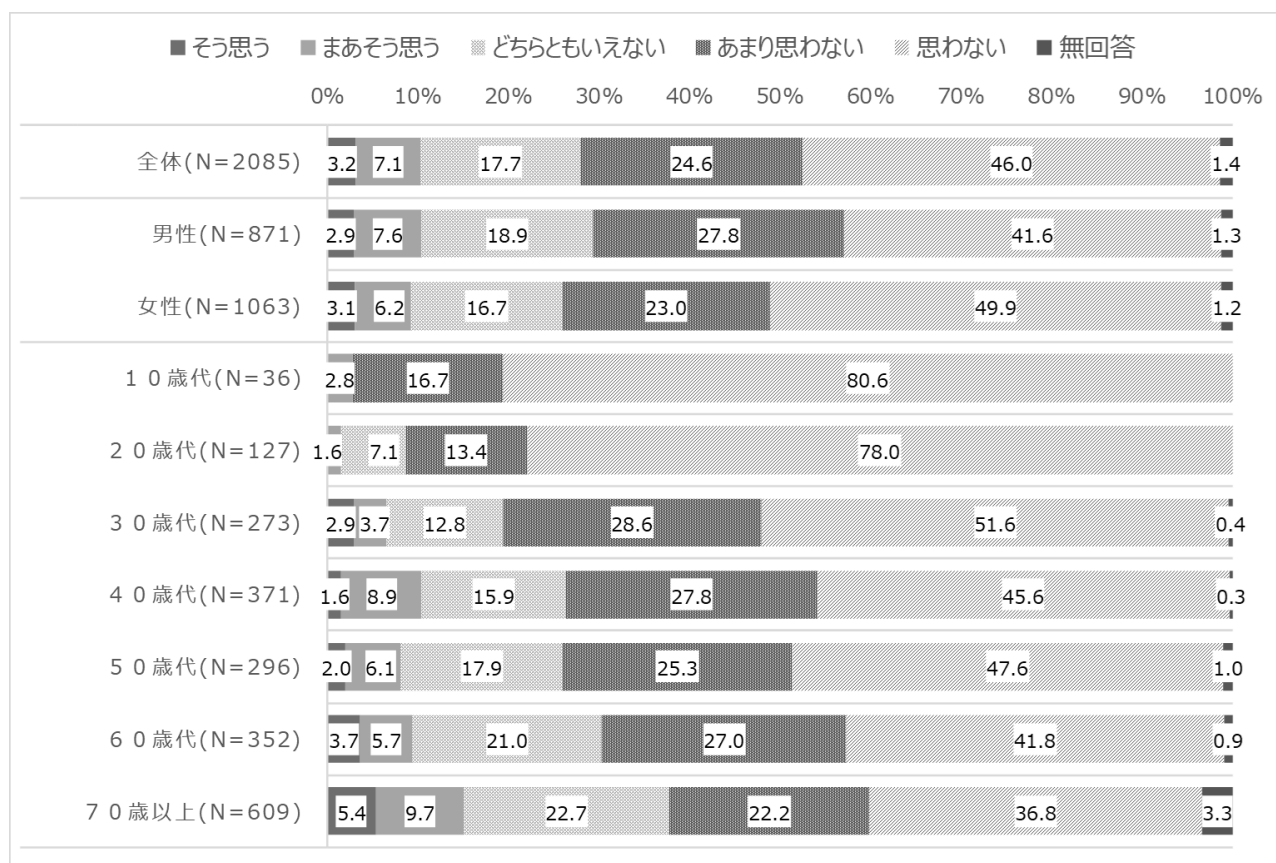
(9) 地元の行事やお祭りに参加している (全体/性別/年代別)



(10) 広報とうごうを毎月(毎月)読んでいる (全体/性別/年代別)



(11) 定期的に町のホームページを見ている (全体/性別/年代別)



2-2 地域に対する意識

問13 地域に対する意識について、最もあてはまる番号を1つずつ選んでください。

■安心して子育てできる環境、地域で助け合える風土を求める

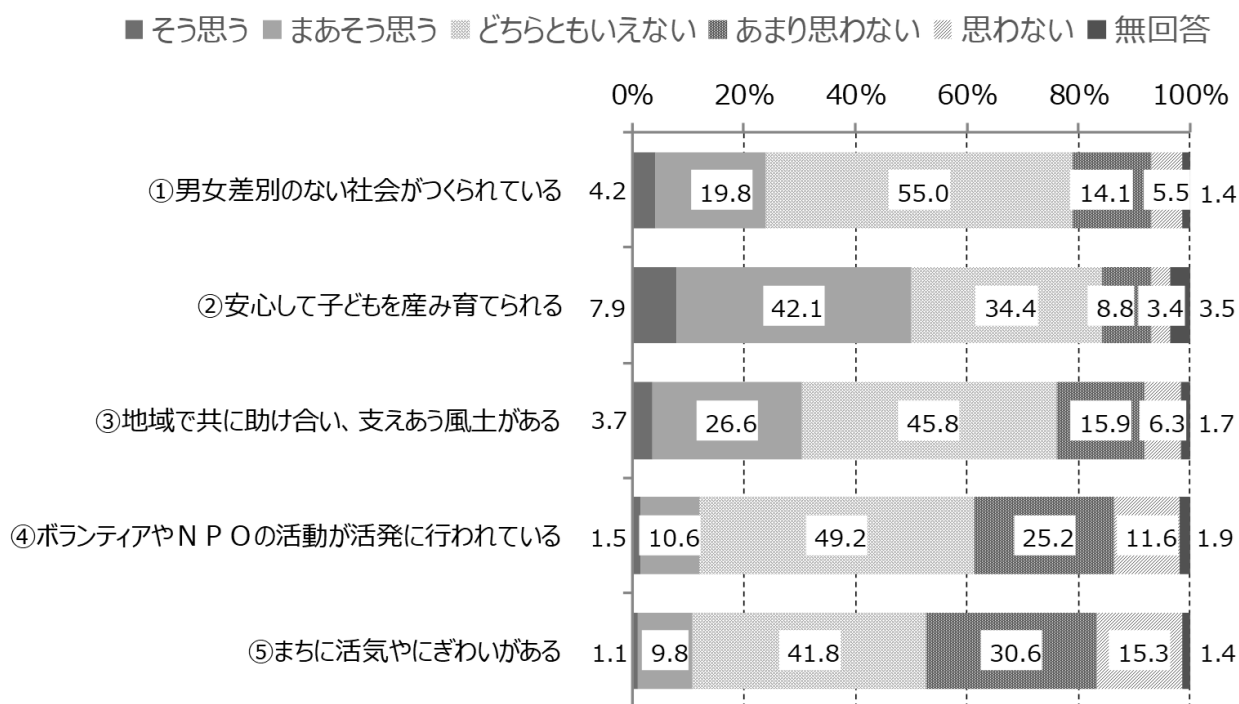
地域に対する意識について、「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた“思う”の割合をみると、「安心して子どもを産み育てられる」が50.0%で最も高く、「地域で共に助け合い、支えあう風土がある」(30.3%)、「男女差別のない社会がつくられている」(24.0%)が続く。

一方、「思わない」と「あまり思わない」をあわせた“思わない”の割合は、「まちに活気やにぎわいがある」(45.9%)、「ボランティアやNPOの活動が活発に行われている」(36.8%)が3割以上で高くなっている。

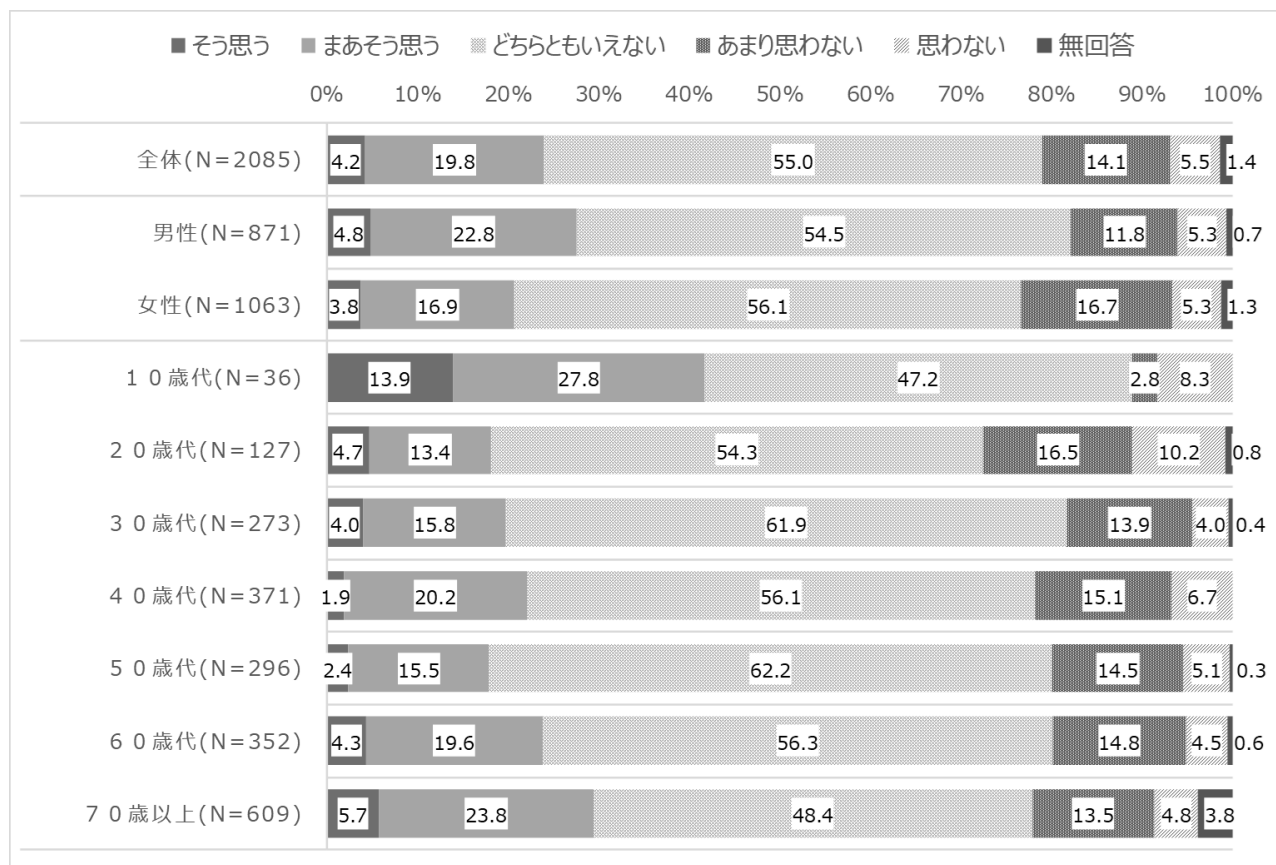
また、多くの項目で「どちらともいえない」が最も高い割合となった。

【地域に対する意識（全体）】

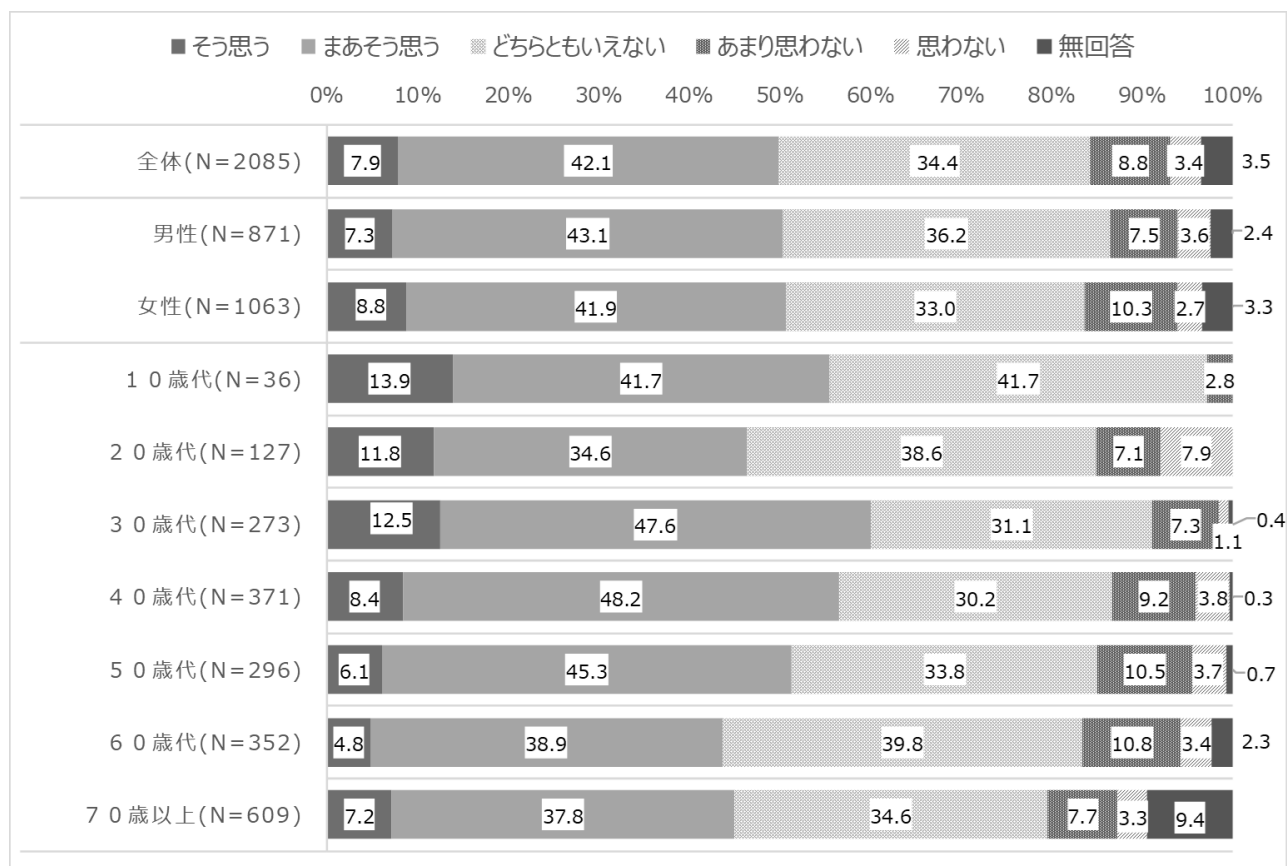
N=2085



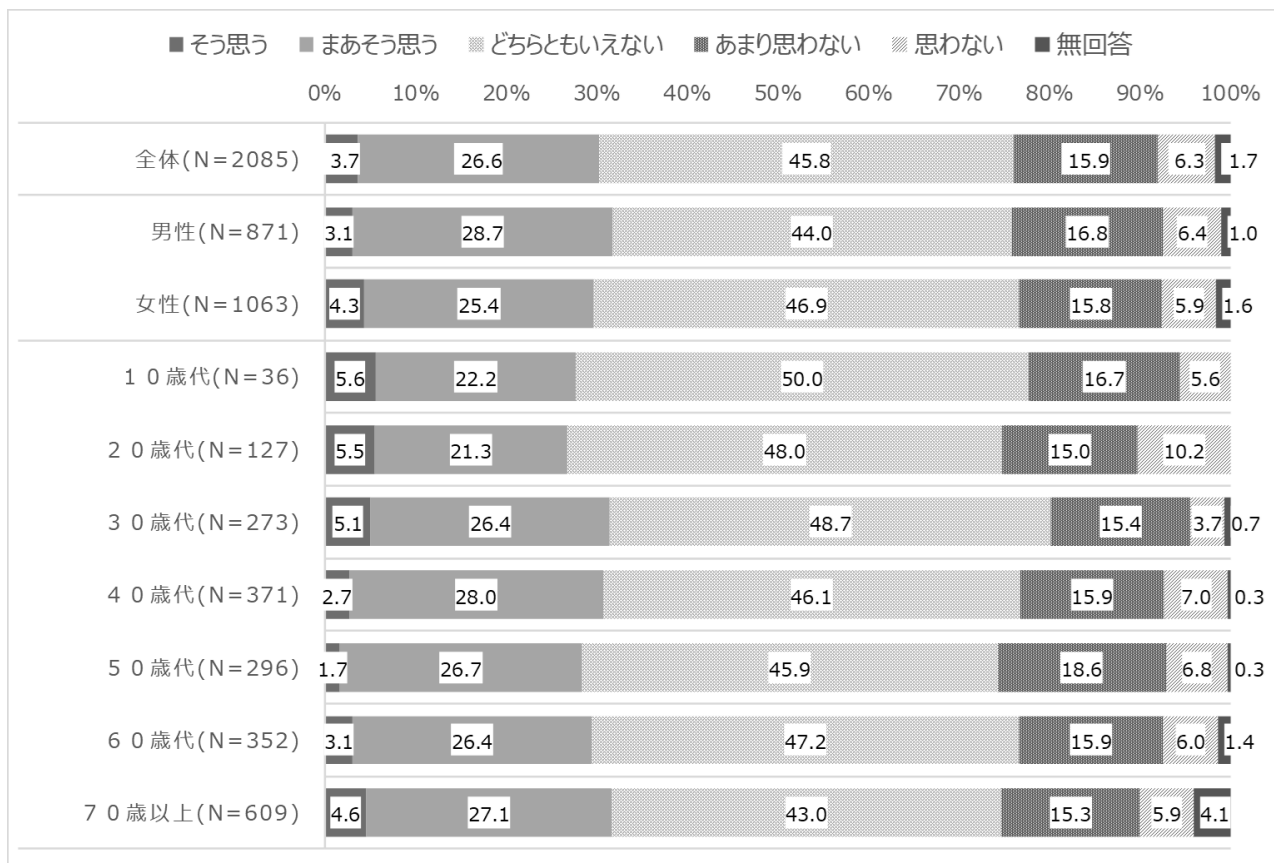
(1) 男女差別のない社会がつけられている (全体/性別/年代別)



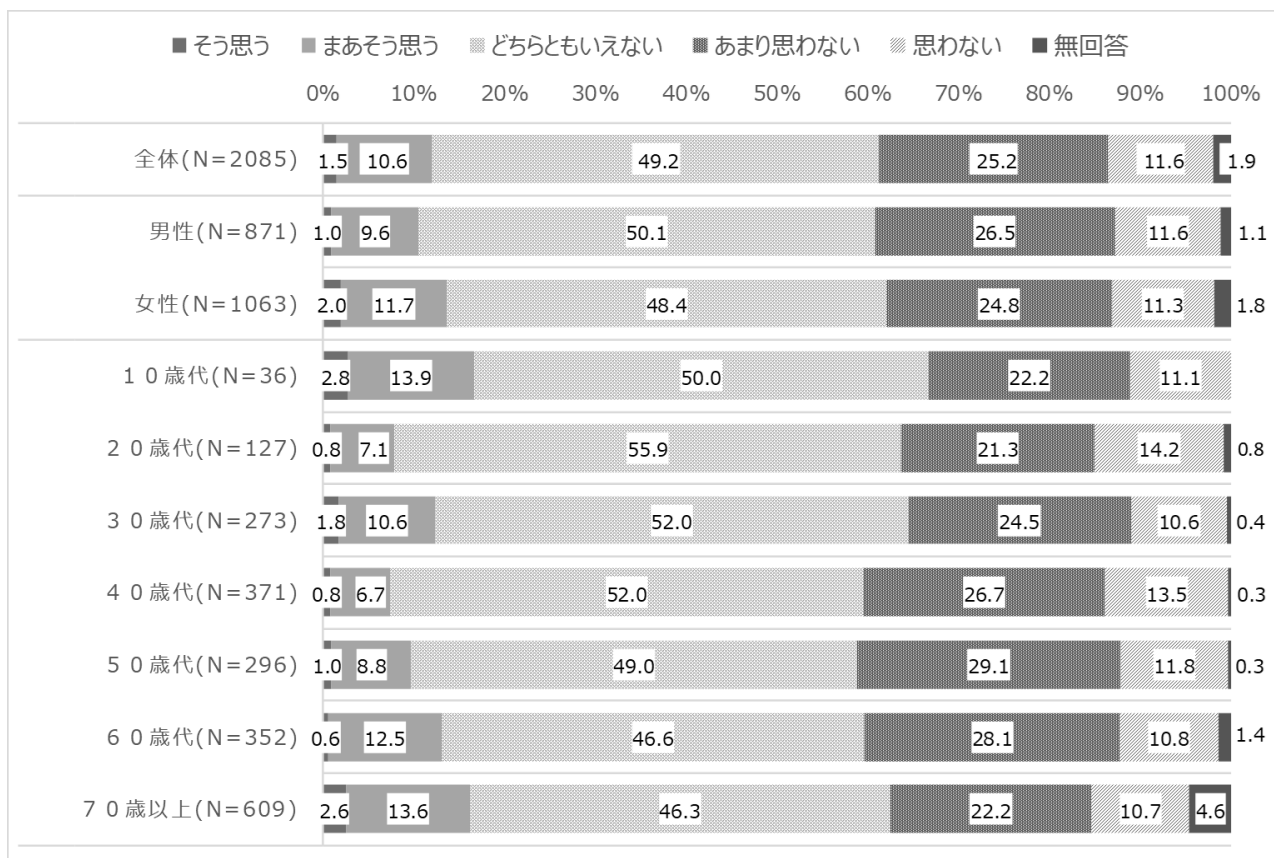
(2) 安心して子どもを産み育てられる (全体/性別/年代別)



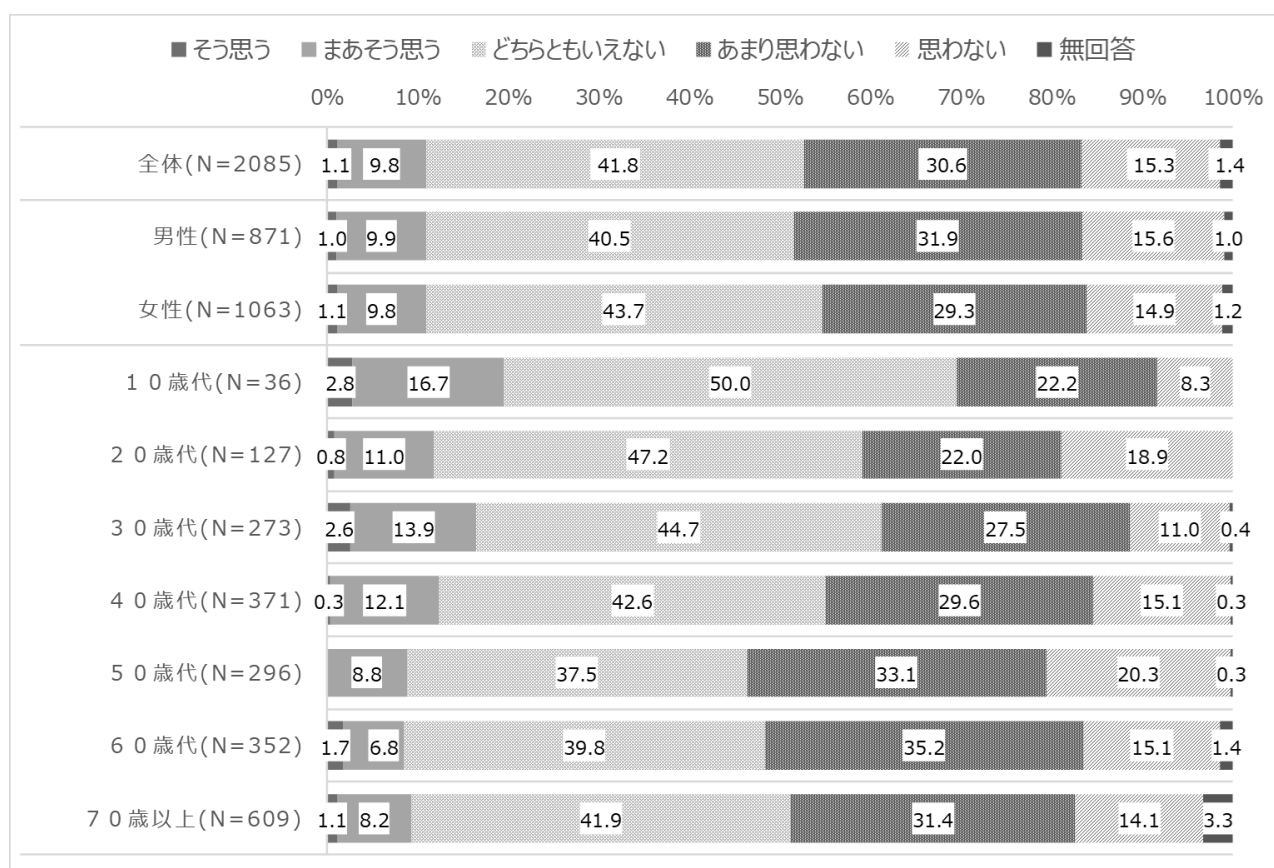
(3) 地域で共に助け合い、支えあう風土がある (全体/性別/年代別)



(4) ボランティアやNPOの活動が活発に行われている (全体/性別/年代別)



(5) まちに活気やにぎわいがある (全体/性別/年代別)



3. 東郷町の取り組みについて

問14 東郷町の取り組みについて具体的におうかがいします。それぞれの項目について、どの程度の満足を感じておられますか？また、それぞれの重要性をどのように感じておられますか？
満足度と重要度について、今のお気持ちに近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください。

3-1 満足度

(1) 全体評価

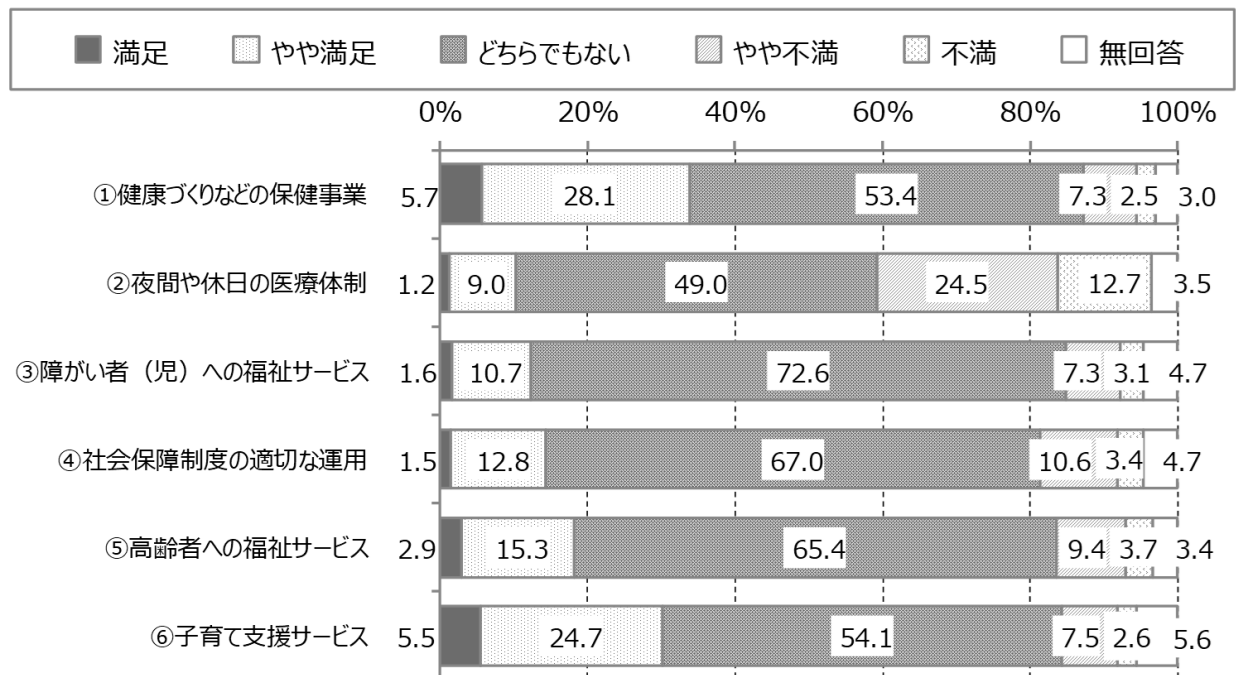
東郷町の取り組みにおける具体的な満足度について、「健康で元気に暮らせるまち」、「次世代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち」、「参画と協働で自立するまち」、「安全で環境にやさしいおいしいのあるまち」、「産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち」に対し、[満足]を+2点、[やや満足]を+1点、[やや不満]を-1点、[不満]を-2点、[どちらでもない]を0点として項目ごとに評価点を算出した。
その結果、東郷町全体では、東郷町の取り組みにおける具体的な満足度の平均値は0.01となり、前回調査よりも0.04ポイント改善している。

	全体	健康で元気に暮らせるまち	次世代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち	参画と協働で自立するまち	安全で環境にやさしいおいしいのあるまち	産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち
満足度平均値	0.01	0.02	0.04	-0.02	0.13	-0.13

(2) 項目別評価

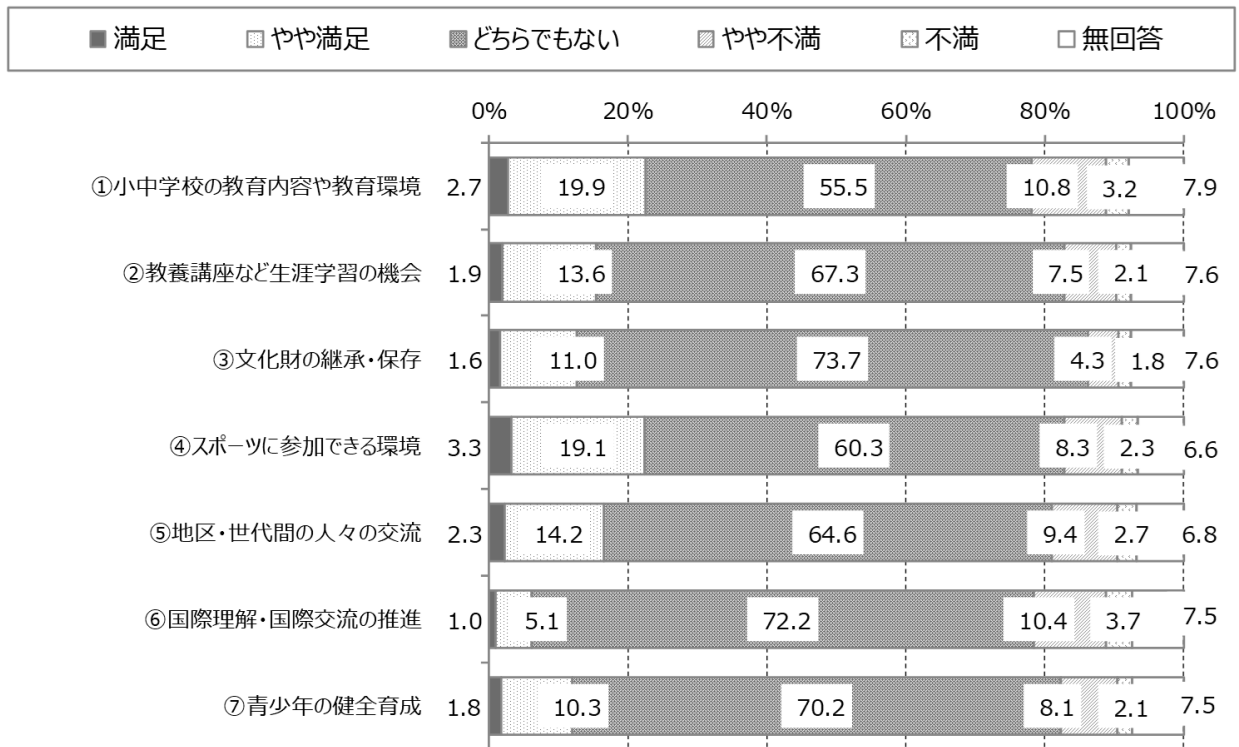
【健康で元気に暮らせるまち】

N=2085



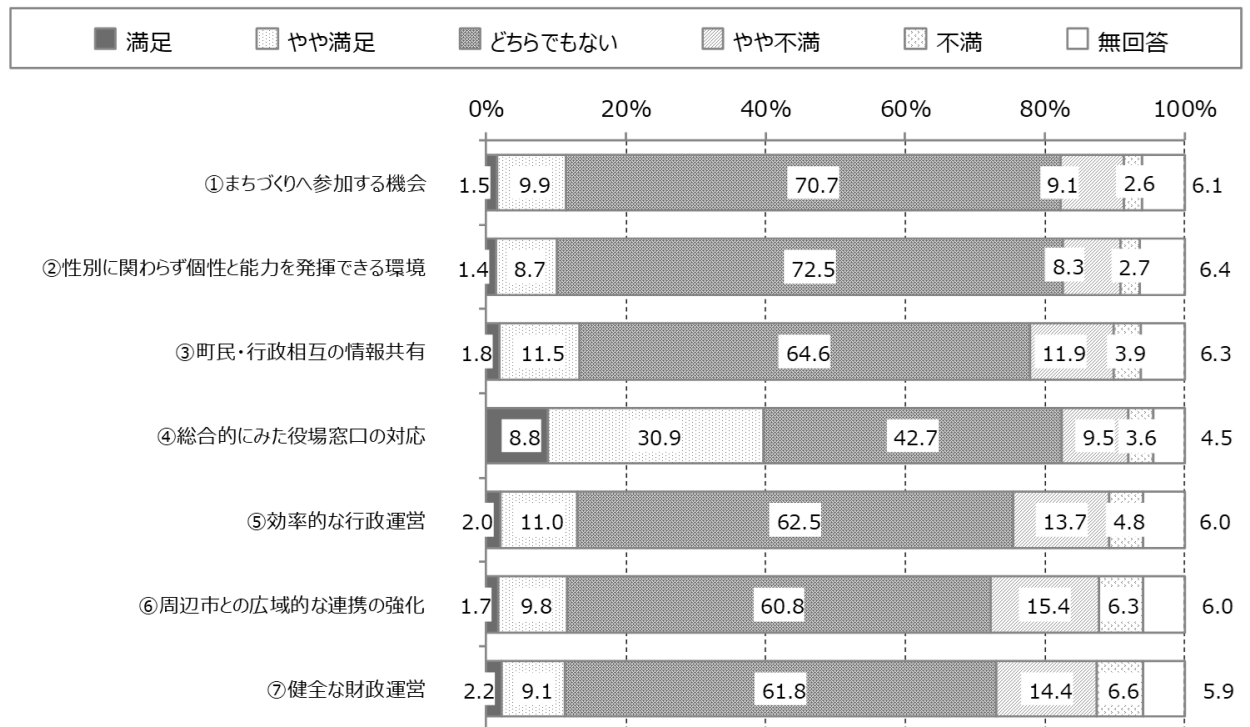
【次世代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち】

N=2085



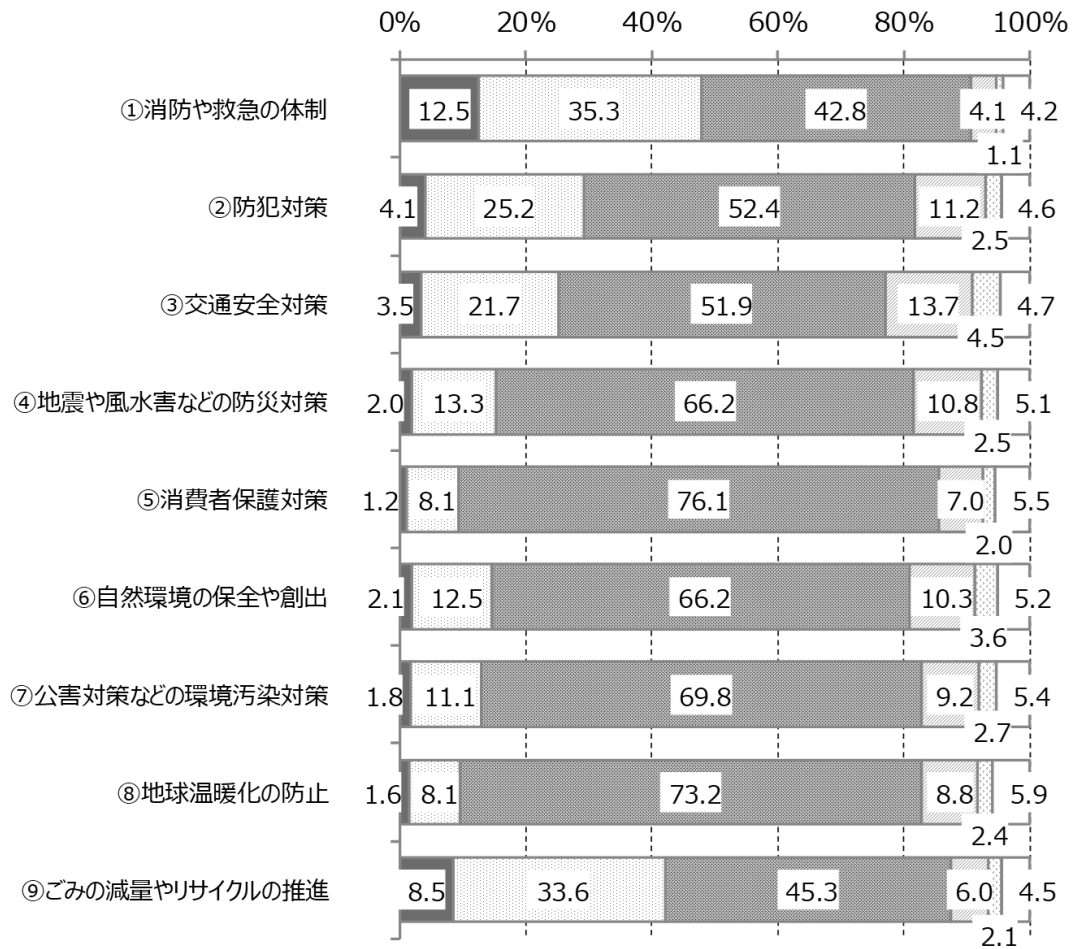
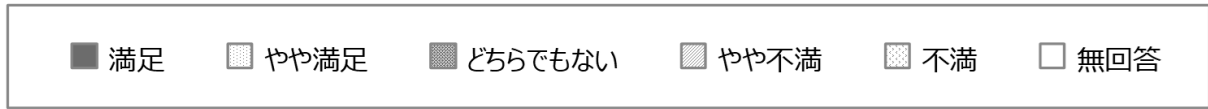
【参画と協働で自立するまち】

N=2085



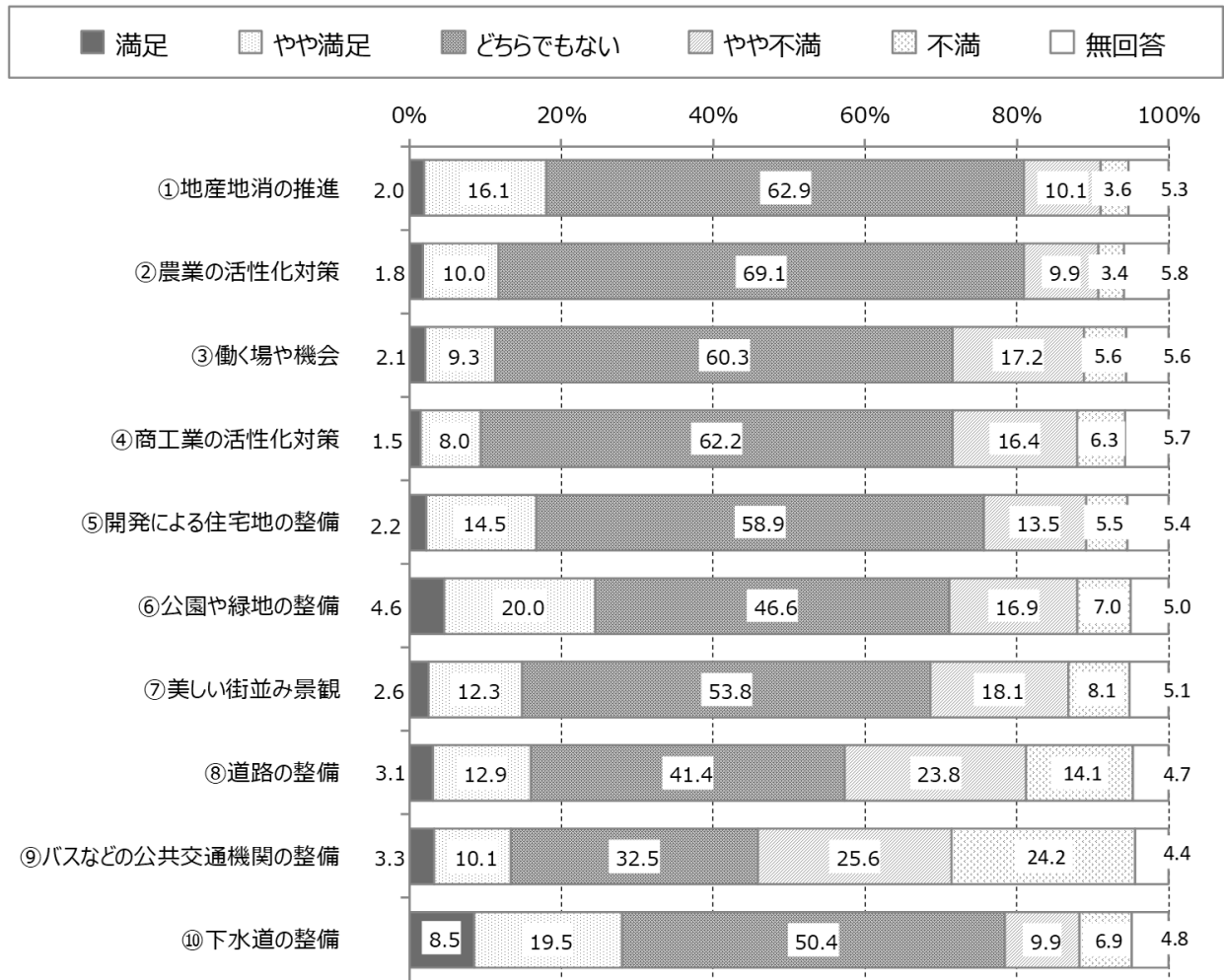
【安全で環境にやさしいうるおいのあるまち】

n=2085



【産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち】

N=2085



3-2 重要度

(1) 全体評価

東郷町の取り組みにおける具体的な重要度について、「健康で元気に暮らせるまち」、「次世代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち」、「参画と協働で自立するまち」、「安全で環境にやさしいというおいのあるまち」、「産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち」に対し、[重要]を+2点、[やや重要]を+1点、[あまり重要でない]を-1点、[重要でない]を-2点、[どちらでもない]を0点として項目ごとに評価点を算出した。

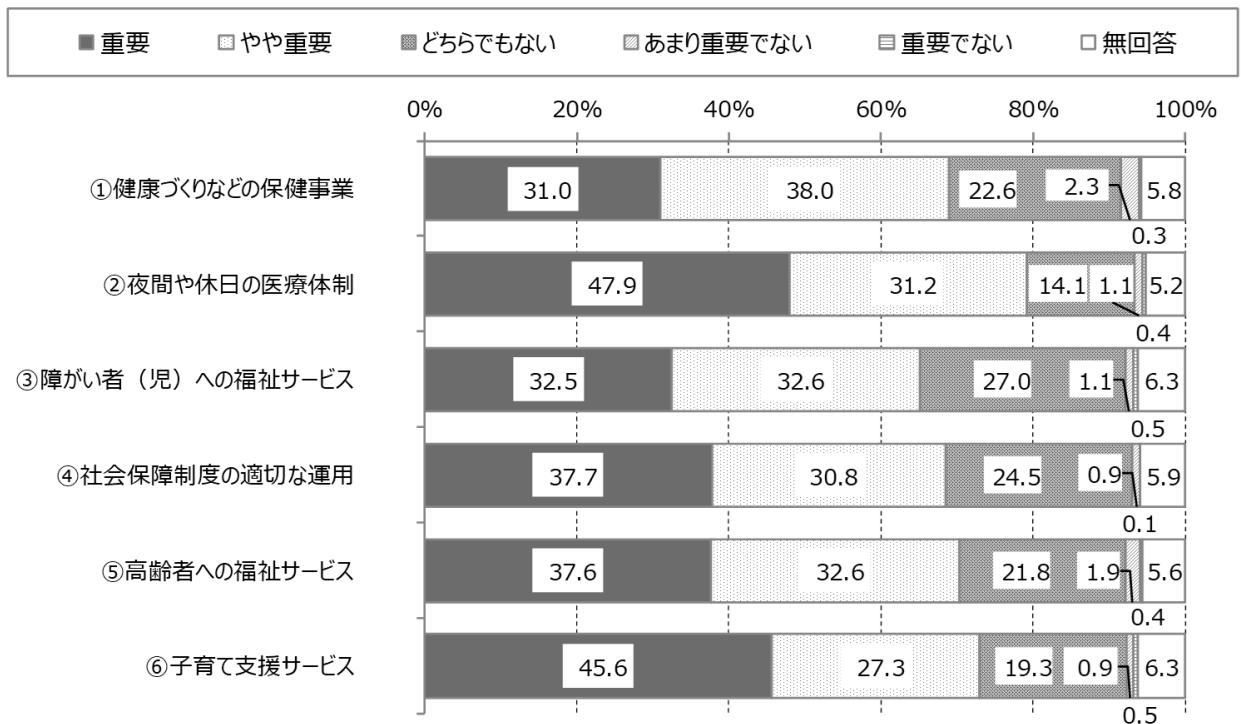
その結果、東郷町全体では、東郷町の取り組みにおける具体的な重要度の平均値は0.93となり、前回調査より0.04ポイント改善している。

	全体	健康で元気に暮らせるまち	次世代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち	参画と協働で自立するまち	安全で環境にやさしいというおいのあるまち	産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち
重要度平均値	0.93	1.07	0.69	0.84	1.13	0.92

(2) 項目別評価

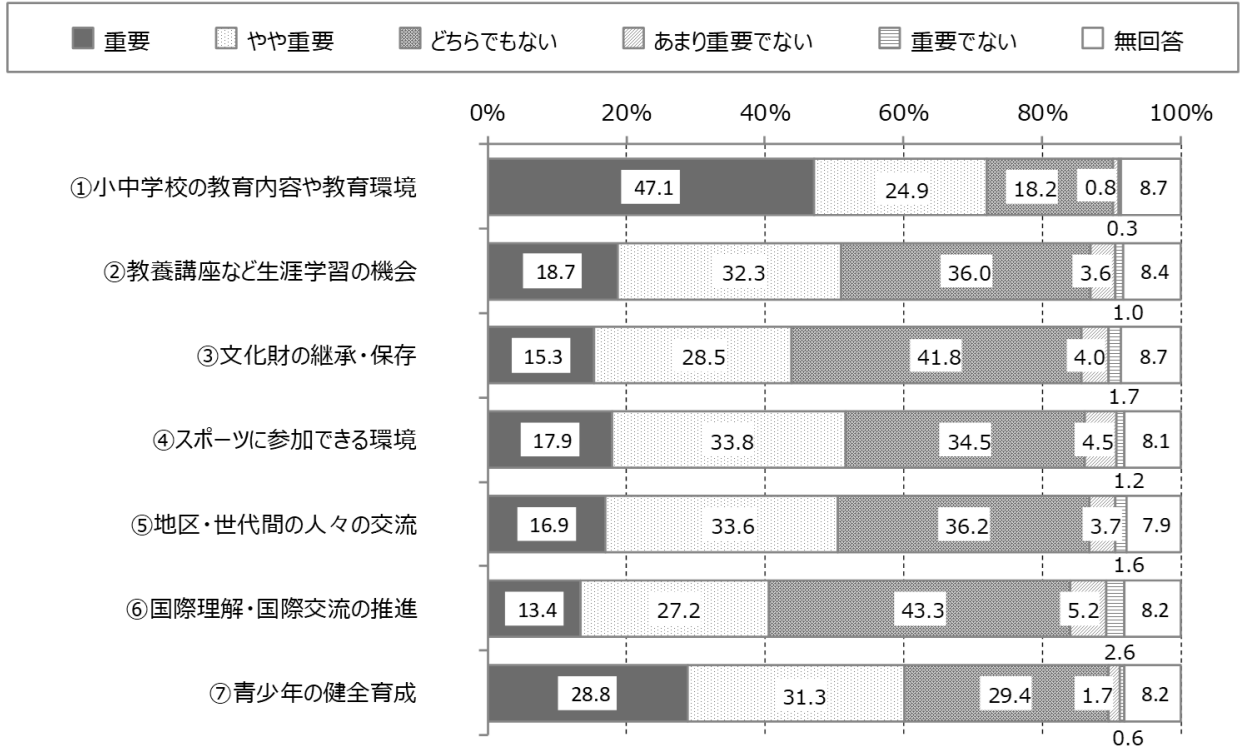
【健康で元気に暮らせるまち】

N=2085



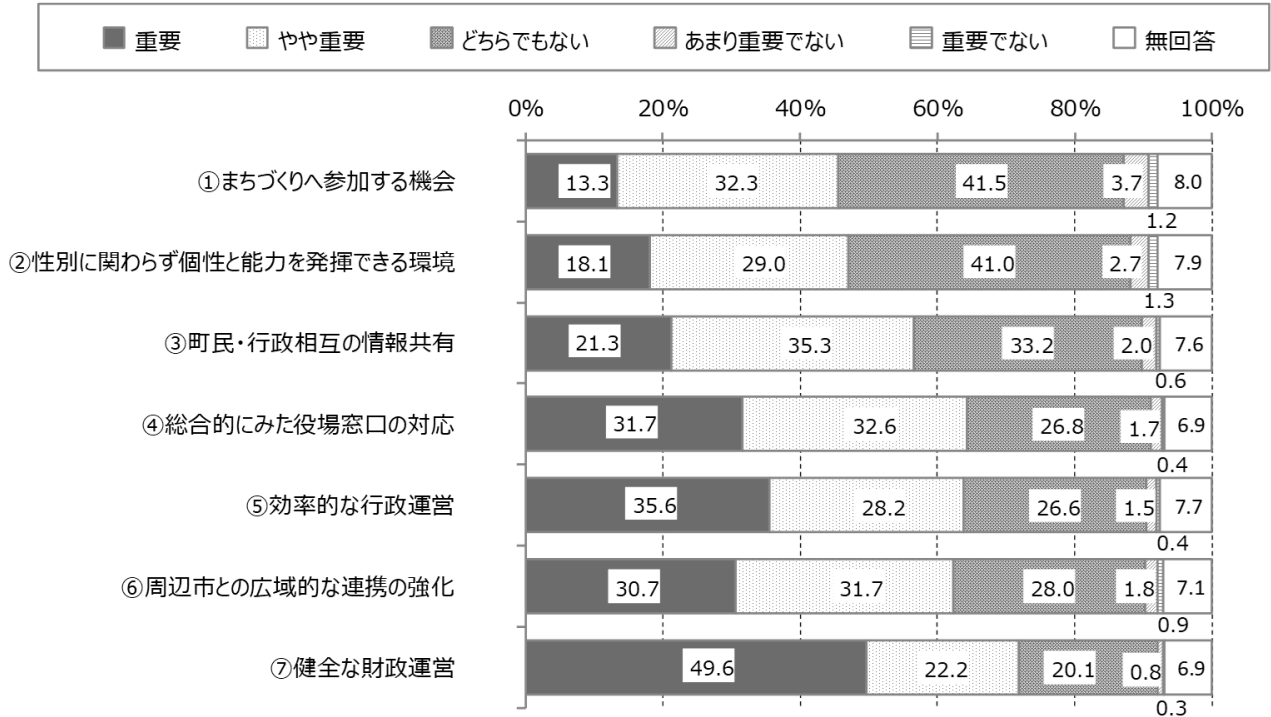
【次世代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち】

N=2085



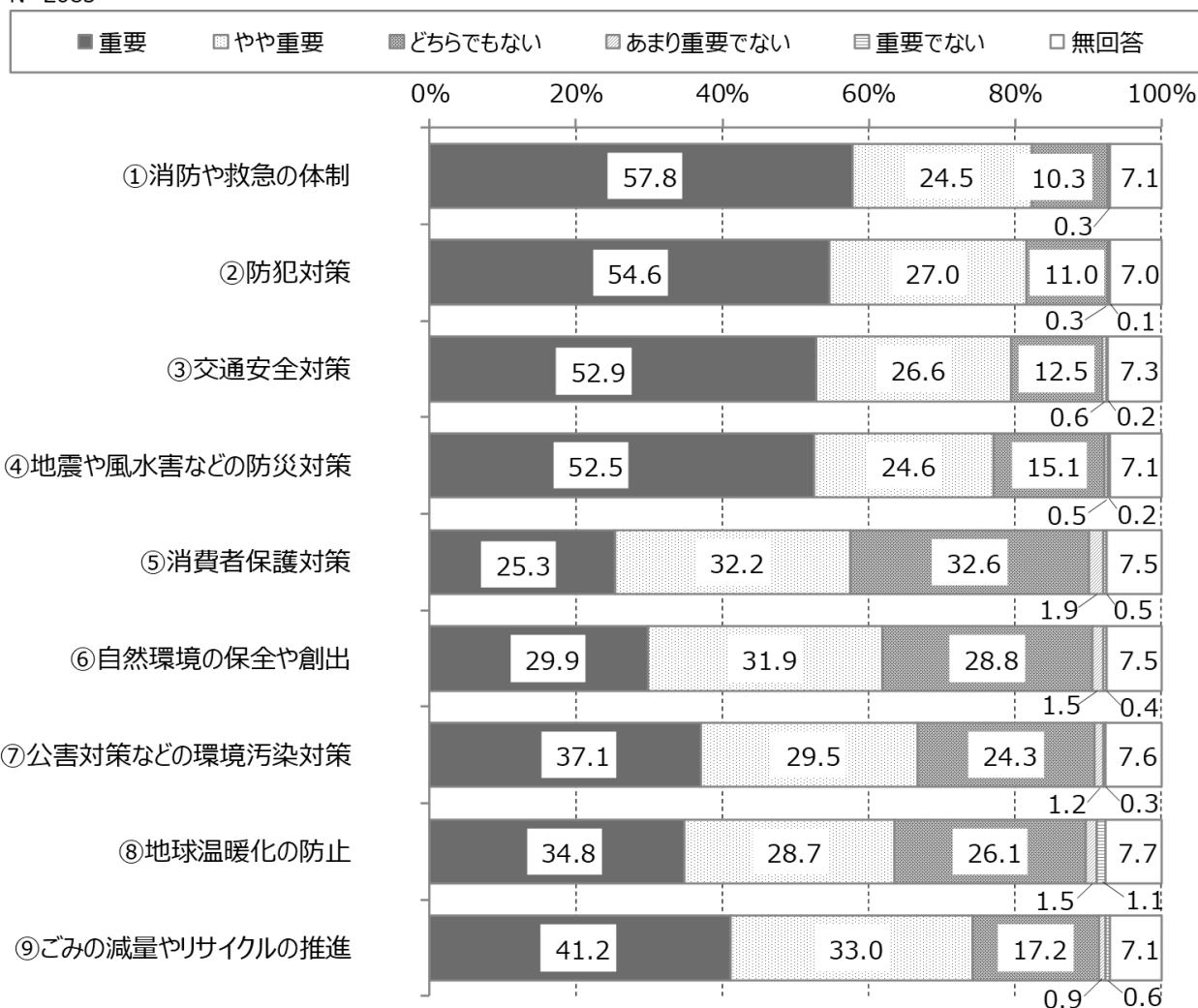
【参画と協働で自立するまち】

N=2085



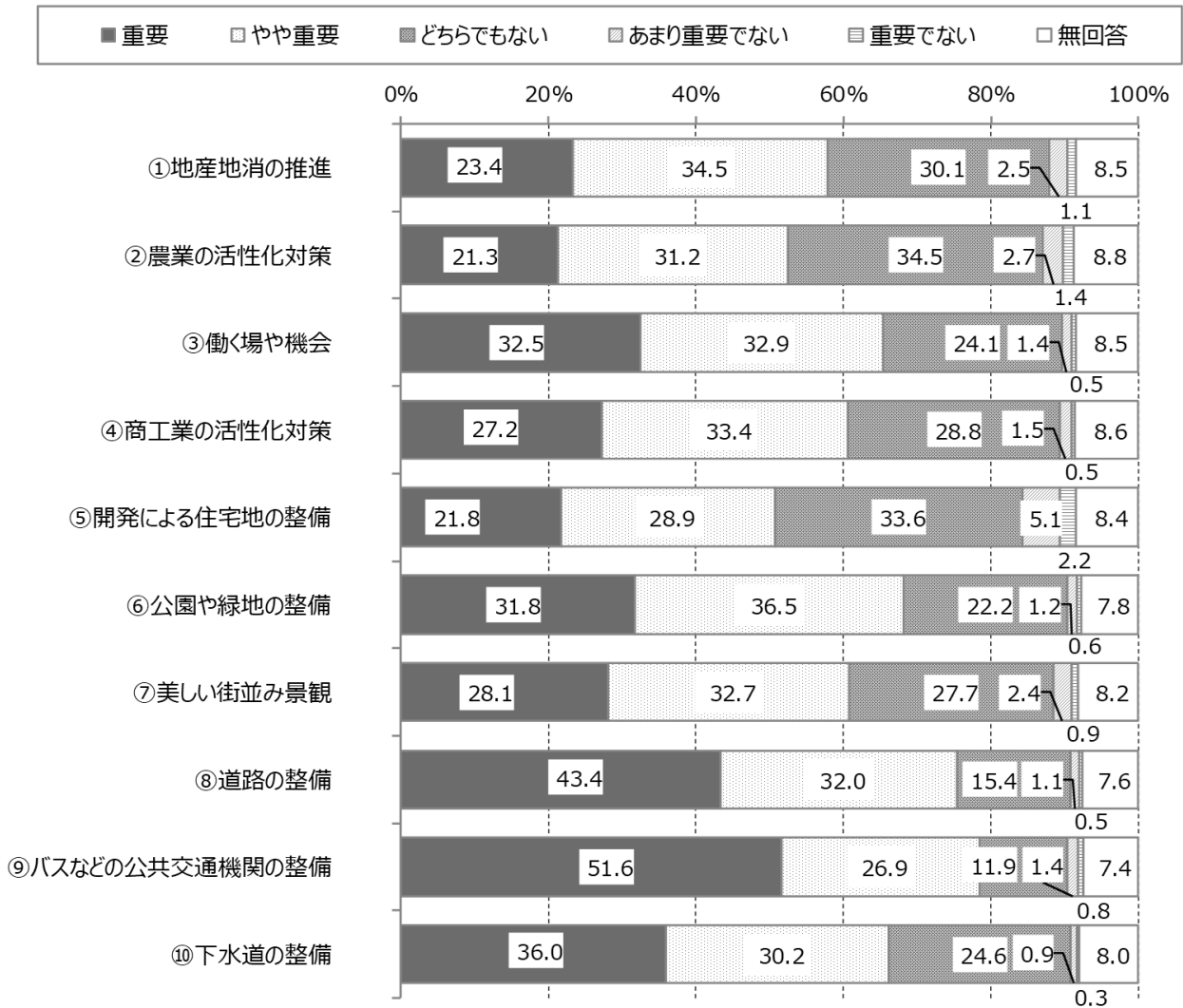
【安全で環境にやさしいうるおいのあるまち】

N=2085



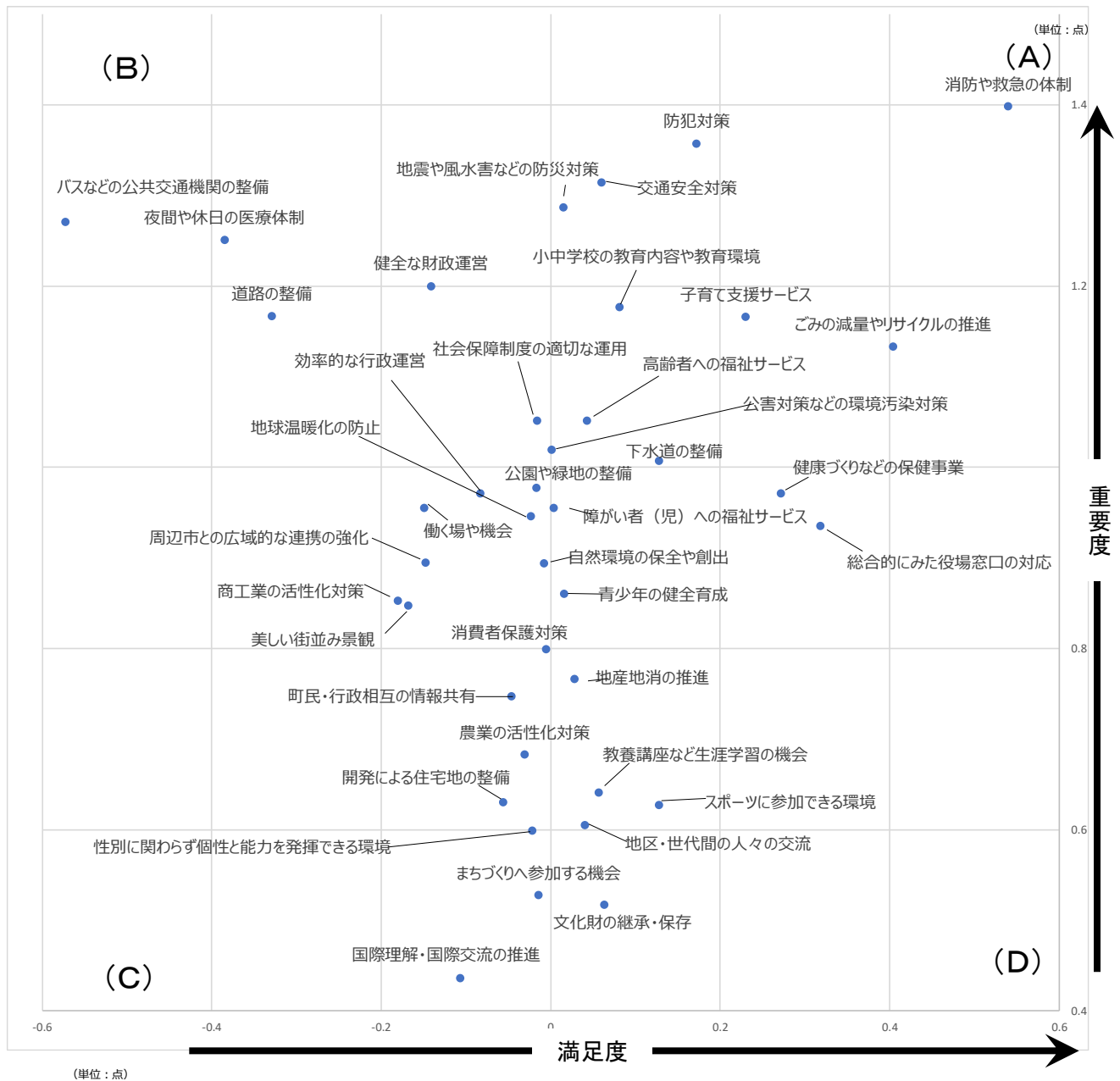
【産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち】

N=2085



3-3 満足度と重要度の相関分析

「満足度」と「重要度」について、「満足」と「重要」を2点、「やや満足」と「やや重要」を1点、「やや不満」と「あまり重要でない」を-1点、「不満」と「重要でない」を-2点、「どちらともいえない」を0点として点数化し、「これから優先的に取り組むべき施策」の結果とともに偏差値化すると次の散布図となる。



第一象限（A）：満足度が高く重要度も高い

現在の満足度が高く、重要度も高いため、現状の水準を維持しつつもさらなる充実が期待されている施策群

満足度が高く重要度も高い象限には、「消防や救急の体制」、「ごみの減量やリサイクルの推進」、「子育て支援サービス」などがあげられる。これらは既に一定の満足度がある一方で、今後もさらなる充実を図って欲しいという期待が重要度に反映されているものと考えられる。

第二象限（B）：満足度が低く重要度が高い

現在の満足度は低いが、重要度が高いため、最も優先的に取り組むことを期待されている施策群

満足度が低く重要度が高い象限には、「バスなどの公共交通機関の整備」、「夜間や休日の医療体制」、「健全な財政運営」、「道路の整備」などが位置している。特に「バスなどの公共交通機関の整備」は満足度が最も低く重要度も上位であることから、相対的に優先度の高い取り組み課題といえる。

第三象限（C）：満足度が低く重要度も低い

現在の満足度が低く、重要度も低い施策群

満足度が低く重要度も低い象限には、「国際理解・国際交流の推進」などが位置するが、満足度と重要度がともに極めて低い施策はない。

第四象限（D）：満足度が高く重要度が低い

現在の満足度は高いが、重要度が低いため、ある程度の満足が得られている施策群

満足度が高く重要度が低い象限には、「スポーツに参加できる環境」などが位置している。

4. これからのまちづくりについて

4-1 町政（まちづくり）への関心について

問15 東郷町の町政（まちづくり）について、どの程度の関心がありますか？

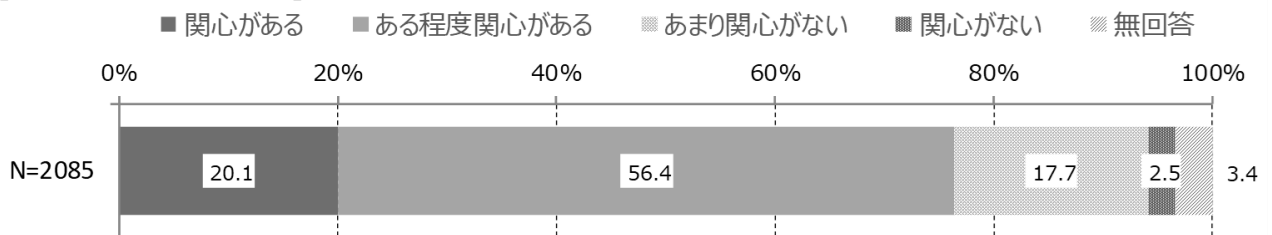
■“関心がある”は76.5%、“関心がない”は20.2%

町政への関心度は、「関心がある」（20.1%）と「ある程度関心がある」（56.4%）をあわせた“関心がある”が76.5%、「関心がない」（2.5%）と「あまり関心がない」（17.7%）をあわせた“関心がない”が20.2%となっている。

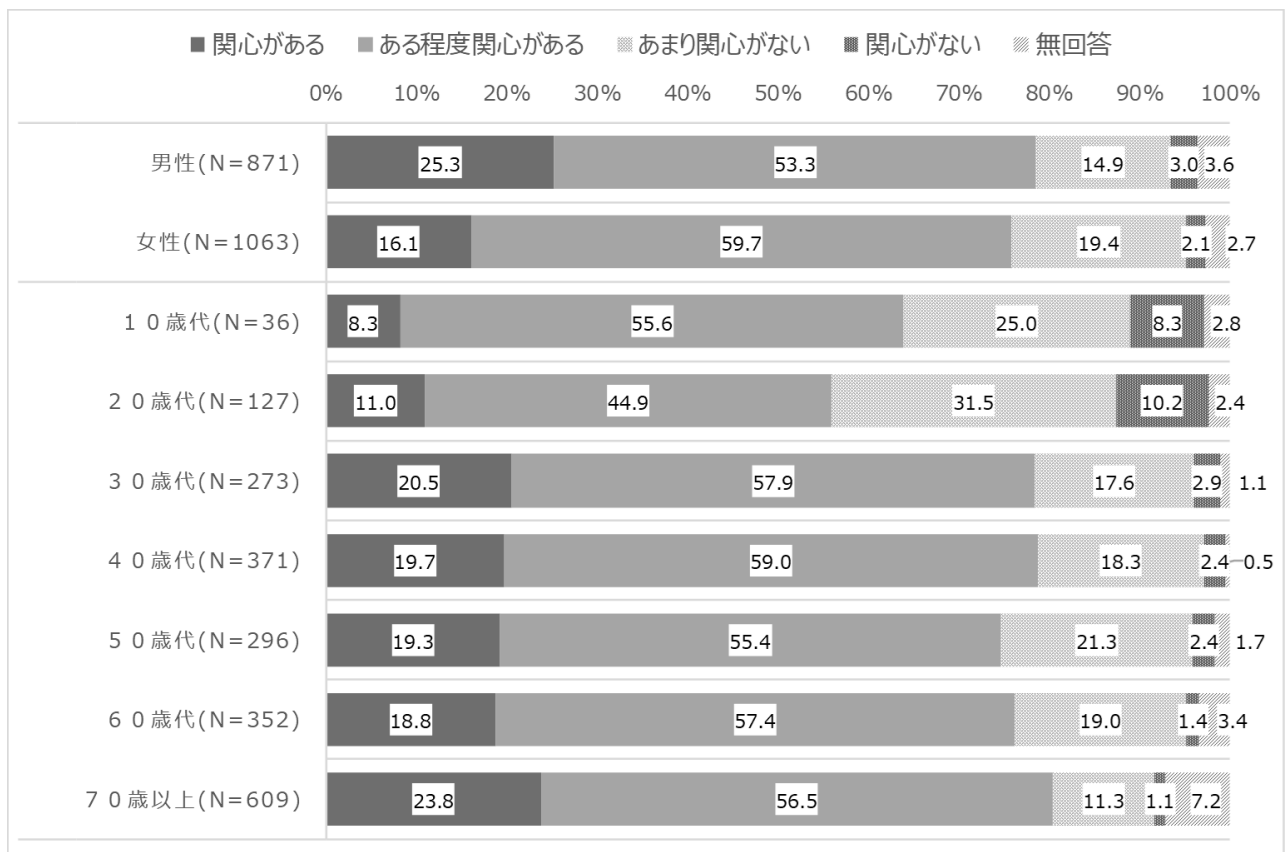
性別でみると、「関心がある」で男性（25.3%）が女性（16.1%）よりも9.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、30歳代以上から「関心がある」の割合が高くなり、70歳以上（23.8%）が10歳代（8.3%）よりも15.5ポイント高くなっている。

【町政への関心（全体）】



【町政への関心（性別／年代別）】



問 1 6 町政（まちづくり）のどのような情報に関心がありますか？

（今関心がない方は、どのような情報であれば関心をもてると思いますか？）

今のお気持ちに近いものを次の中から3つ以内で選んでください。

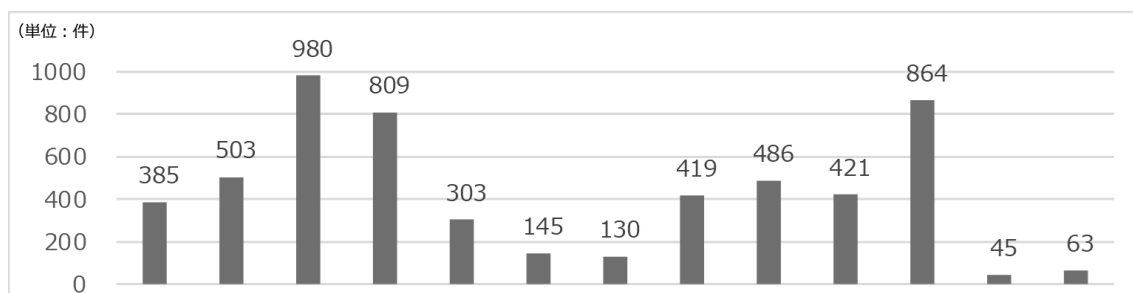
■“関心がある”情報は「医療体制」、「公共交通機関の情報」について

関心がある町政情報は、「医療体制について」が47.3%で最も高く、「公共交通機関の情報について」（41.4%）、「福祉・介護サービスについて」（38.4%）の順となっている。

性別で見ると、上位3位とも性別にかかわらず、「医療体制について」（男性46.0%、女性48.2%）、「公共交通機関の情報について」（男性38.6%、女性43.6%）、「福祉・介護サービスについて」（男性35.9%、女性40.7%）の順となっている。

年齢別で見ると、「公共交通機関の情報について」は、各年代で高くなっている。また、30歳代で「子育て支援サービスについて」（71.1%）が最も高くなっているほか、60歳代～70歳代では「福祉・介護サービスについて」で5割を超えている。

【関心がある町政情報（全体／性別／年代別）】



	健康づくりの支援	子育て支援サービス	医療体制について	福祉・介護サービス	教育・生涯学習環境	スポーツ関連情報	域活動・イベント	行政運営・財政状況	防災・防犯情報	町内の産業・ビジネス	公共交通機関の情報	その他	無回答
全体 (N=2085)	18.3	24.9	47.3	38.4	14.9	7.1	6.4	19.9	23.7	20.2	41.4	2.1	2.7
男性(N=871)	17.0	23.0	46.0	35.9	13.3	10.1	6.2	24.5	23.5	21.9	38.6	2.8	3.2
女性(N=1063)	19.7	26.7	48.2	40.7	16.1	4.7	6.5	16.2	23.6	19.0	43.6	1.5	2.3
10歳代(N=36)	11.1	13.9	22.2	16.7	25.0	27.8	11.1	13.9	8.3	22.2	47.2	2.8	0.0
20歳代(N=127)	11.8	43.3	46.5	14.2	10.2	15.0	2.4	14.2	18.1	26.8	46.5	2.4	0.8
30歳代(N=273)	11.7	71.1	45.4	12.8	25.3	12.8	2.6	12.1	24.2	20.9	31.1	1.8	0.4
40歳代(N=371)	12.1	33.7	46.6	26.7	18.9	7.0	4.3	21.0	24.3	25.9	43.4	2.4	1.1
50歳代(N=296)	14.9	14.2	45.6	34.5	13.2	7.4	6.1	19.9	26.0	28.0	51.0	1.7	1.4
60歳代(N=352)	22.4	9.9	46.3	52.8	13.1	3.7	9.9	23.9	28.4	18.8	37.5	1.7	3.4
70歳以上(N=609)	26.1	7.4	51.2	58.5	9.4	3.1	7.4	22.7	20.2	12.5	40.4	2.6	6.4

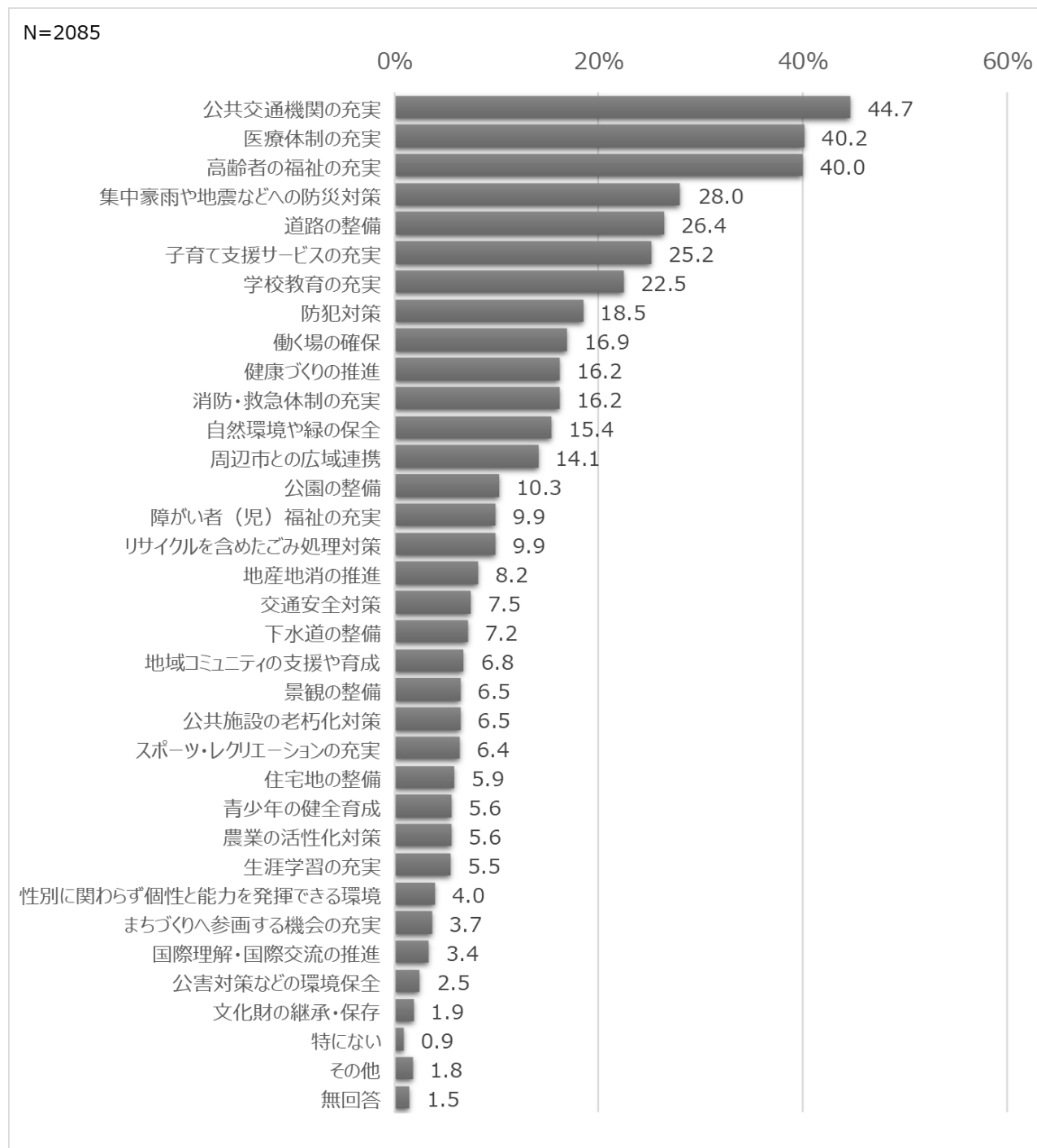
(単位：%)

4 - 2 これからのまちづくりについて

問 1 7 これからの東郷町はどのような分野に力を入れていくと良いと思いますか？
今のお気持ちに近いものを次の中から5つ以内で選んでください。

■「公共交通機関の充実」が 44.7%、「医療体制の充実」が 40.2%など

これからのまちづくりについては、「公共交通機関の充実」が 44.7%で最も高く、「医療体制の充実」(40.2%)、「高齢者の福祉の充実」(40.0%)の順となっている。



4-3 東郷町自治基本条例について

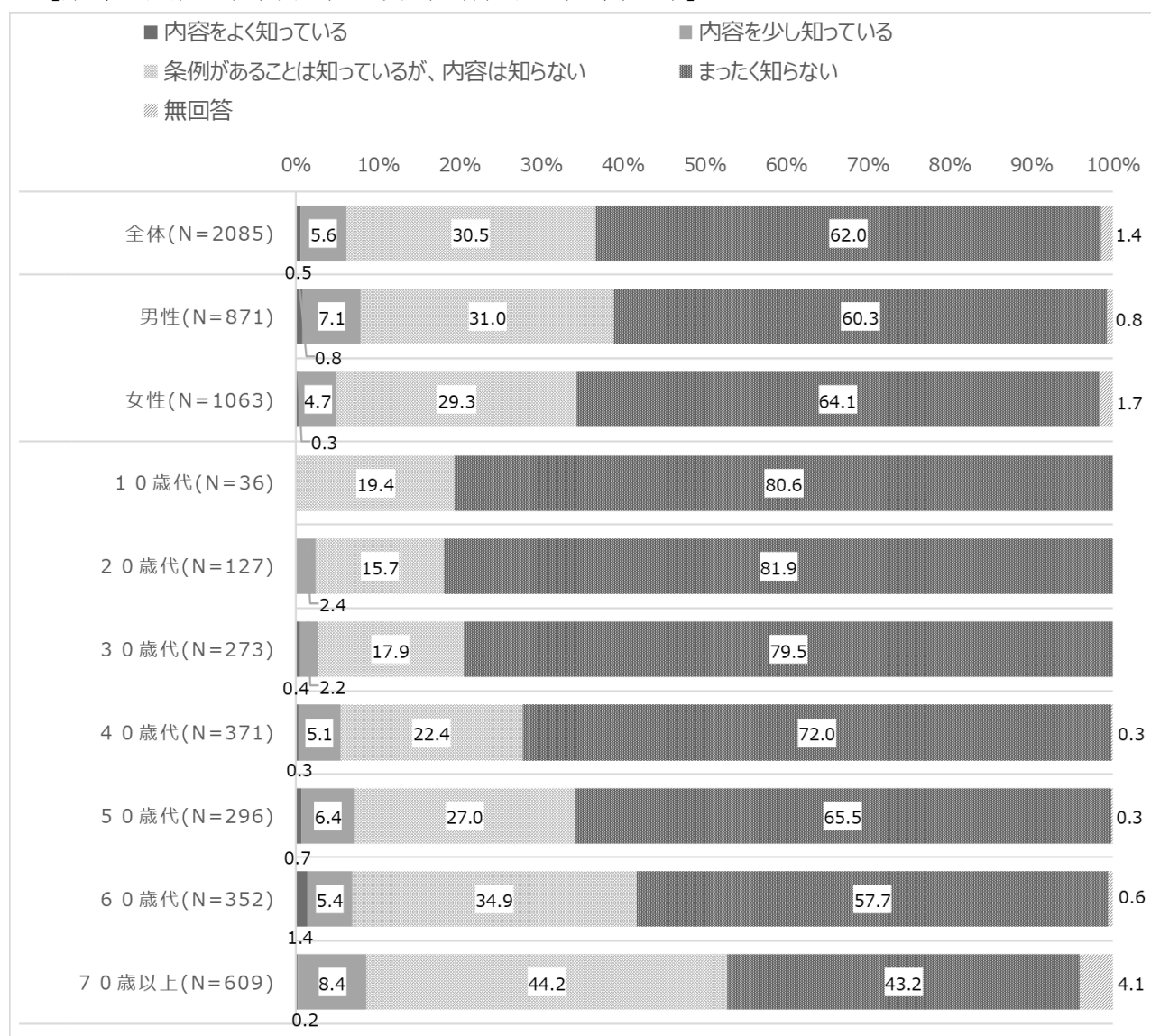
東郷町では、平成25年6月に、まちづくりにおいて最も重視すべき条例として、「町民が主役のまちづくり」を進めるための大切なルールである東郷町自治基本条例を制定しました。そこで、おうかがいします。

問18 あなたは東郷町自治基本条例をご存知ですか？

■「まったく知らない」が62.0%、「条例があることは知っているが、内容は知らない」が30.5%

東郷町自治基本条例については、「まったく知らない」の割合が62.0%で最も高く、「条例があることは知っているが、内容は知らない」(30.5%)、「内容を少し知っている」(5.6%)の順となっている。性別では大きな差がないが、年代別で見ると「60歳代」と「70歳代」での認知度が高く、年代が高くなるにつれて認知度が高くなる傾向がある。

【東郷町自治基本条例の認知度（全体／性別／年代別）】



※問18で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。

問18-1 東郷町自治基本条例をどのような機会で見ましたか？（複数回答可）

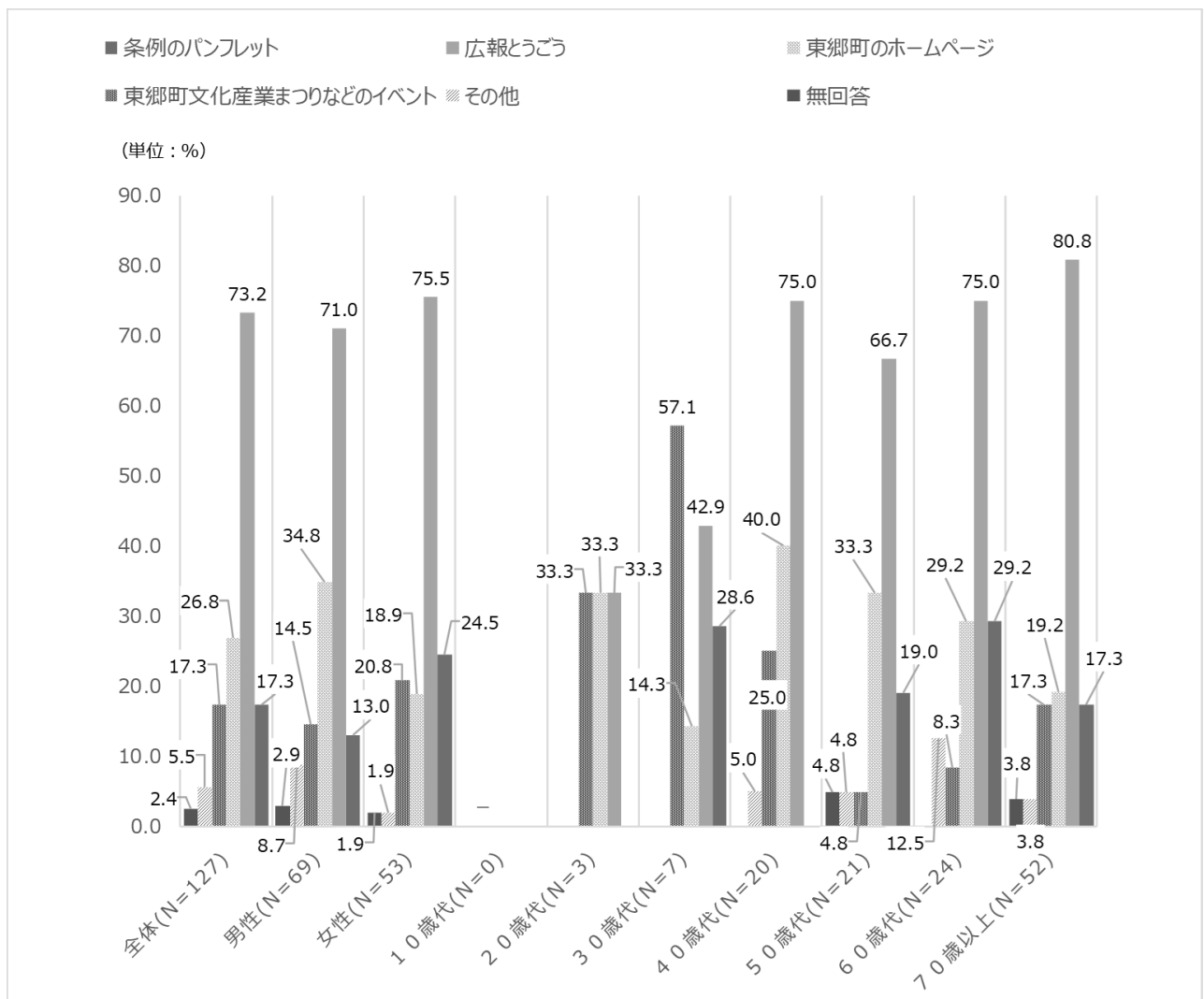
■「広報とうごう」が73.2%、「東郷町のホームページ」が26.8%など

東郷町自治基本条例を知った機会については、「広報とうごう」の割合が73.2%と最も高く、「東郷町のホームページ」(26.8%)、「条例のパンフレット」(17.3%)、「東郷町文化産業まつりなどのイベント」(17.3%)と続いている。

性別で見ると、「広報とうごう」の割合が最も高い(男性71.0%、女性75.5%)ことは変わらないものの、男性では「東郷町のホームページ」(34.8%)が、女性では「条例のパンフレット」(24.5%)が続いている。

また、年代別で見ると、40歳代以上では「広報とうごう」の割合が最も高く、70歳代では80.8%となっている。

【東郷町自治基本条例の認知の機会（全体／性別／年代別）】



4-4 住民参画・協働について

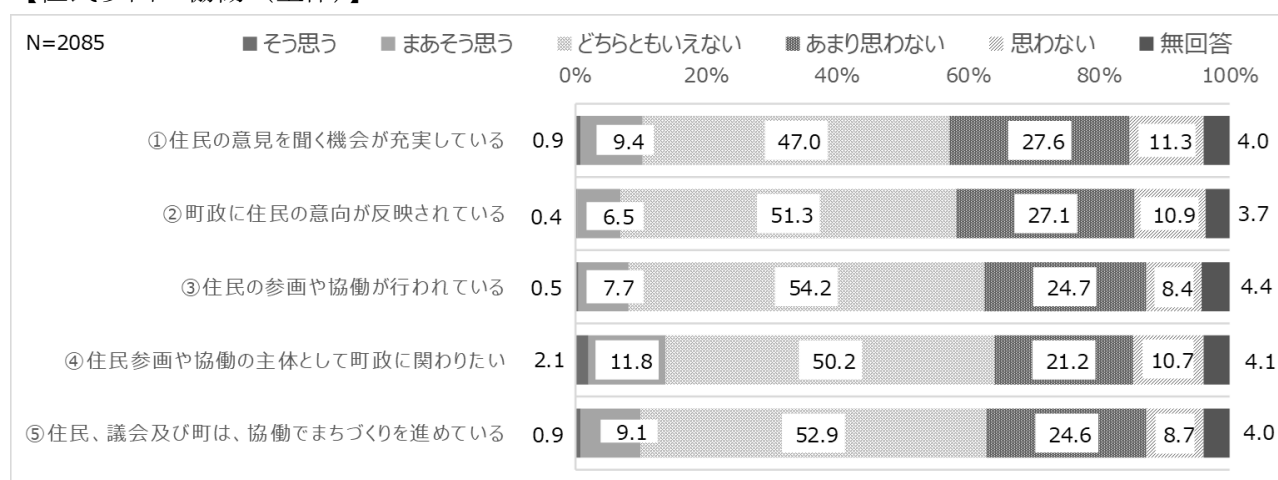
問19 町政への住民意見の反映や住民、議会及び町の協働について、どのようにお考えですか？

■(住民参画や協議の主体として) 町政に関わりたいと“思う”が13.9%

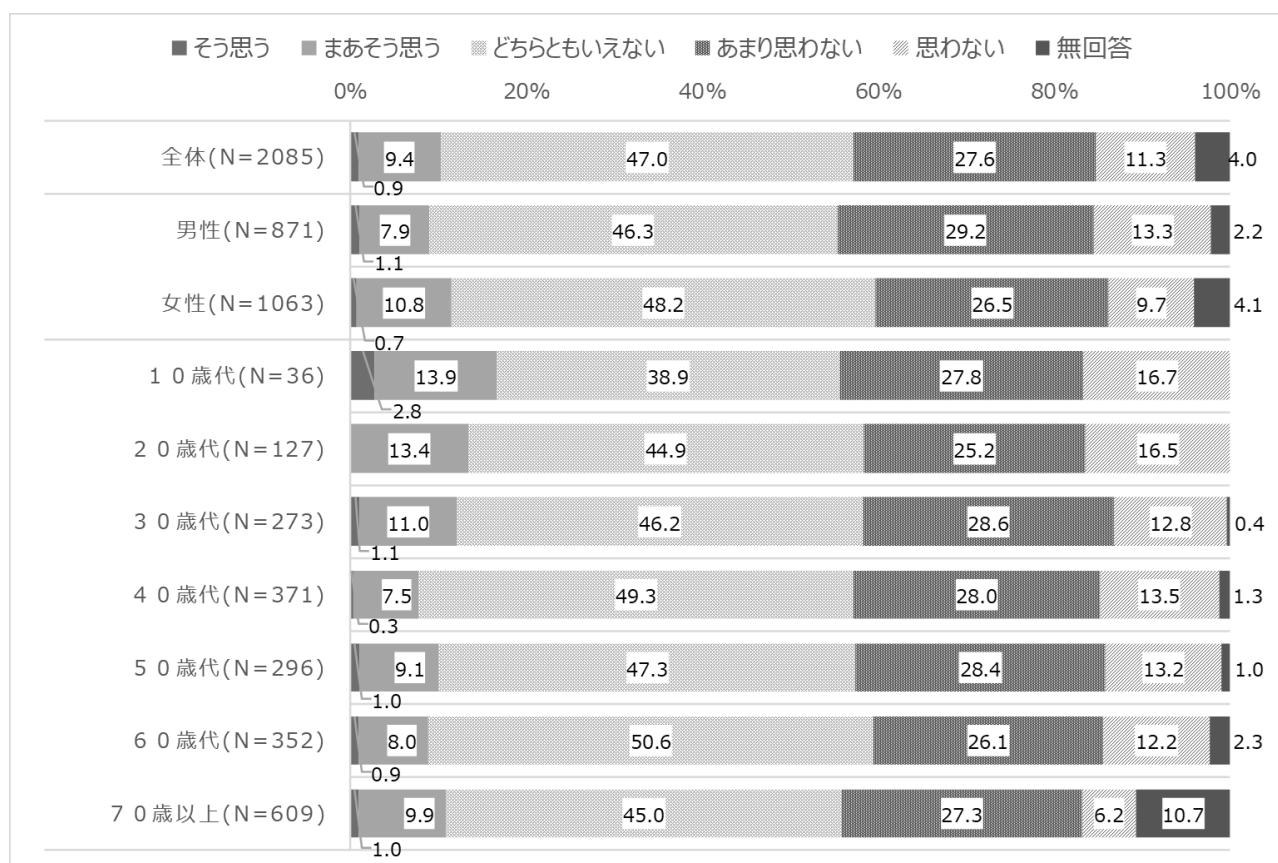
住民参画・協働について、「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた“思う”の割合をみると、「住民参画や協議の主体として町政に関わりたい」が13.9%で最も高くなっている。

一方、「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“思わない”の割合をみると、「住民の意見を聞く機会が充実している」が38.9%で最も高くなっている。

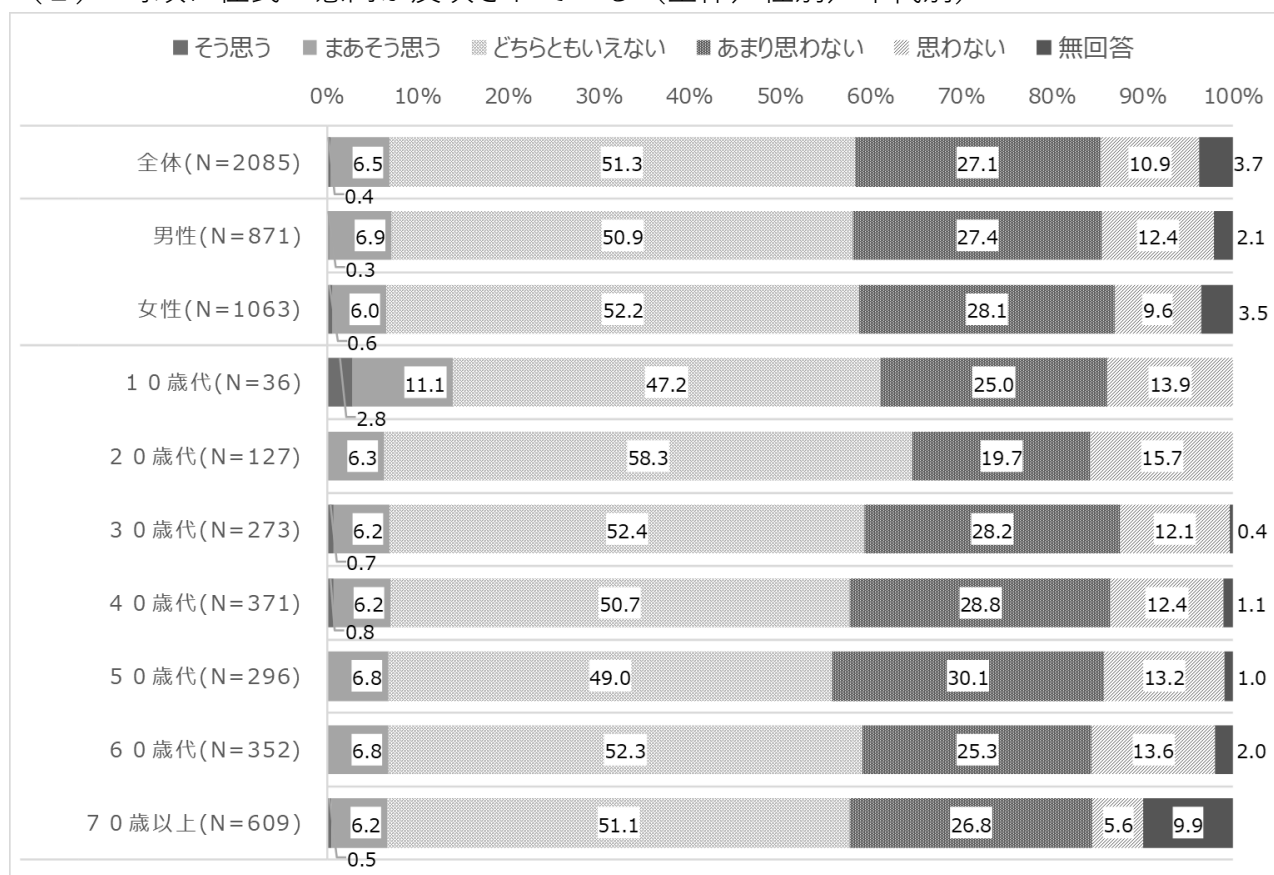
【住民参画・協働（全体）】



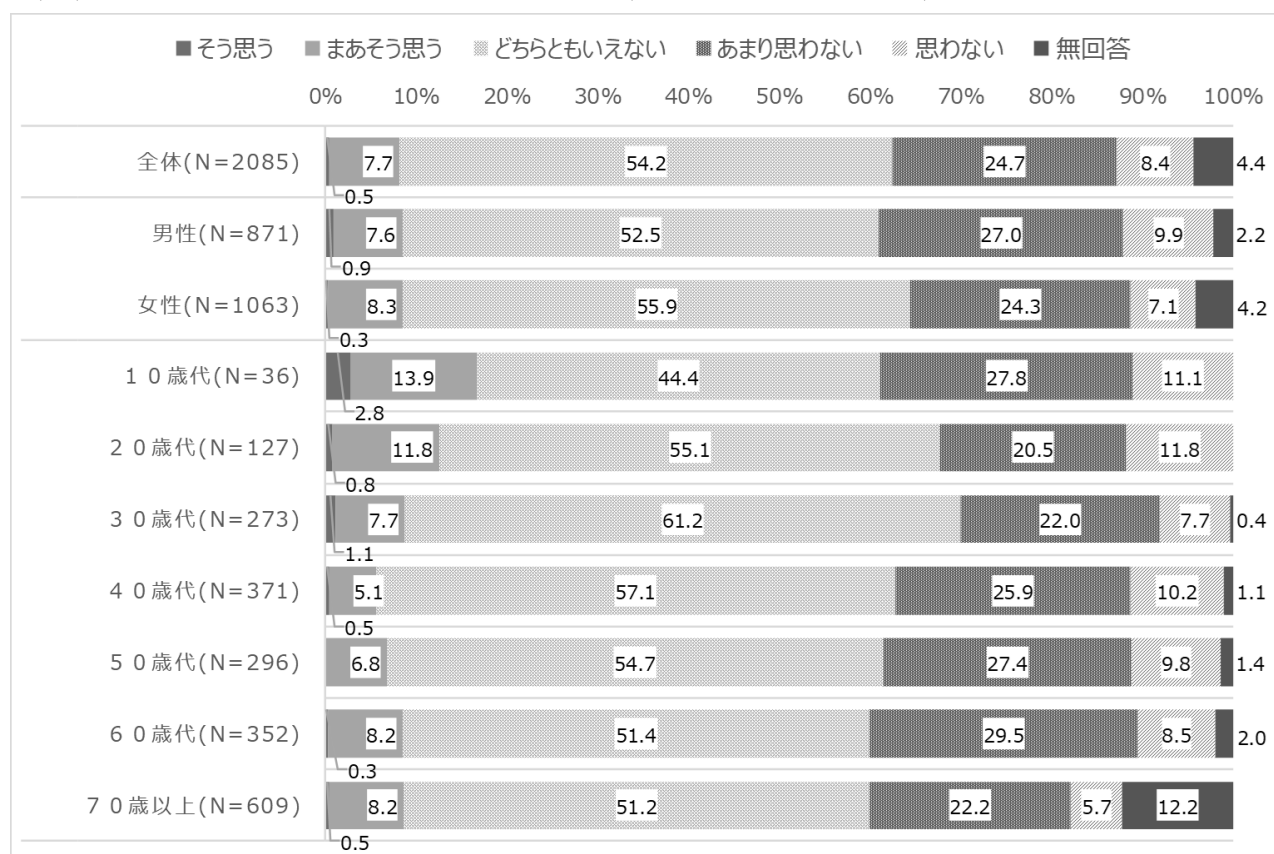
(1) 住民の意見を聞く機会が充実している（全体／性別／年代別）



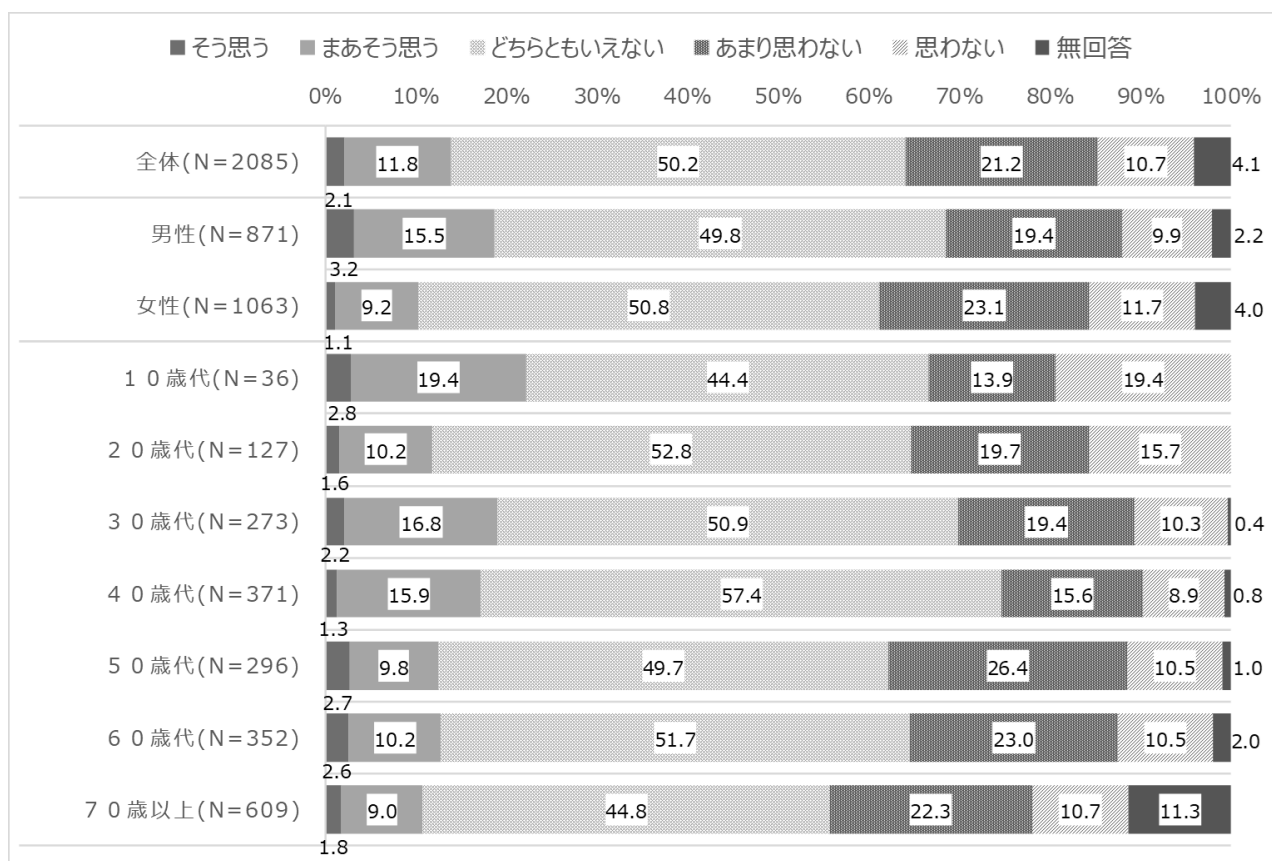
(2) 町政に住民の意向が反映されている (全体/性別/年代別)



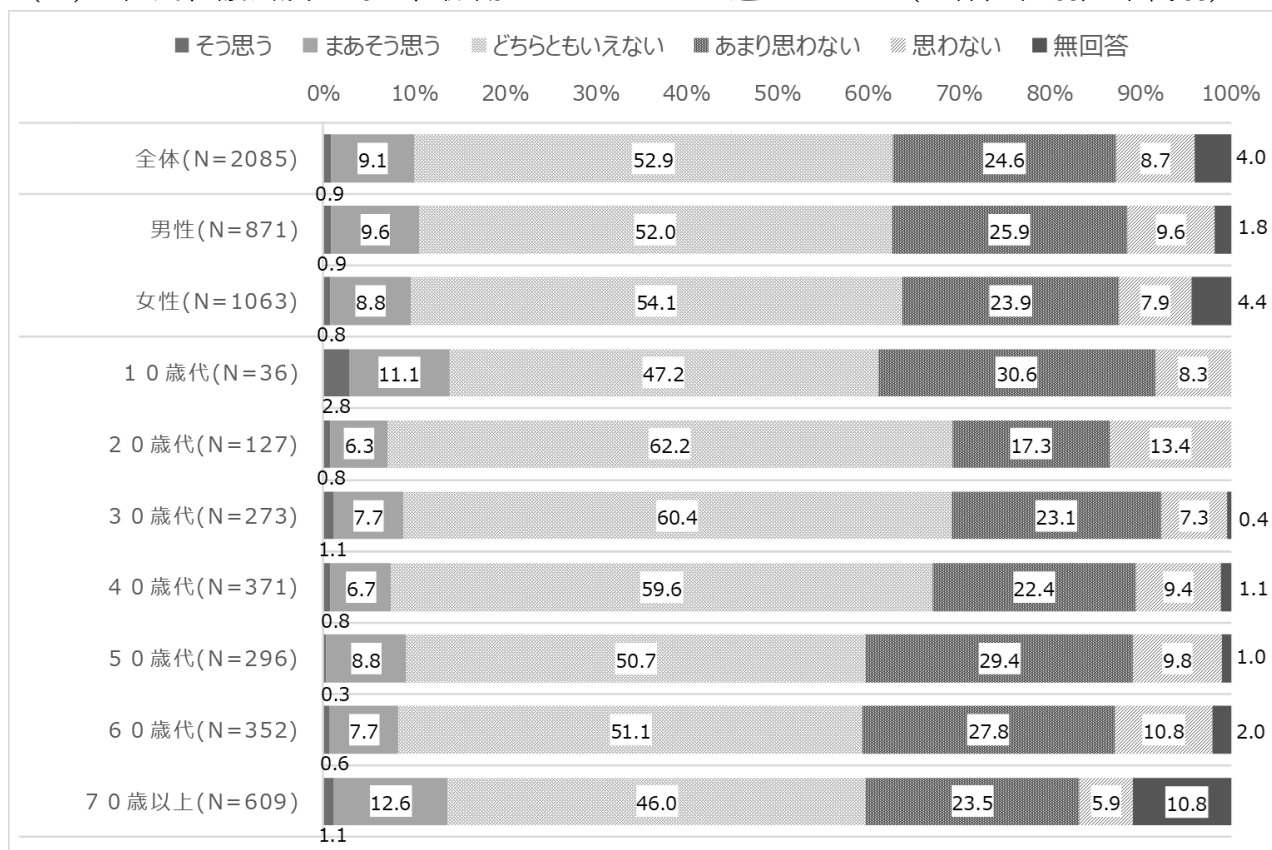
(3) 住民の参画や協働が行われている (全体/性別/年代別)



(4) 住民参画や協働の主体として町政に関わりたい (全体/性別/年代別)



(5) 住民、議会及び町は、協働でまちづくりを進めている (全体/性別/年代別)

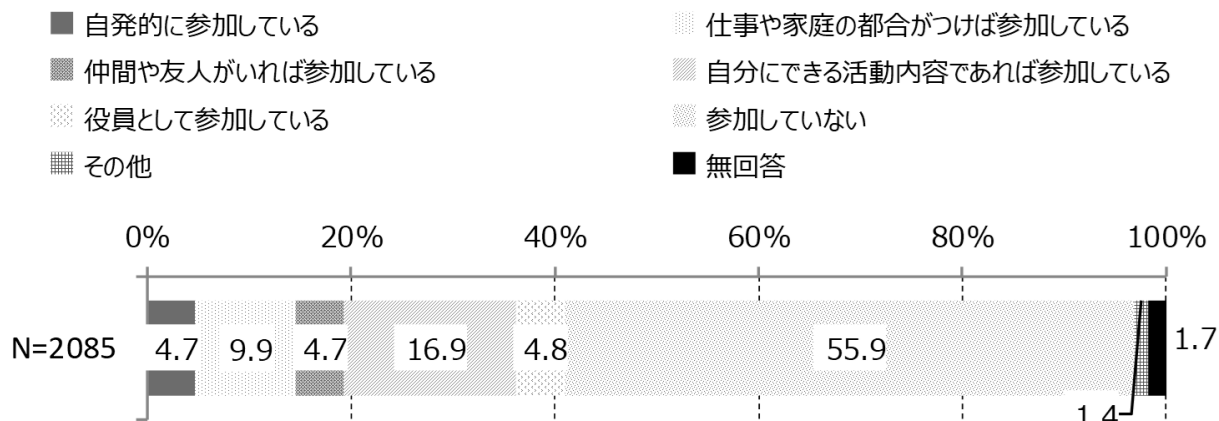


問 2 0 あなたは地域活動やボランティア活動に参加していますか？

■「参加していない」が 55.9%、「自分にできる活動内容であれば参加している」が 16.9%

「参加していない」の割合 (55.9%) が最も高く、「自分にできる活動内容であれば参加している」(16.9%)、「仕事や家庭の都合がつけば参加している」(9.9%)と続いている。

【地域活動やボランティア活動の状況(全体)】

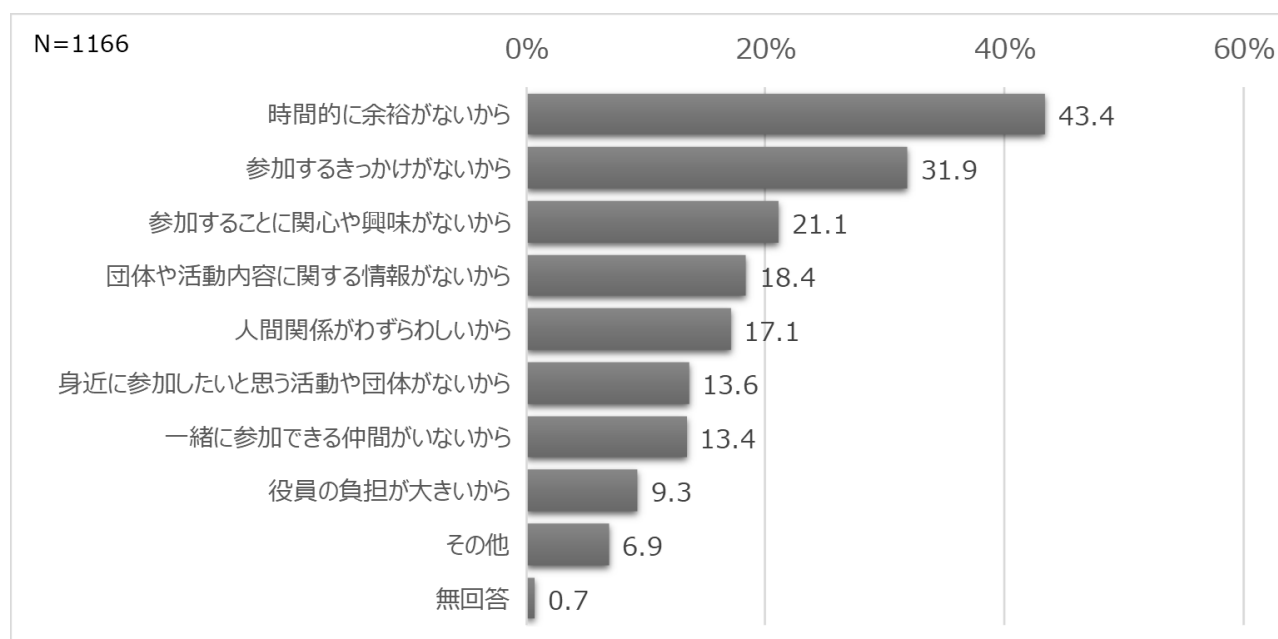


問 2 0 で「6. 参加していない」と回答した方にお聞きします。

問 2 0 - 1 参加していない (できない) 理由は何ですか？ (複数回答可)

■「時間的に余裕がないから」が 43.4%、「参加するきっかけがないから」が 31.9%など

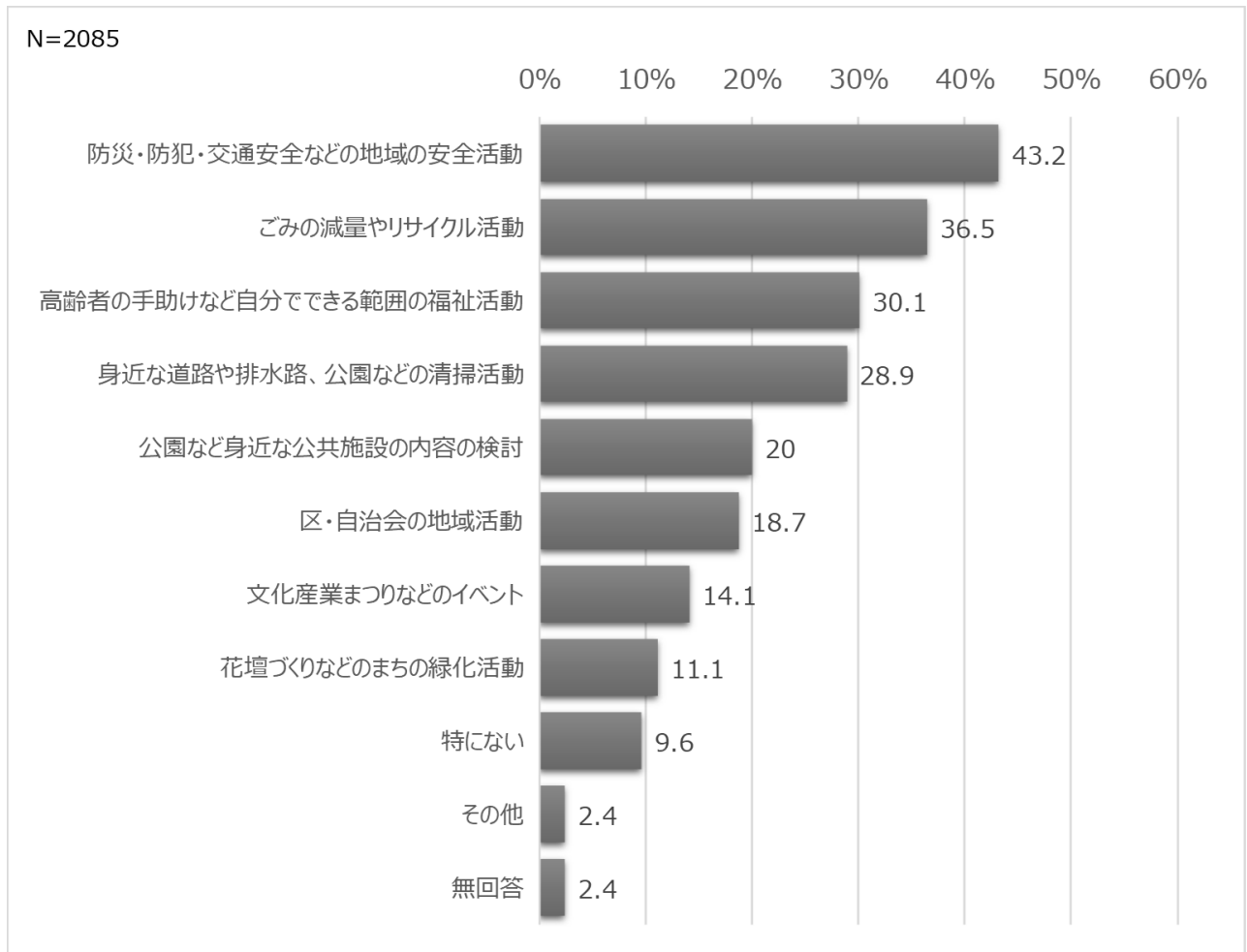
「時間的に余裕がないから」の割合 (43.4%) が最も高く、「参加するきっかけがないから」(31.9%)、「参加することに関心や興味がないから」(21.1%)と続いている。



問 2 1 今後、住民の皆さんが積極的にかかわって進めることが重要だと思う活動は何ですか？
今のお気持ちに近いものを次の中から3つ以内で選んでください。

■「防災・防犯・交通安全などの地域の安全活動」が 43.2%など

「防災・防犯・交通安全などの地域の安全活動」の割合(43.2%)が最も高く、「ごみの減量やリサイクル活動」(36.5%)、「高齢者の手助けなど自分でできる範囲の福祉活動」(30.1%)が続いている。



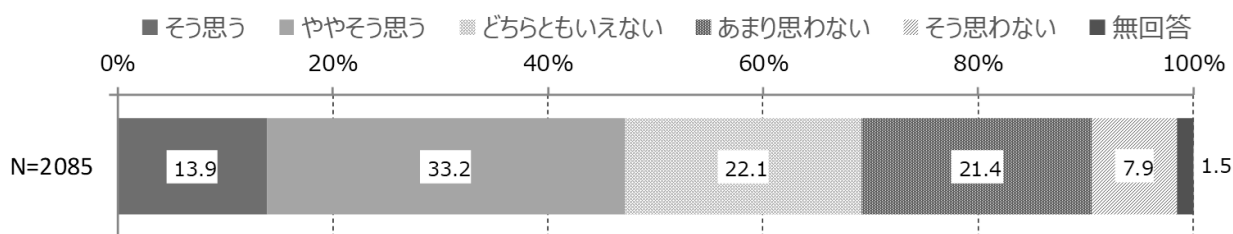
4 - 5 セントラル開発について

問 2 2 東郷町の中心部には、役場を始め町民会館、総合体育館、いこまい館などの公共施設が集まっています。このような現状について、町民の皆さんが利用しやすく、便利な魅力のある「町の中心地」がつくられていると思いますか？

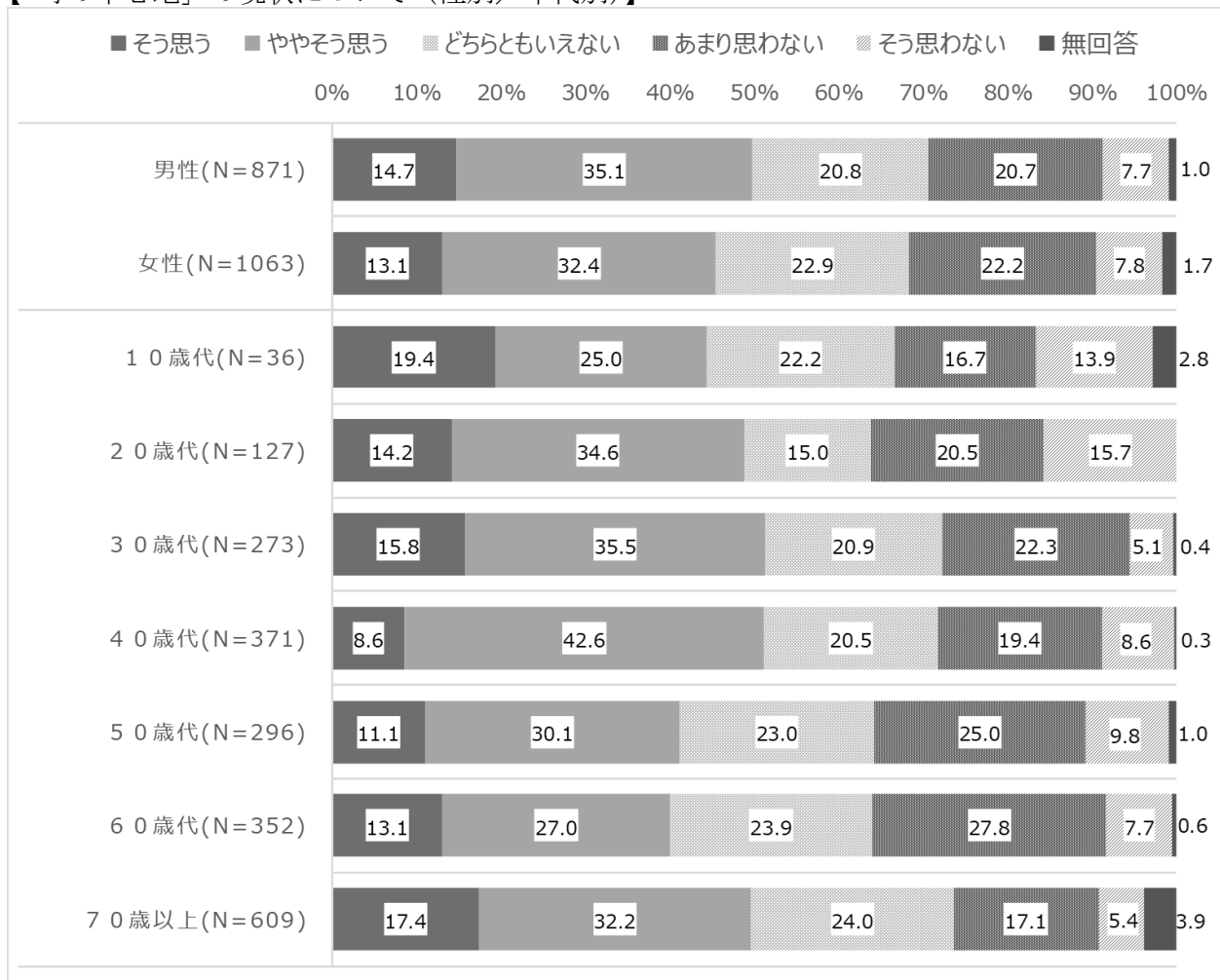
■ 魅力のある「町の中心地」がつくられていると“思う”は 47.1%、“思わない”は 29.3%

「町の中心地」がつくられているかについて、「そう思う」（13.9%）と「ややそう思う」（33.2%）をあわせた“思う”が 47.1%、「あまり思わない」（21.4%）と「そう思わない」（7.9%）をあわせた“思わない”は 29.3%となっている。

【「町の中心地」の現状について（全体）】



【「町の中心地」の現状について（性別／年代別）】

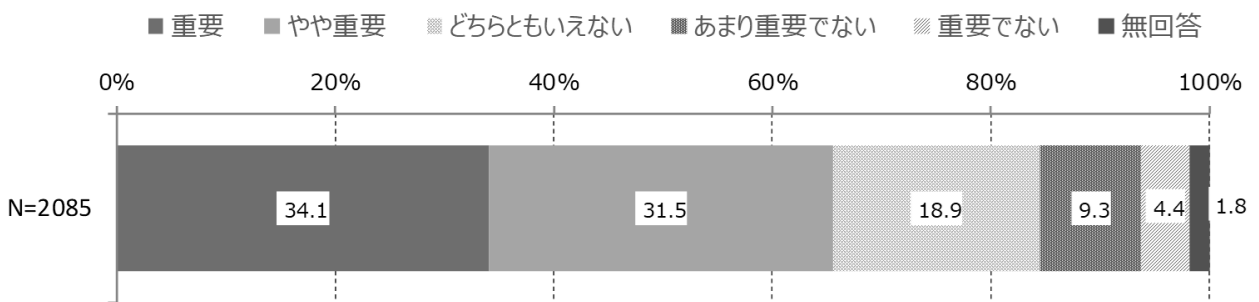


問 2 3 また、東郷町において、「町の中心地」に様々な機能を集めて、歩いて暮らせる便利なまちづくりに取り組むことがどの程度重要だと思いますか？

■「重要」と「やや重要」をあわせた“重要と思う”が 65.6%

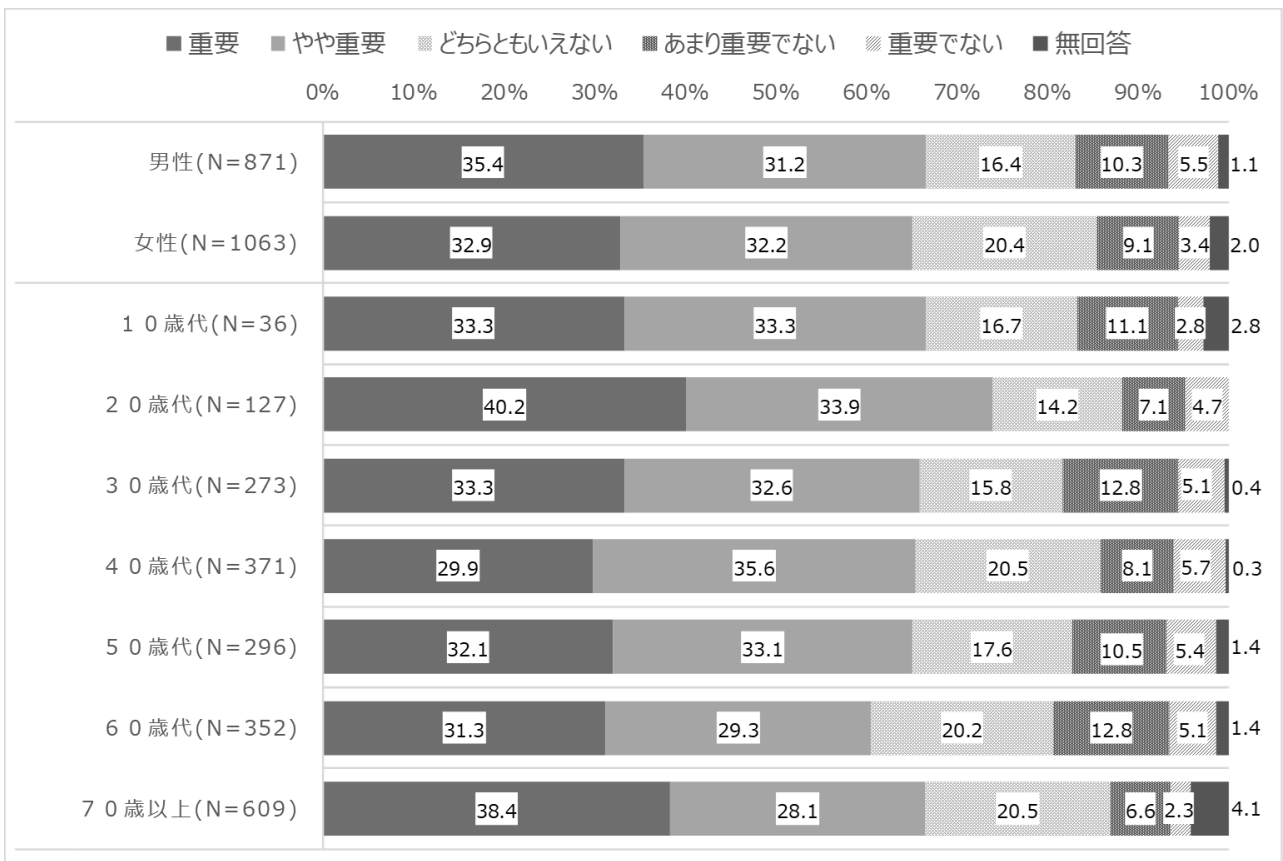
「町の中心地」に様々な機能を集めて、歩いて暮らせる便利なまちづくりに取り組むことの重要性については、「重要」(34.1%)と「やや重要」(31.5%)をあわせた“重要と思う”が 65.6%となり、半数以上の方が重要性を感じている。

【歩いて暮らせる便利なまちづくりの重要性（全体）】



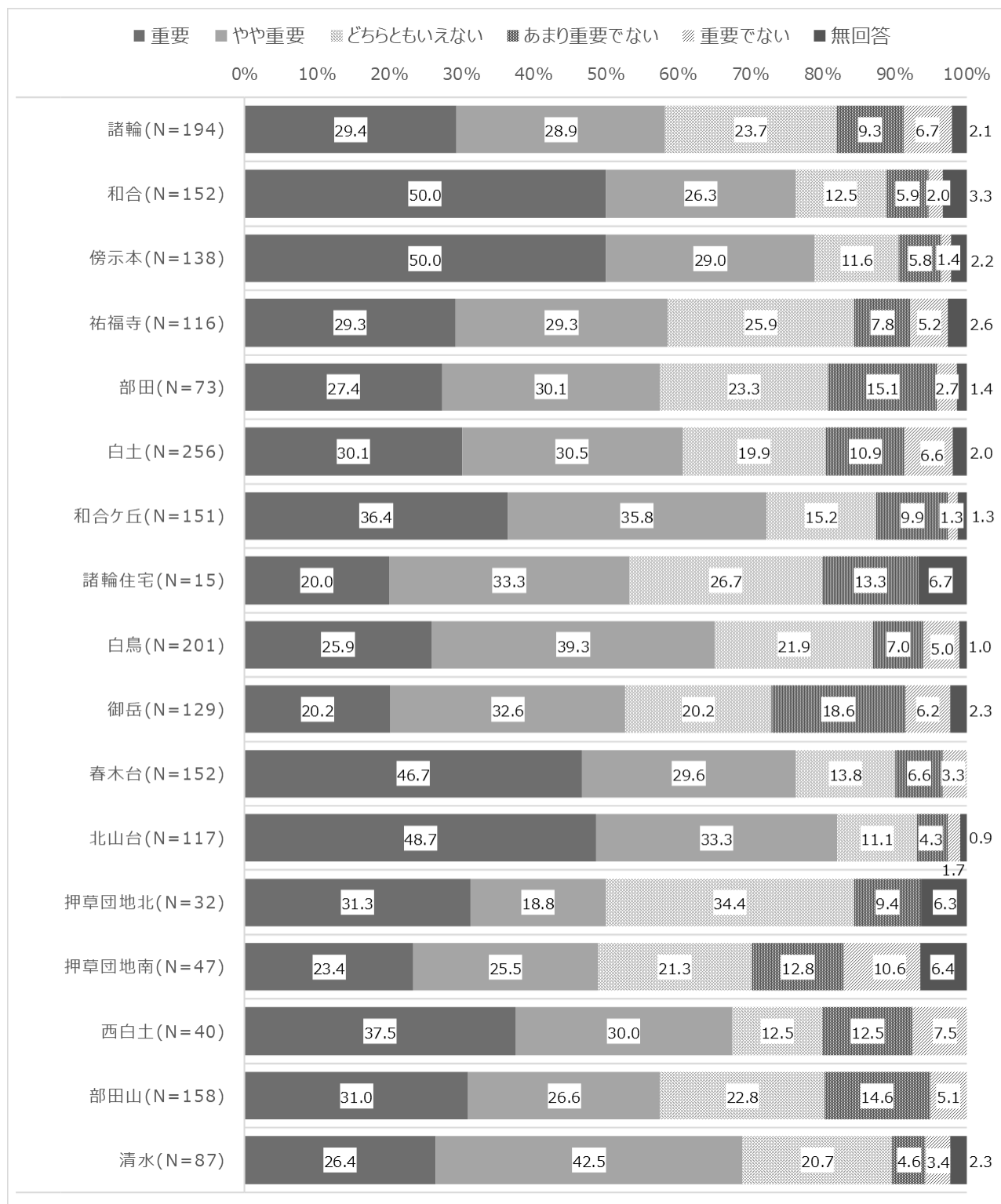
性別でみた場合には大きな差はなく、年代別でも各年代ともおおむね同様の傾向となっているが、「20 歳代」と「70 歳以上」で他の年代と比較して「重要」の割合が若干高めとなっている。

【歩いて暮らせる便利なまちづくりの重要性（性別／年代別）】



地域別でみると、「和合」(50.0%)、「傍示本」(50.0%)、「北山台」(48.7%)、「春木台」(46.7%)では、ほぼ半数の方が「重要」と回答している。一方、「諸輪住宅」(20.0%)、「御岳」(20.2%)では「重要」の割合が他の地域と比較して低くなっている。

【歩いて暮らせる便利なまちづくりの重要性（地域別）】



IV 参考資料

1. 自由意見

■公共交通機関・インフラ整備について (276 件)

- 公共交通機関をより充実させてほしい。
 - 「じゅんかい君」など、バスをもっと増便してほしい。
 - 赤池駅などの鉄道駅にもバスが停留するようにしてほしい。
 - バスの運行時間をもっと遅くまでにしてほしい。
 - バス停などにベンチを設置してほしい。
 - 鉄道の誘致や、鉄道駅を設置してほしい。
 - 雑草の除去、舗装の修繕など、車道・歩道・自転車道をしっかり整備してほしい。
 - 商業施設の影響で渋滞が多いため、改善してほしい。
 - 他の市へアクセスしやすくなるように改善してほしい。
 - バス料金を減額してほしい。
 - 上下水道の整備を早急に行ってほしい。
-

■公共施設等について (94 件)

- 子どもたちや親子で楽しめる大きな公園やプールなどを作ってほしい。
 - 野生の林や竹藪を放置せず、整備された緑にしてほしい。
 - 歩道橋の色あいに古さを感じるので、塗りなおしてほしい。
 - 緑地公園、緑のある広場がほしい。
 - 「いこまい館」の充実。(フリーマーケットの開催など)
 - 総合体育館などがもっと利用しやすくなるようにしてほしい。
 - 図書館をもっと充実させてほしい。
 - 公園の遊具をもっと充実させてほしい。
-

■セントラル開発について (147 件)

- セントラル開発はぜひ成功してほしい。
- 開発地近辺だけではなく、開発地の周辺地区も整備してほしい。
- 開発地に向かう道路や歩道の整備・安全確保をしてほしい。
- 開発の全貌が見えないし、開発が進んでも話題になるのは最初だけになってしまうのではないか。
- 以前あった失敗の二の舞にならないでほしい。
- 開発に伴う交通状況の悪化が心配。

■安全防犯について（75件）

- 車道も歩道も狭く、事故の危険があるため、広くしてほしい。
- 街灯が少なく夜暗いため、増設してほしい。
- 事故の多い交差点は、警察との連携や歩車分離式にするなどの対策を講じてほしい。
- 歩道等の雑草を駆除してほしい。
- 側溝にふたをしてほしい。
- 自転車が安全に行き来できるように道の整備をしてほしい。
- 交通安全教室を開いてほしい。

■まちづくりについて（161件）

- 自然を活かし、自然と町が共存できるまちづくりをしてほしい。
- 東郷町に行けば、こういう物に出会える、というようなアピールポイントを見つけ出してほしい。
- 全世代の住民が健康に暮らせるような、健康増進の場が必要。
- 町外の人が東郷町にお金を落としてくれるような方法を考えるべき。
- 既存の施設を有効活用して、町にお金が入るようにしてほしい。
- 若者が活躍できる・暮らしやすいまちづくりをしてほしい。
- 高齢者が健康に長く生活できるまちづくりをしてほしい。
- 開発に伴って自然環境が破壊されていないようにしてほしい。
- 地域での交流の機会を増やし、町民全体がまちづくりに参加しやすいようにまちづくりを進めてほしい。
- 開発に集中するのではなく、自然環境の活用、スポーツ振興・文化活動振興など、既存のものも上手く活用して町おこしに取り組んでほしい。
- 以前開催されていた体育祭のような催しを復活してほしい。

■子育て環境について（94件）

- 幼稚園・小学校・中学校にエアコンの設置をしてほしい。
- 経済的支援など、子育て支援をもっと充実させてほしい。
- 保育園の休日・祝日保育もしてほしい。
- 県内に小児リハビリ施設が少ないので、作ってほしい。
- 保育園児・幼稚園児・小学生など、小さな子供たちがのびのびあそべる公園や施設、交流できる場をつくってほしい。
- 給食の充実を図ってほしい。
- 待機児童問題を解決するようにしてほしい。

■高齢者等福祉施策について（53件）

- 高齢者・障がい者が安心して暮らせるようにしてほしい。
- 高齢者福祉の充実を希望します。
- 各種の老人会など、高齢者同士が交流できる場を作ってほしい。
- 企業を誘致し、高齢者の雇用が増えるようにしてほしい。
- ひとり暮らしの高齢者のケア・フォローを充実させてほしい。
- 国民健康保険証と国民健康保険高齢受給者証が別々になっており使いづらい。
- 高齢者が気軽に参加できる学習センター等がほしい。
- 以前行われていた世代を超えた交流ができる催し（講座など）を再び開催してほしい。
- バリアフリーを充実させてほしい。

■商業施設について（28件）

- セントラル開発に伴う大型商業施設を有効に活用してほしい。
- 近隣市に先を越されており、大型商業施設建設が成功するか不安である。
- 東郷町の立地を活用した企業の誘致を進めてほしい。
- 商業施設・飲食店を増やしてほしい。
- 道の駅建設は反対。
- 地元の農産物の購入や、特産品を利用した料理が食べられる場所がほしい。
- 周辺市ではまだ展開していないような企業を誘致してほしい。
- スーパーマーケット、ドライブスルー、アウトレットなどがほしい。

■町政について（111件）

- 役場の職員の態度・対応が気になる。
- 役場の開庁時間を延長してほしい。
- 役場の出張所を設けてほしい。
- 町民税を減税してほしい。
- 税金の無駄遣いは避けてほしい。
- 「市」になってほしい。（周辺市との合併も含む）
- 周辺市町との連携を図ってほしい。
- 町の魅力をもっとアピールしてほしい。
- 手続き関係をもっと簡略にしてほしい。
- 町議会の見直しをしてほしい。
- 企業誘致を推進し雇用を創出してほしい。
- 町政や町議会に関する情報提供をもっとしてほしい。

■その他（91件）

- 商業施設より先に、総合病院を作してほしい。
- 町民体育大会の復活を希望します。
- ごみ袋の種類やごみの回収方法を見直してほしい。
- 公園等での犬の糞やたばこの吸い殻等のごみが放置されているのが目立つ。
- 樹木葬ができる公園がほしい。
- 雑草を除去してほしい、もしくは除去するよう持ち主に指導してほしい。
- 以前行われたアンケートにも同様の事を書いたが、何も変わっていない。

2. 使用調査票

東郷町住民意向調査

いただいたご回答は東郷町のまちづくりに活かします

【ご協力をお願い】

町民の皆さまには、日頃から町政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

東郷町では、平成23年3月に今後10年間のまちづくりの指針となる「第5次東郷町総合計画」を策定し、「人とまち みんな元気な 環境都市」の実現を目指して計画的なまちづくりを進めてきました。

このたび、まもなく迎える計画期間の満了に向け、「第5次東郷町総合計画」の諸施策について振り返りを行うとともに、「第6次東郷町総合計画（仮称）」策定のため、広く町民の皆さまのお考えやご意見をお聞きするため「東郷町住民意向調査」を実施することといたしました。

この調査は、平成30年10月1日現在で町内にお住まいの18歳以上の方5,000人を対象に実施いたします。調査は無記名で実施し、個人が特定されることはありません。調査結果は統計的に処理を行ったうえ計画策定の基礎資料として大切に活用させていただきます。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月

東郷町長 井俣 憲治

【ご記入にあたってのお願い】

1. このアンケートは、封筒の宛名の方ご自身がご記入ください。
宛名の方ご自身が回答できない場合は、ご本人に代わってご家族の方がご記入ください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号を「○」印で囲んでください。
3. 設問によってご回答いただく方が限られる場合があります。ただし書きや矢印に従ってご回答ください。
4. 記入されたアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて平成30年12月17日（月）までにご投函ください。
5. ご不明な点、その他アンケートに関して疑問な点などがございましたら、下記までお問い合わせください。

(注) 返信用封筒の番号「502」は郵便を整理する統一番号です。個人を特定するものではありません。

東郷町役場 企画部 企画情報課 企画政策係

電話：0561-56-0716（ダイヤルイン） FAX：0561-38-0001

E-mail：tgo-kikaku@town.aichi-togo.lg.jp



1 あなたご自身についておうかがいします。

各設問の選択肢からあてはまるものを1つ選んでください。

問1 あなたの性別	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
問2 あなたの年齢	1. 10歳代	5. 50歳代	
	2. 20歳代	6. 60歳代	
	3. 30歳代	7. 70歳以上	
	4. 40歳代		
問3 あなたが現在お住まいの地区はどこですか？	1. 諸輪	7. 和合ヶ丘	13. 押草団地北
	2. 和合	8. 諸輪住宅	14. 押草団地南
	3. 傍示本	9. 白鳥	15. 西白土
	4. 祐福寺	10. 御岳	16. 部田山
	5. 部田	11. 春木台	17. 清水
	6. 白土	12. 北山台	
問4 あなたが東郷町に住んでいる期間は通算でどれぐらいになりますか？	1. 3年未満	5. 30年以上40年未満	
	2. 3年以上10年未満	6. 40年以上50年未満	
	3. 10年以上20年未満	7. 50年以上	
	4. 20年以上30年未満		
問5 同居しているご家族の構成は次のうちどれにあたりますか？	1. ひとり暮らし	4. 親と子と祖父母(3世代)	
	2. 夫婦だけ	5. その他()	
	3. 親と子(2世代)		
問6 同居しているご家族に小学校就学前の方はいますか？	1. いる	2. いない	
問7 同居しているご家族に小中学生の方はいますか？	1. いる	2. いない	
問8 同居しているご家族に65歳以上の方はいますか？	1. いる	2. いない	
問9 あなたの職業は次のうちどれにあたりますか？	1. 農業	5. 学生	
	2. 自営業	6. 家事専従	
	3. 会社員/公務員/団体職員	7. 無職	
	4. アルバイト/パートタイマー	8. その他()	

2 東郷町の暮らしやすさなどについておうかがいします。

問10 東郷町の住み心地をどう感じておられますか？

今のお気持ちに最も近いものを次の中から1つ選んでください。

1. 住みやすい 2. まあ住みやすい 3. どちらともいえない 4. やや住みにくい 5. 住みにくい

問11 これからも東郷町に住み続けたいとお考えですか？

今のお気持ちに最も近いものを次の中から1つ選んでください。

(すでに転出が決まっている方もご自身の気持ちに近いものをお選びください。)

1. 永住したい 2. 当分住み続けたい ……⇒ 問11-1へ

3. いずれは転出したい 4. すぐにでも転出したい ……⇒ 問11-2へ

問11-1 今後も住み続けたいと思われている理由を次の中から3つ以内で選んでください。

1. 自然環境が良いから	8. 老後も安心して暮らせると感じるから
2. 子育ての環境が良いから	9. 学校や仕事、家庭の都合があるから
3. 交通の便が良いから	10. まちに将来性があるから
4. 周辺の住環境が良いから	11. 住み慣れていて愛着があるから
5. 災害や犯罪などが少ないから	12. 住宅事情が良いから
6. 買い物に便利だから	13. その他 ()
7. 地域での人間関係が良いから	

問11-2 転出したいと思われている理由を次の中から3つ以内で選んでください。

1. 自然環境が良くないから	8. 老後も安心して暮らせると思えないから
2. 子育ての環境が良くないから	9. 学校や仕事、家庭の都合があるから
3. 交通の便が良くないから	10. まちに将来性がないから
4. 周辺の住環境が良くないから	11. まちに愛着がもてないから
5. 災害や犯罪などが多いため	12. 住宅事情が良くないから
6. 買い物に不便だから	13. その他 ()
7. 地域での人間関係が良くないから	

3 日常生活の意識などについておうかがいします。

問12 日常生活における意識や行動について、最もあてはまる番号を1つずつ選んでください。

項 目	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない
1. 普段から省エネを心がけている	5	4	3	2	1
2. 普段からリサイクルに心がけている	5	4	3	2	1
3. 地震や風水害などの災害に備えている	5	4	3	2	1
4. 普段から防犯に心がけている	5	4	3	2	1
5. 定期的にスポーツ・運動をしている	5	4	3	2	1
6. 近くの公園や広場などを利用している	5	4	3	2	1
7. 公共交通機関を利用するようにしている	5	4	3	2	1
8. 地元の農産物を購入したいと思っている	5	4	3	2	1
9. 地元の行事やお祭りに参加している	5	4	3	2	1
10. 広報とうごうを毎月（毎号）読んでいる	5	4	3	2	1
11. 定期的に町のホームページを見ている	5	4	3	2	1

問13 地域に対する意識について、最もあてはまる番号を1つずつ選んでください。

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない
1. 男女差別のない社会がつけられている	5	4	3	2	1
2. 安心して子どもを産み育てられる	5	4	3	2	1
3. 地域で共に助け合い、支えあう風土がある	5	4	3	2	1
4. ボランティアやNPO（※）の活動が活発に行われている	5	4	3	2	1
5. まちに活気やにぎわいがある	5	4	3	2	1

※NPO とは、「社会や地域のために自主的に活動しているボランティア団体、市民活動団体、特定非営利活動法人などの民間の非営利活動団体」をいいます。

4 東郷町の取り組みについておうかがいします。

問14 東郷町の取り組みについて具体的におうかがいします。それぞれの項目について、どの程度の満足を感じておられますか？また、それぞれの重要性をどのように感じておられますか？

満足度と重要度について、今のお気持ちに近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください。

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない
健康で元気に暮らせるまち										
1. 健康づくりなどの保健事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 夜間や休日の医療体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 障がい者（児）への福祉サービス	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4. 社会保障制度の適切な運用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5. 高齢者への福祉サービス	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. 子育て支援サービス	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
次世代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち										
1. 小中学校の教育内容や教育環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 教養講座など生涯学習の機会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 文化財の継承・保存	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4. スポーツに参加できる環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5. 地区・世代間の人々の交流	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. 国際理解・国際交流の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7. 青少年の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
参画と協働で自立するまち										
1. まちづくりへ参加する機会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 性別に関わらず個性と能力を発揮できる環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 町民・行政相互の情報共有	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4. 総合的にみた役場窓口の対応	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5. 効率的な行政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. 周辺市との広域的な連携の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7. 健全な財政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

満足度					重要度				
満 足	やや 満足	どちら でも ない	やや 不満	不 満	重 要	やや 重要	どちら でも ない	あまり 重要 でない	重 要 でない

安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

1. 消防や救急の体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 防犯対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 交通安全対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4. 地震や風水害などの防災対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5. 消費者保護対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. 自然環境の保全や創出	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7. 公害対策などの環境汚染対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8. 地球温暖化の防止	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9. ごみの減量やリサイクルの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

1. 地産地消の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 農業の活性化対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 働く場や機会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4. 商工業の活性化対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5. 開発による住宅地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. 公園や緑地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7. 美しい街並み景観	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8. 道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9. バスなどの公共交通機関の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10. 下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

5 これからのまちづくりについておうかがいします。

(1) 町政（まちづくり）への関心について

問15 東郷町の町政（まちづくり）について、どの程度の関心がありますか？

今のお気持ちにあてはまる番号を1つ選んでください。

- | | | | |
|----------|--------------|-------------|----------|
| 1. 関心がある | 2. ある程度関心がある | 3. あまり関心がない | 4. 関心がない |
|----------|--------------|-------------|----------|

問16 町政（まちづくり）のどのような情報に関心がありますか？

（今関心がない方は、どのような情報であれば関心をもてるとお考えですか？）

今のお気持ちに近いものを次の中から3つ以内で選んでください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 健康づくりの支援について | 7. ボランティアや地域活動について |
| 2. 子育て支援サービスについて | 8. 行政運営・財政状況について |
| 3. 医療体制について | 9. 防災・防犯情報について |
| 4. 福祉・介護サービスについて | 10. 町内の産業・ビジネスについて |
| 5. 教育・生涯学習環境について | 11. 公共交通機関の情報について |
| 6. スポーツ関連情報について | 12. その他() |

(2) これからのまちづくりについて

問17 これからの東郷町はどのような分野に力を入れていくと良いと思いますか？

今のお気持ちに近いものを次の中から5つ以内で選んでください。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 健康づくりの推進 | 18. 集中豪雨や地震などへの防災対策 |
| 2. 高齢者の福祉の充実 | 19. 自然環境や緑の保全 |
| 3. 障がい者（児）福祉の充実 | 20. 公害対策などの環境保全 |
| 4. 子育て支援サービスの充実 | 21. リサイクルを含めたごみ処理対策 |
| 5. 医療体制の充実 | 22. 地産地消の推進 |
| 6. 学校教育の充実 | 23. 農業の活性化対策 |
| 7. 生涯学習の充実 | 24. 働く場の確保 |
| 8. 文化財の継承・保存 | 25. 景観の整備 |
| 9. スポーツ・レクリエーションの充実 | 26. 住宅地の整備 |
| 10. 国際理解・国際交流の推進 | 27. 公園の整備 |
| 11. 青少年の健全育成 | 28. 道路の整備 |
| 12. 性別に関わらず個性と能力を發揮できる環境 | 29. 公共交通機関の充実 |
| 13. まちづくりへ参画する機会の充実 | 30. 交通安全対策 |
| 14. 地域コミュニティの支援や育成 | 31. 公共施設の老朽化対策 |
| 15. 周辺市との広域連携 | 32. 下水道の整備 |
| 16. 消防・救急体制の充実 | 33. 特にない |
| 17. 防犯対策 | 34. その他() |

(3) 東郷町自治基本条例について

東郷町では、平成25年6月に、まちづくりにおいて最も重視すべき条例として、「町民が主役のまちづくり」を進めるための大切なルールである東郷町自治基本条例を制定しました。そこで、おうかがいします。

問18 あなたは東郷町自治基本条例をご存知ですか？

あてはまる番号を1つ選んでください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 内容をよく知っている |
| 2. 内容を少し知っている |
| 3. 条例があることは知っているが、内容は知らない |
| 4. まったく知らない |

※問18で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。

問18-1 東郷町自治基本条例をどのような機会で見ましたか？（複数回答可）

- | |
|----------------------|
| 1. 条例のパンフレット |
| 2. 広報とうごう |
| 3. 東郷町のホームページ |
| 4. 東郷町文化産業まつりなどのイベント |
| 5. その他（ ） |

(4) 住民参画・協働について

問19 町政への住民意見の反映や住民、議会及び町の協働について、どのようにお考えですか？
今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選んでください。

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない
1. 住民の意見を聞く機会が充実している	5	4	3	2	1
2. 町政に住民の意向が反映されている	5	4	3	2	1
3. 住民の参画や協働が行われている	5	4	3	2	1
4. 住民参画や協働の主体として町政に関わりたい	5	4	3	2	1
5. 住民、議会及び町は、協働でまちづくりを進めている	5	4	3	2	1

問20 あなたは地域活動やボランティア活動に参加していますか？

1. 自発的に参加している
2. 仕事や家庭の都合がつけば参加している
3. 仲間や友人がいれば参加している
4. 自分にできる活動内容であれば参加している
5. 役員として参加している
6. 参加していない
7. その他 ()

※問20で「6. 参加していない」と回答した方にお聞きします。

問20-1 参加していない(できない)理由は何ですか？(複数回答可)

1. 時間的に余裕がないから
2. 一緒に参加できる仲間がないから
3. 身近に参加したいと思う活動や団体がないから
4. 団体や活動内容に関する情報がないから
5. 役員の負担が大きいから
6. 参加するきっかけがないから
7. 人間関係がわずらわしいから
8. 参加することに関心や興味がないから
9. その他 ()

問21 今後、住民の皆さんが積極的にかかわって進めることが重要だと思う活動は何ですか？
今のお気持ちに近いものを次の中から3つ以内で選んでください。

1. 身近な道路や排水路、公園などの清掃活動
2. 花壇づくりなどのまちの緑化活動
3. ごみの減量やリサイクル活動
4. 文化産業まつりなどのイベント
5. 防災・防犯・交通安全などの地域の安全活動
6. 公園など身近な公共施設の内容の検討
7. 高齢者の手助けなど自分でできる範囲の福祉活動
8. 区・自治会の地域活動
9. その他 ()
10. 特にない

(5) セントラル開発について

今後、人口減少、少子高齢化が急速に進むことが懸念されるなか、町の中心に公共施設や商業施設、住宅など様々な機能を集め、誰もが歩いて暮らせるまちづくりを進めることが求められています。

このような背景のもと、現在、東郷町では、土地区画整理事業を中心とした「セントラル開発」(※)に取り組んでいます。そこで、おうかがいします。

※「セントラル開発」とは、現在の役場周辺の公共施設や既存の道路を最大限活用しながら、まちの中心に不足するバスターミナルや商業施設等を整備して、様々な機能を集めることで、東郷町の魅力を高め、子どもからお年寄りまで、みんなが歩いて暮らせる便利なまちの実現を目指す取り組みをいいます。

問22 東郷町の中心部には、役場を始め町民会館、総合体育館、いこまい館などの公共施設が集まっています。このような現状について、町民の皆さんが利用しやすく、便利な魅力のある「町の中心地」がつくられていると思いますか？

今のお気持ちに最も近い番号を1つ選んでください。

1. そう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまり思わない
5. そう思わない

問23 また、東郷町において、「町の中心地」に様々な機能を集めて、歩いて暮らせる便利なまちづくりに取り組むことがどの程度重要だと思いますか？

今のお気持ちに最も近い番号を1つ選んでください。

1. 重要
2. やや重要
3. どちらともいえない
4. あまり重要でない
5. 重要でない

(6) まちづくりについて自由な意見をお聞かせください。

今後の東郷町のまちづくりについて、ご意見やご提案（アイデア）などがありましたらお聞かせください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

東郷町 住民意向調査報告書

平成 31 年 3 月

発 行 愛知県 東郷町
企画・編集 企画情報課企画政策係
〒470-0198 東郷町大字春木字羽根穴 1 番地
TEL (0561) 56-0716
FAX (0561) 38-0001
